

IV 中学生以上の区民の方が対象

～ 防災の分野・自転車の利用についてなど ～

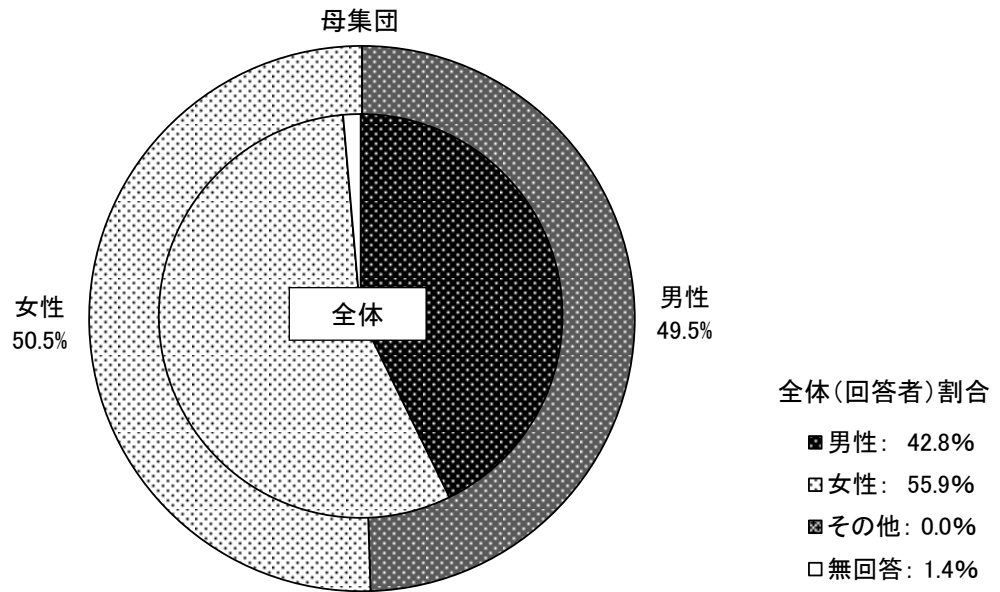
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 12 歳以上の人口 (n=666,095) 令和 4 年 1 月 1 日現在

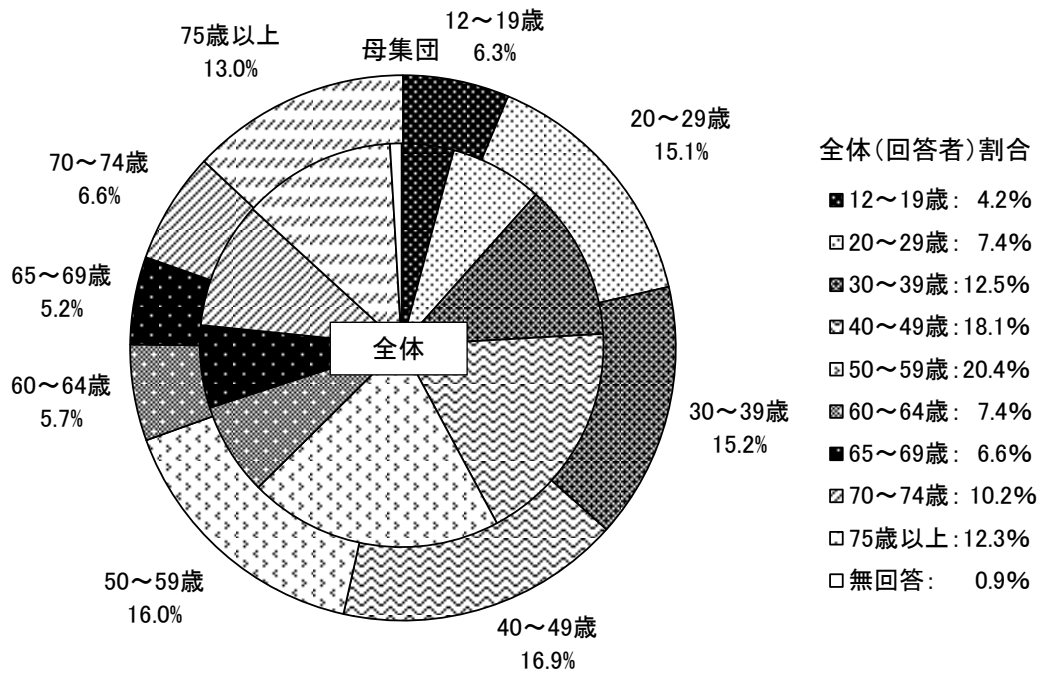
全 体：有効回収数 (n=863)

全体 n=863



(2) 年齢

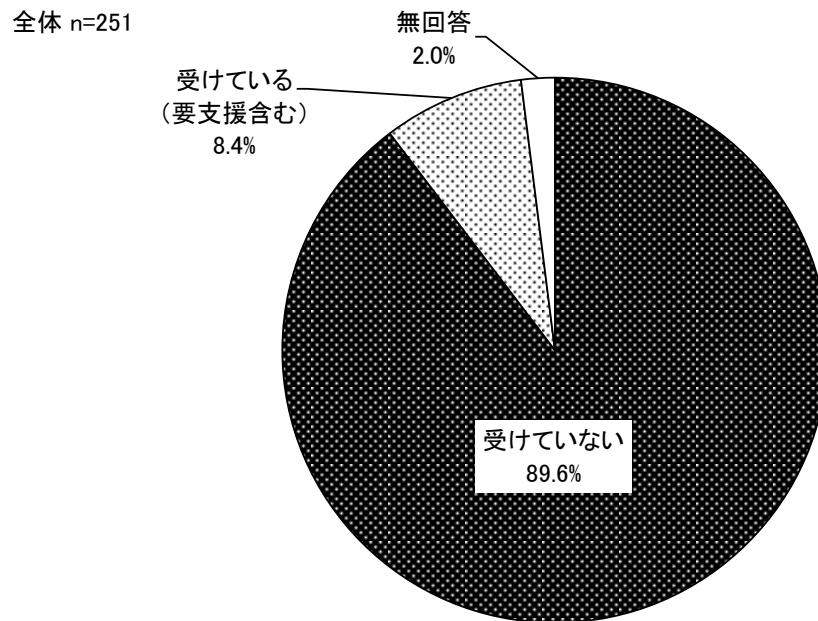
全体 n=863



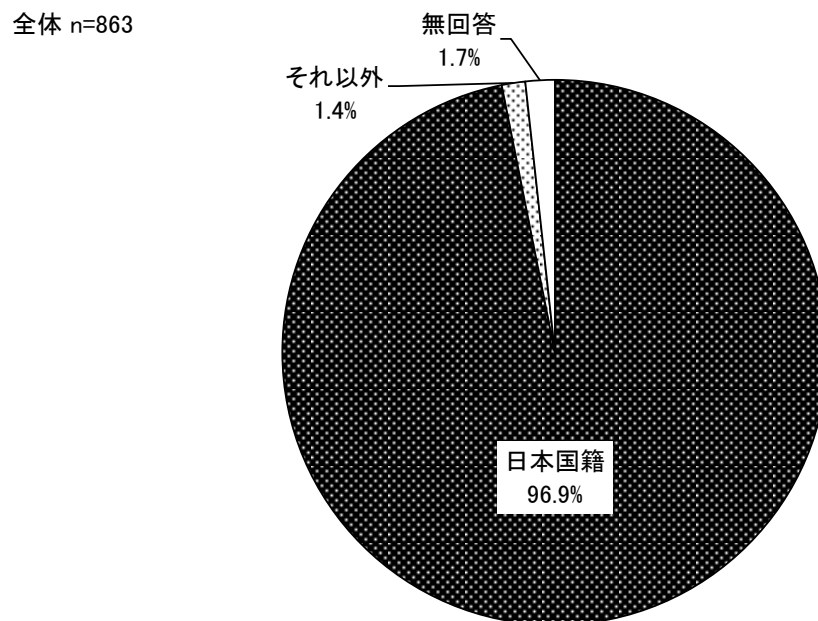
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 4 年 1 月 1 日現在

(3) 要介護認定の状況

【65歳以上の方】



(4) 国籍

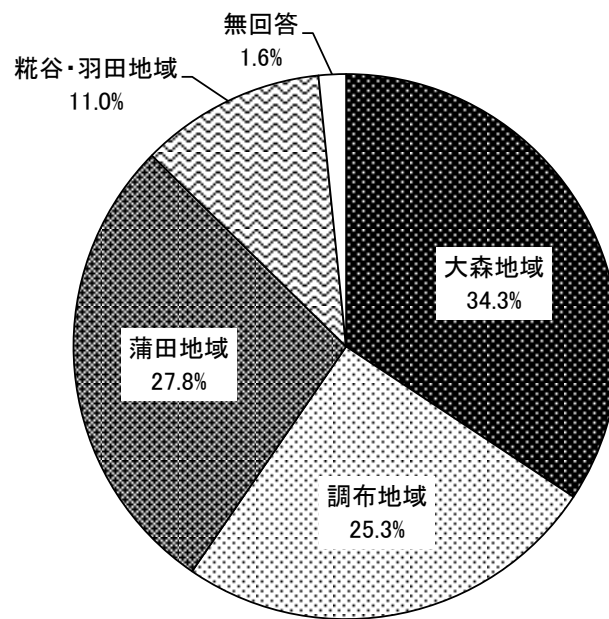


■ 日本国籍以外

	中国	韓国	台湾	ネパール	ベトナム	アメリカ	フィリピン	無回答
人数	3	3	1	1	1	1	1	1

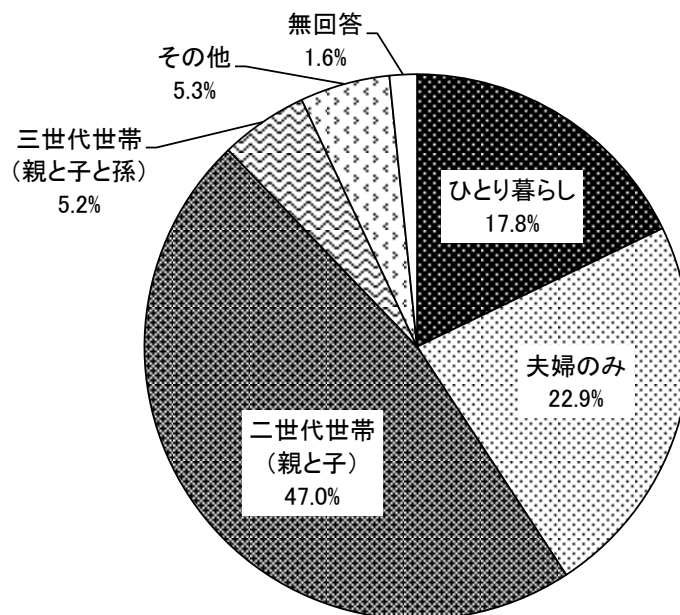
(5) 居住地域

全体 n=863

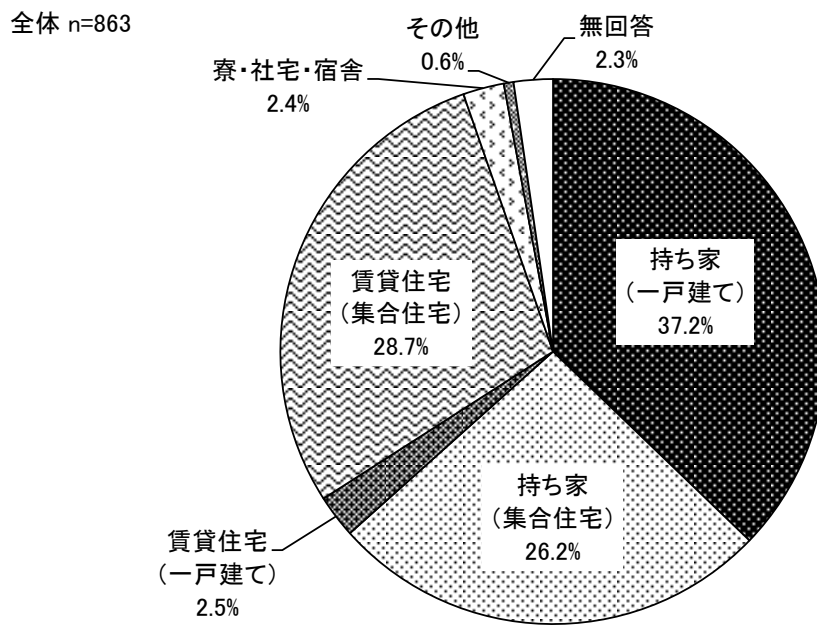


(6) 家族構成

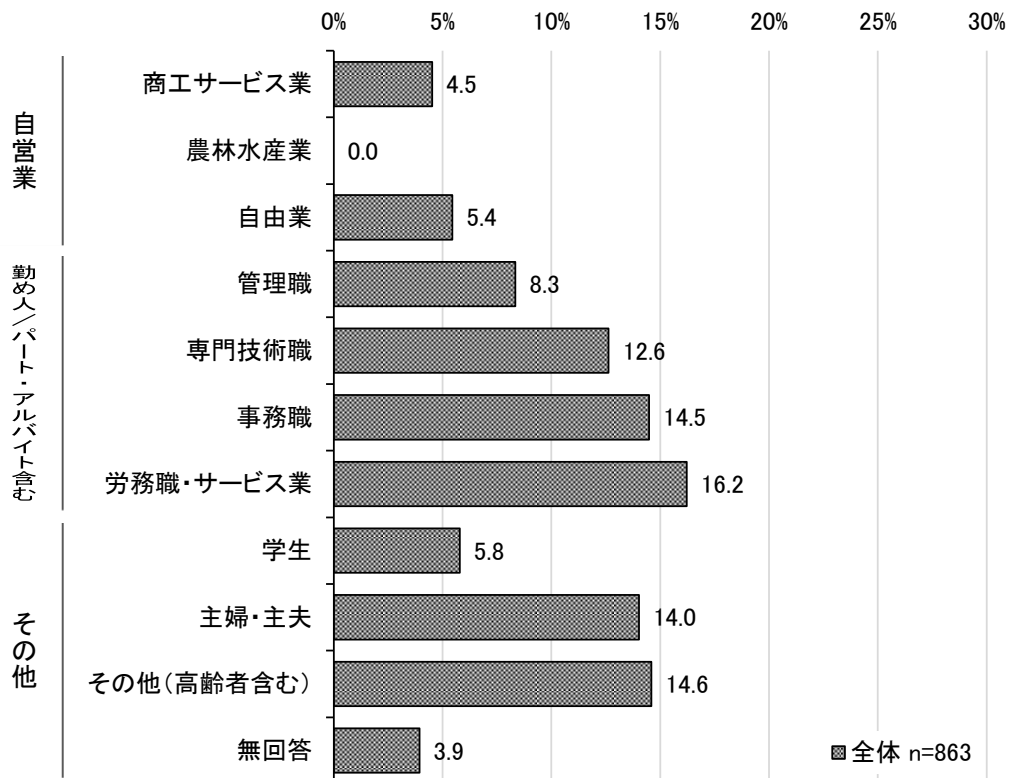
全体 n=863



(7) 住まいの種類

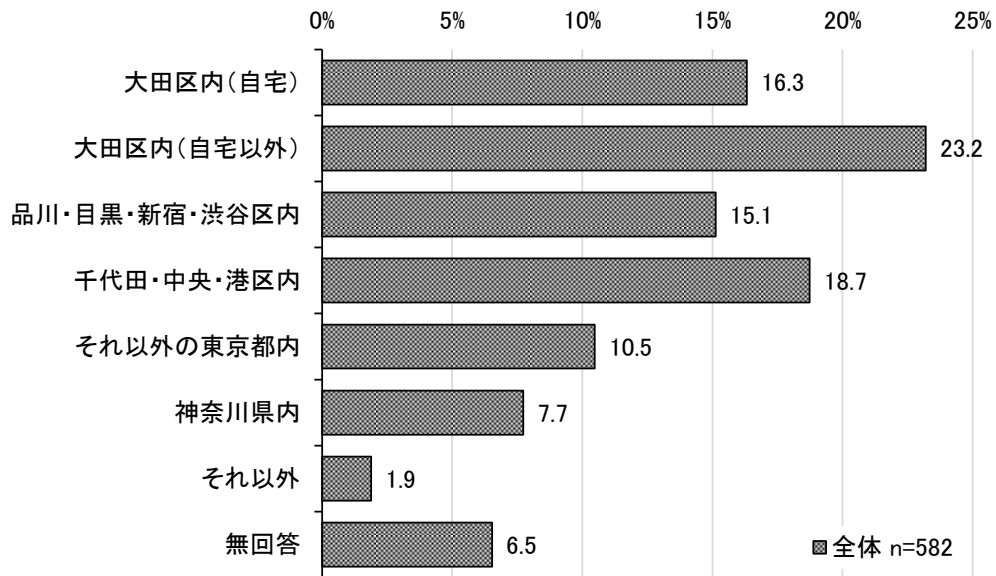


(8) 職業

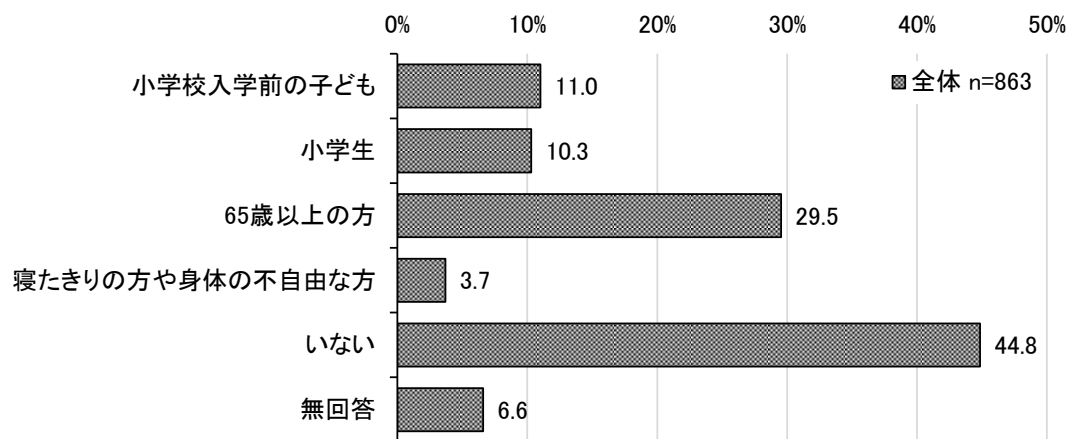


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

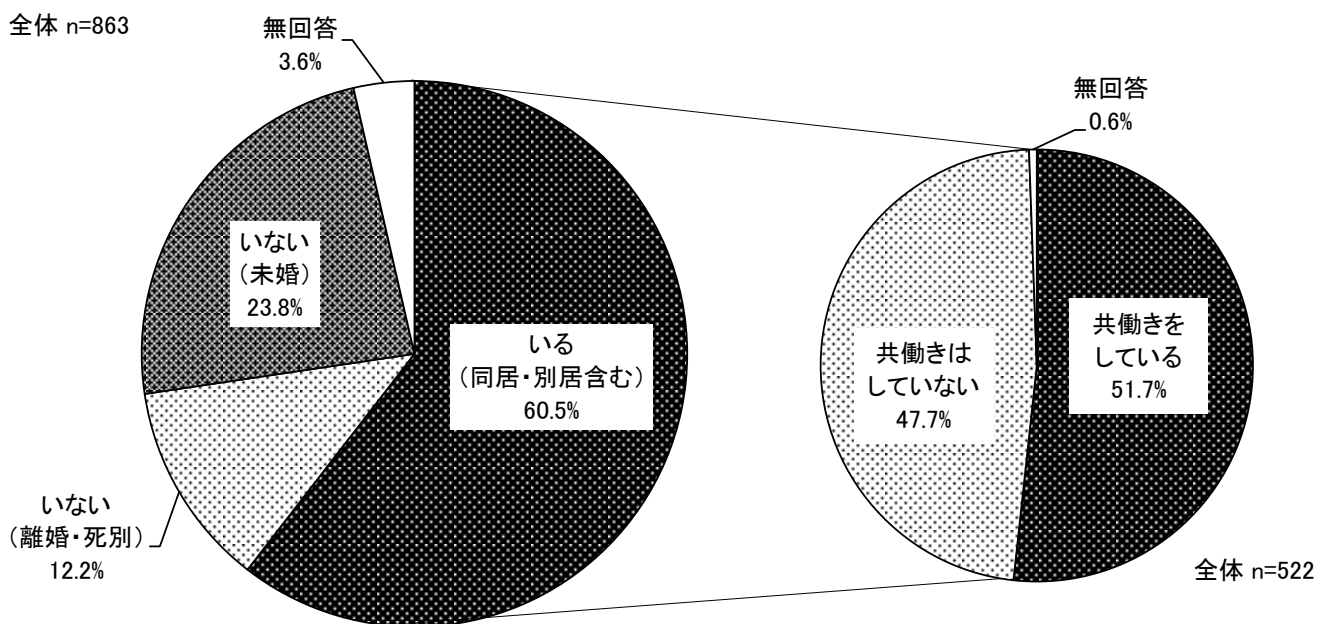


(10) 同居家族

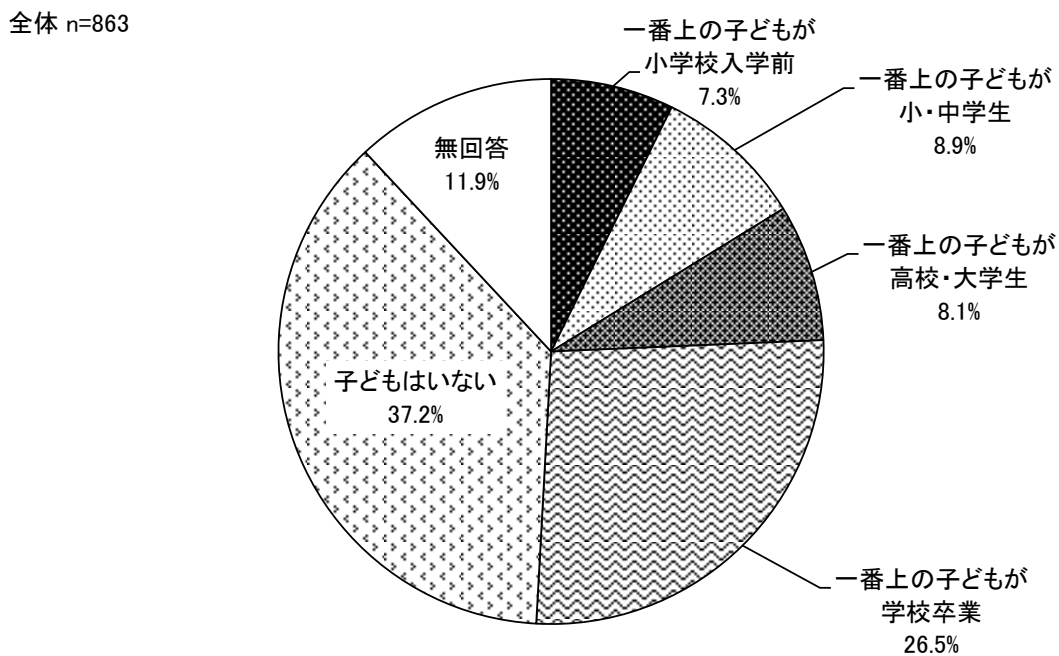


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

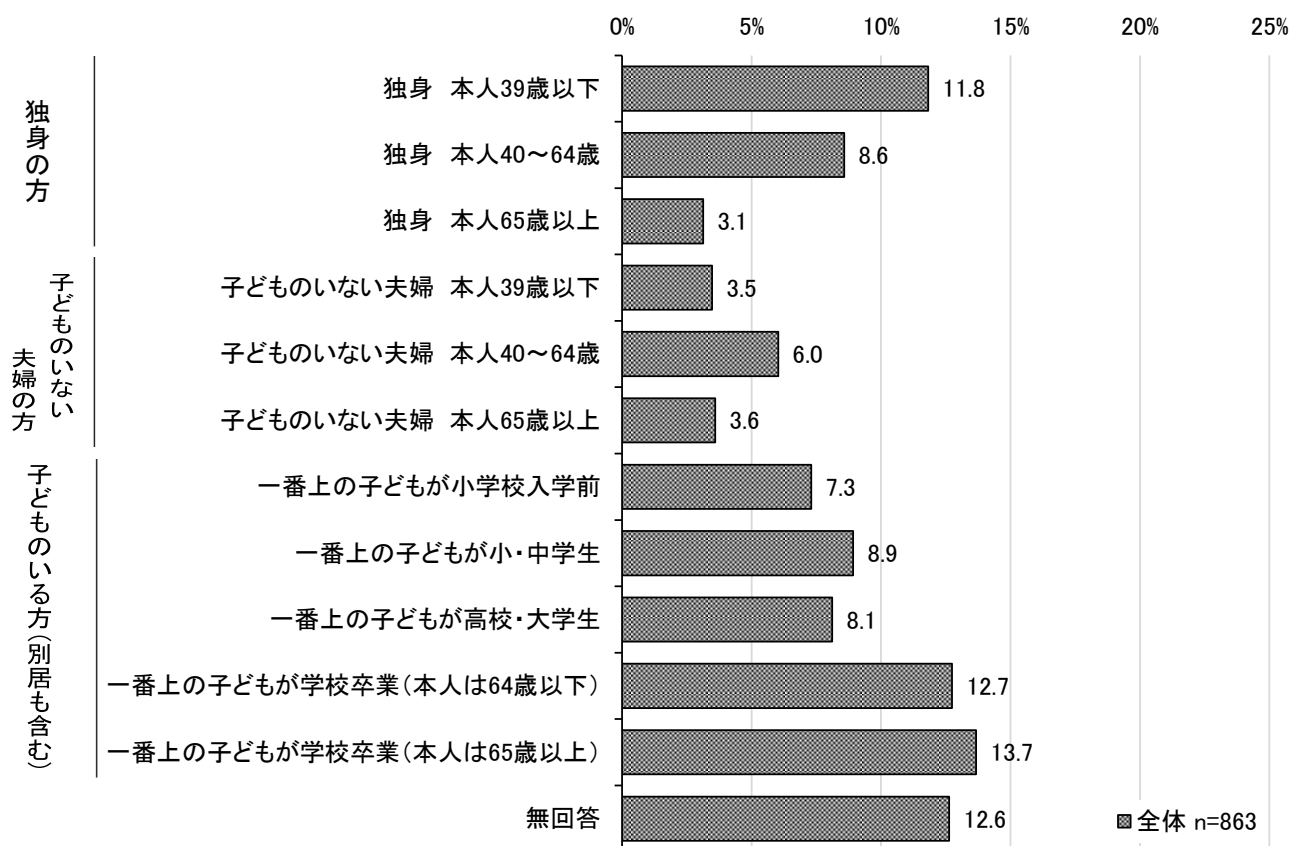
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



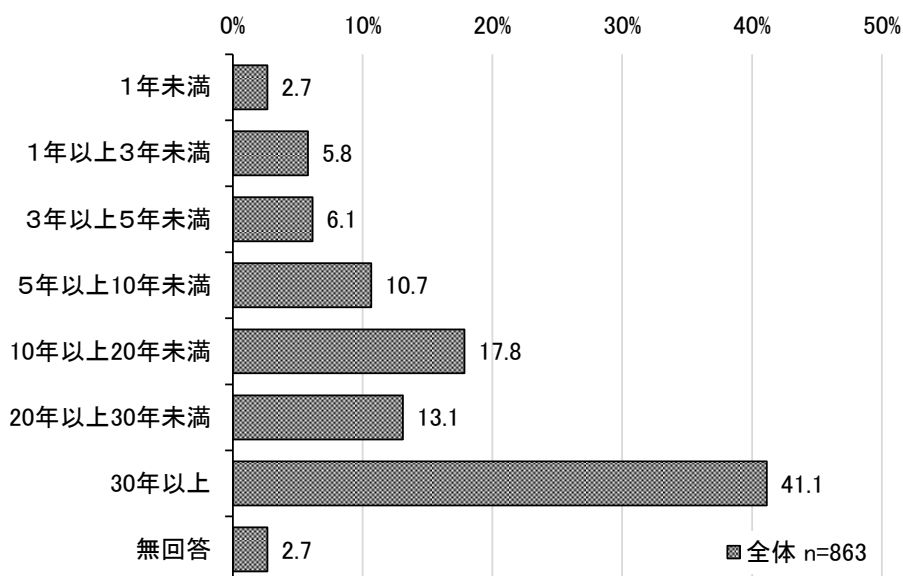
(13) 子どもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



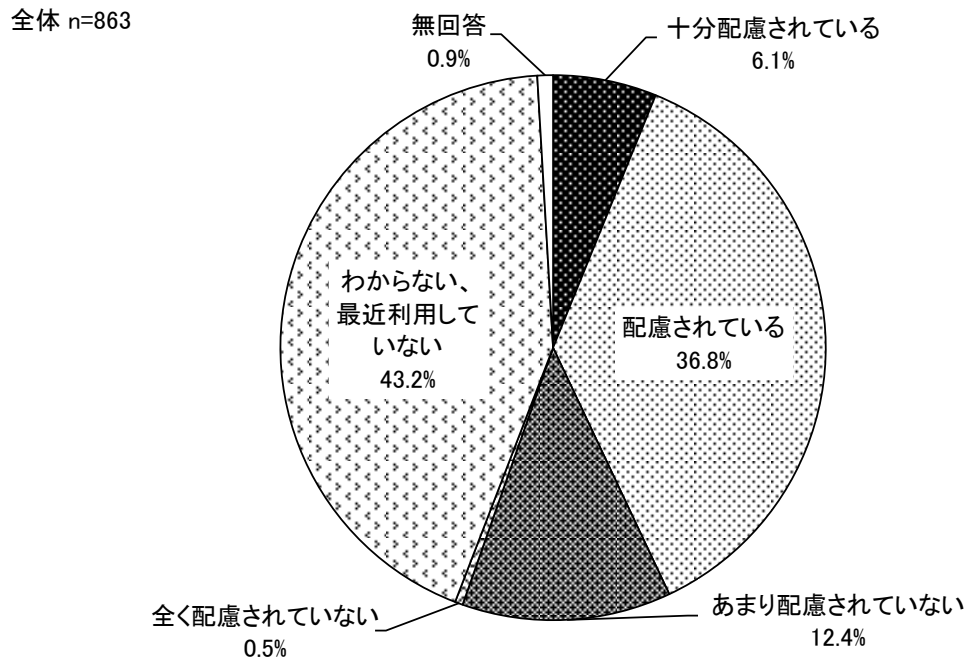
2 相談窓口について

(1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示

◇ 《配慮されている》（「十分に配慮されている」、「配慮されている」の合計値）は4割前半となっている

問1 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障がい者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）

大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示については、「十分に配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が42.9%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が12.9%と、《配慮されている》が30.0ポイント上回っている。

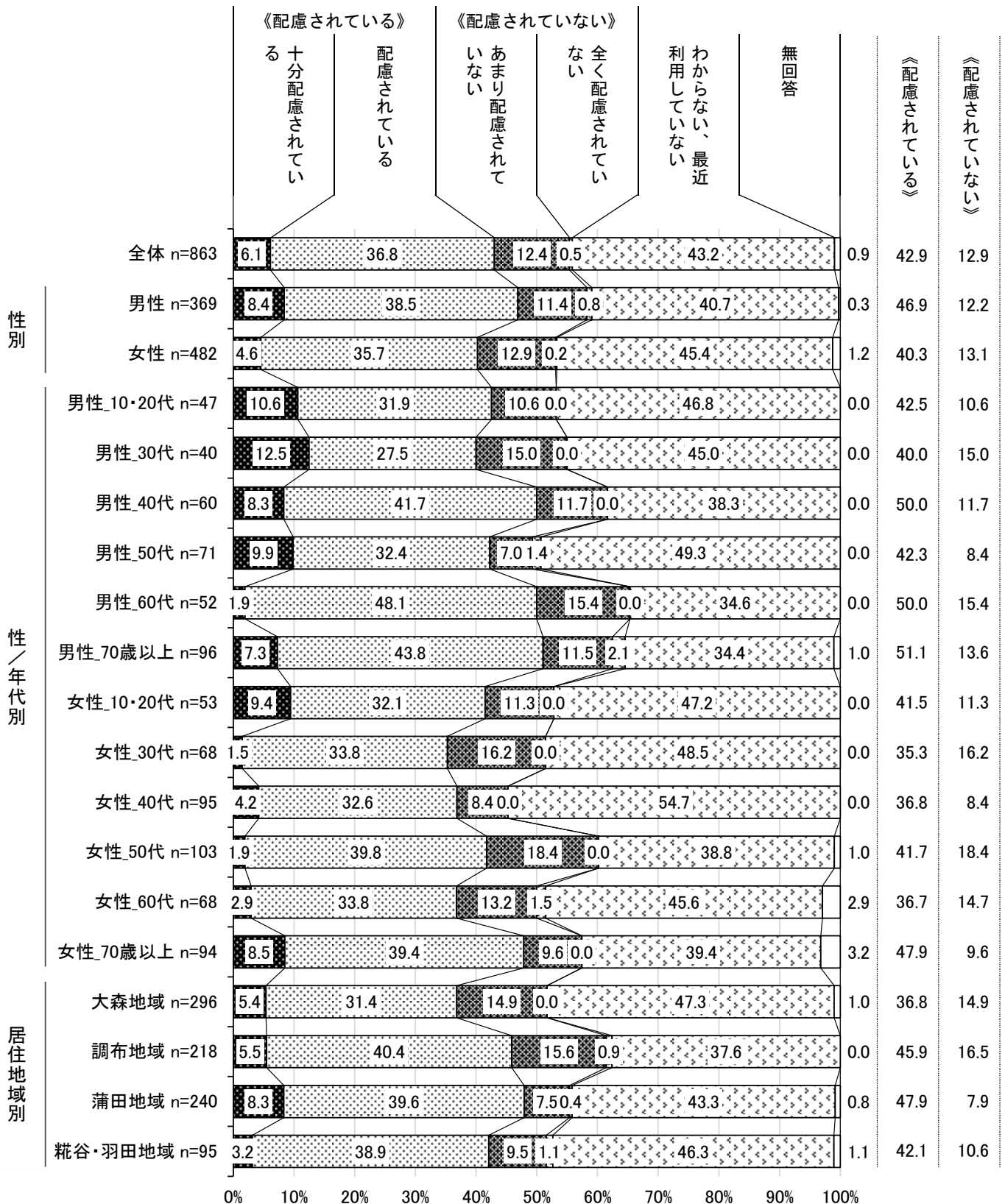


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《配慮されている》は男性が46.9%、女性が40.3%と、男性が6.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《配慮されている》は男性40代、男性60代、男性70歳以上で5割台となっている。

居住地域別でみると、《配慮されている》は蒲田地域で5割弱と高くなっている。



3 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

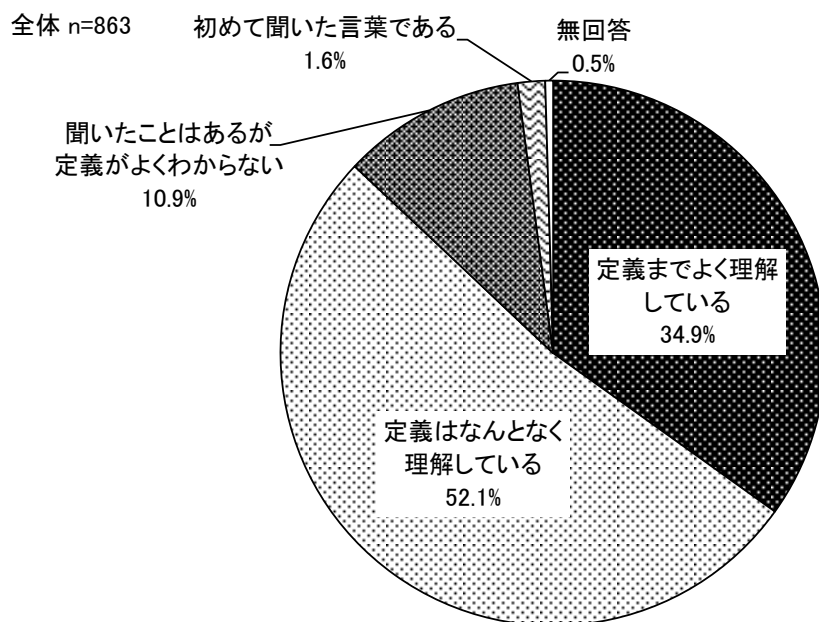
(1) 「バリアフリー」の認知度

◇《理解している》(「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値)は9割弱となっている

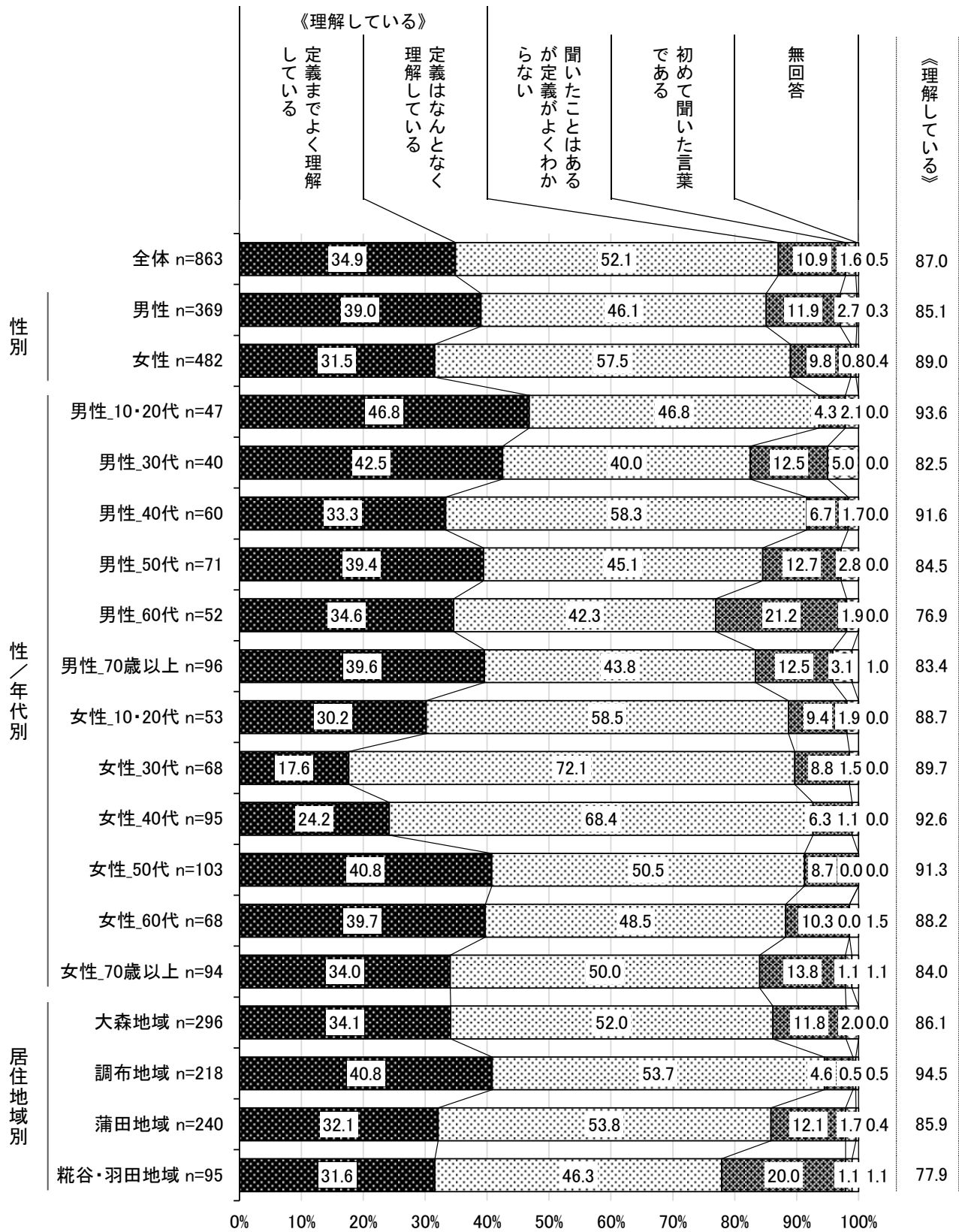
問2 「バリアフリー」という言葉を知っていますか。(1つのみ)

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁(バリア)を取り除く考え方。

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》は87.0%となっている。その内、「定義までよく理解している」は34.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、《理解している》は男性が85.1%、女性が89.0%と、女性が3.9ポイント上回っている。その内、「定義までよく理解している」は男性が39.0%、女性が31.5%と、男性が7.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《理解している》は男性10・20代、男性40代、女性40代、女性50代で9割台となっている。その内、「定義までよく理解している」は男性10・20代、男性30代、女性50代で4割台となっている。

居住地域別で見ると、《理解している》は調布地域で9割半ばと高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が約4割と高くなっている。

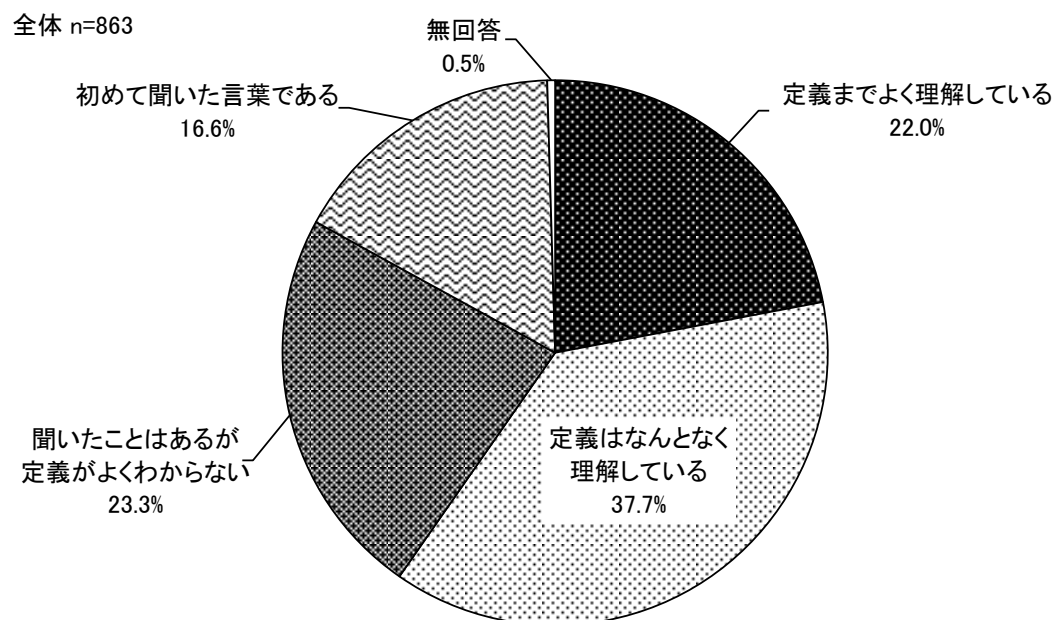
(2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇ 《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は約6割となっている

問3 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方。

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》は59.7%となっている。その内、「定義までよく理解している」は22.0%となっている。

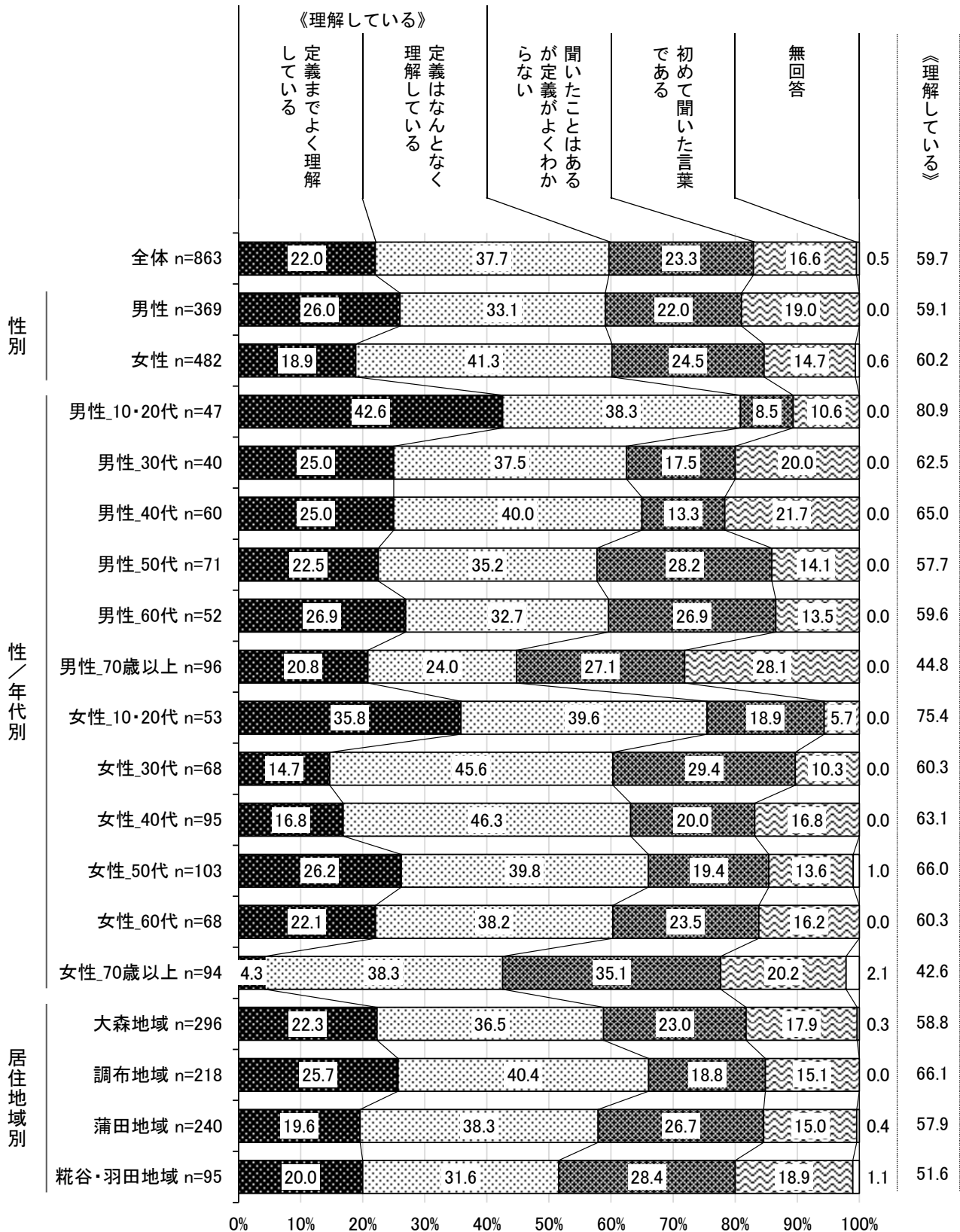


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性が26.0%、女性が18.9%と、男性が7.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《理解している》は男性10・20代で約8割と高くなっている。その内、「定義までよく理解している」は男性では10・20代が4割前半、女性では10・20代が3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で7割弱と高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が2割半ばと高くなっている。



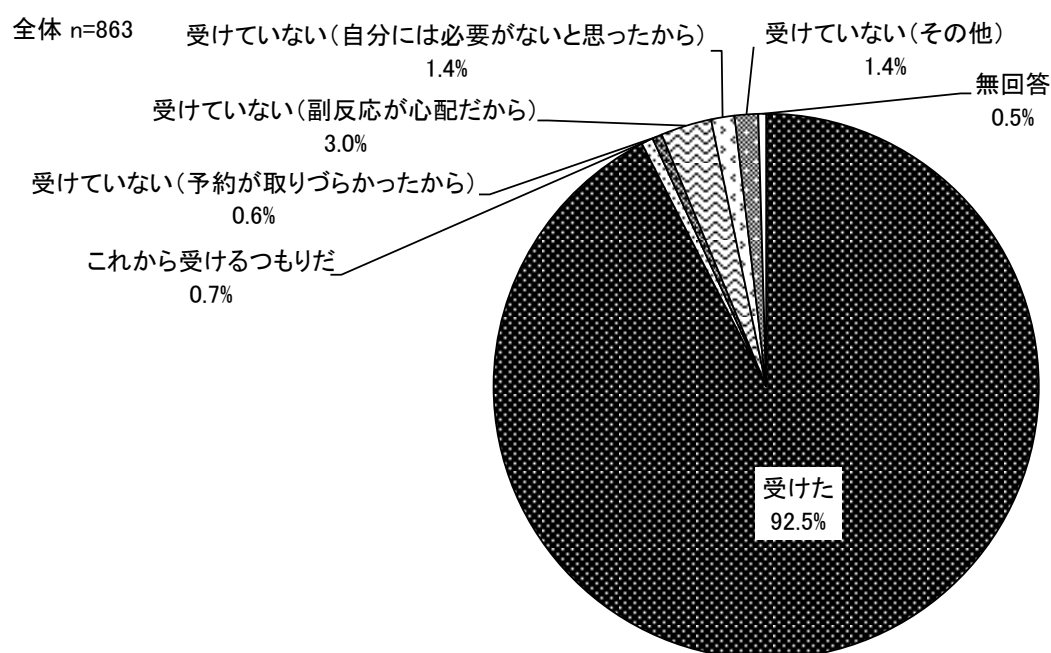
4 新型コロナウイルスワクチン接種について

(1) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況

◇「受けた」は9割前半となっている

問4 あなたは新型コロナウイルスワクチンの予防接種を受けましたか。(1つのみ)

新型コロナウイルスワクチンの接種状況については、「受けた」が92.5%で最も高く、次いで「受けていない(副反応が心配だから)」が3.0%、「受けていない(自分には必要がないと思ったから)」、「受けていない(その他)」がともに1.4%となっている。

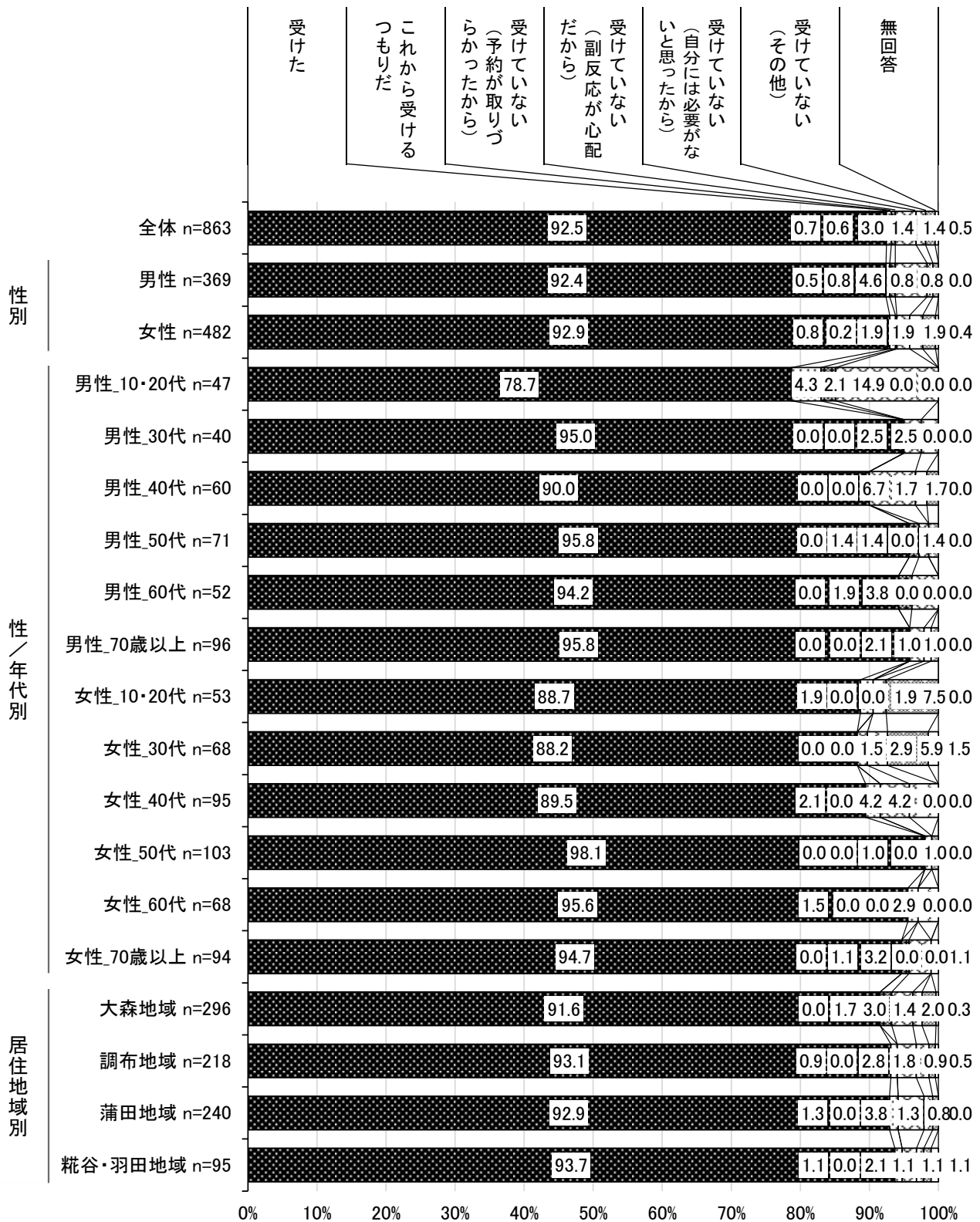


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

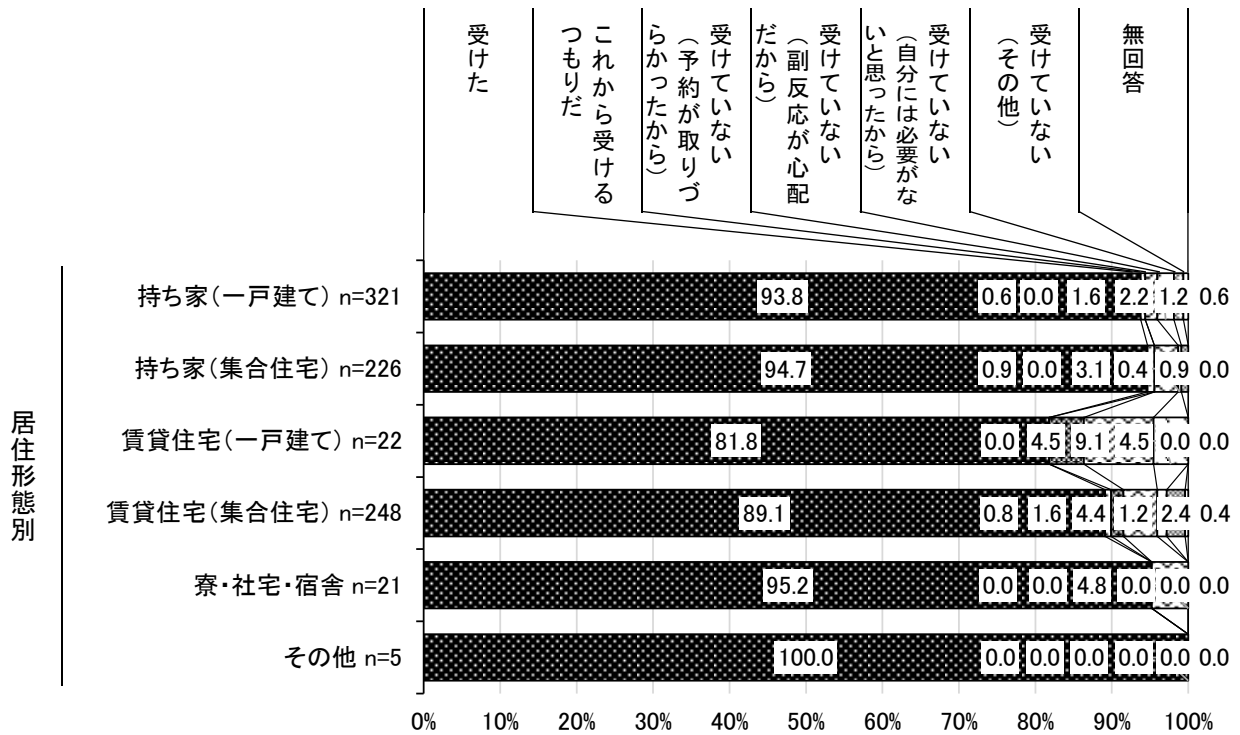
性／年代別でみると、「受けた」は男性 30 代から 70 歳以上、女性 50 代から 70 歳以上で 9 割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「受けた」は 9 割台となっている。



■居住形態別

居住形態別でみると、「受けた」は持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）で9割半ばと高くなっている。



5 災害時の避難等について

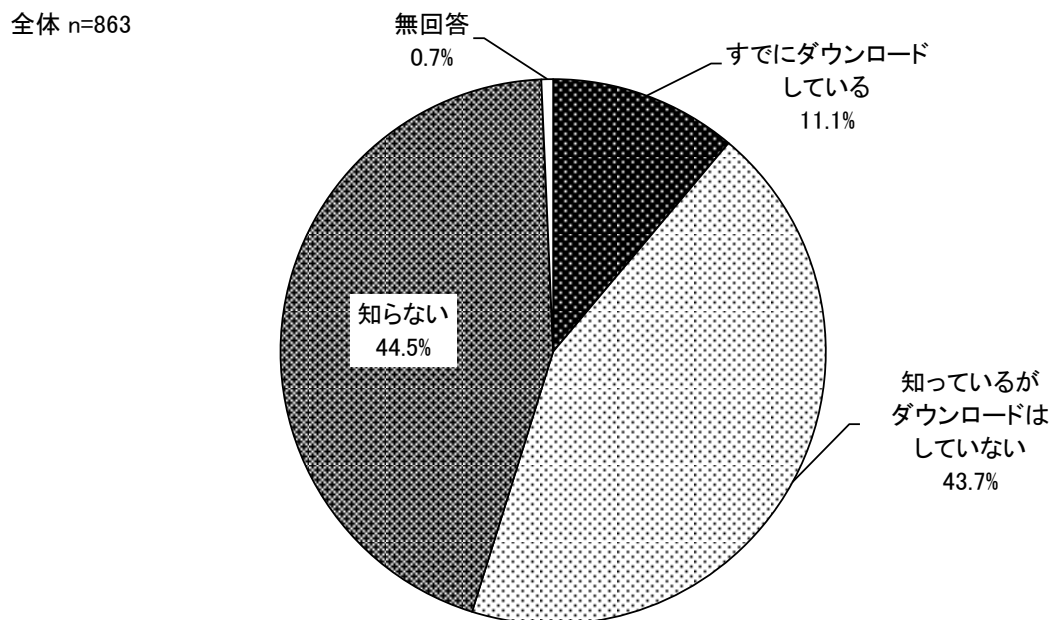
(1) 「大田区防災アプリ」の認知度

◇ 《ダウンロードしている・知っている》（「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値）は5割半ばとなっている

問5 「大田区防災アプリ」を知っていますか。（1つのみ）

“大田区防災アプリ”の認知度については、「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《ダウンロードしている・知っている》は54.8%となっている。その内、「すでにダウンロードしている」は11.1%となっている。

なお、「知らない」は44.5%となっている。

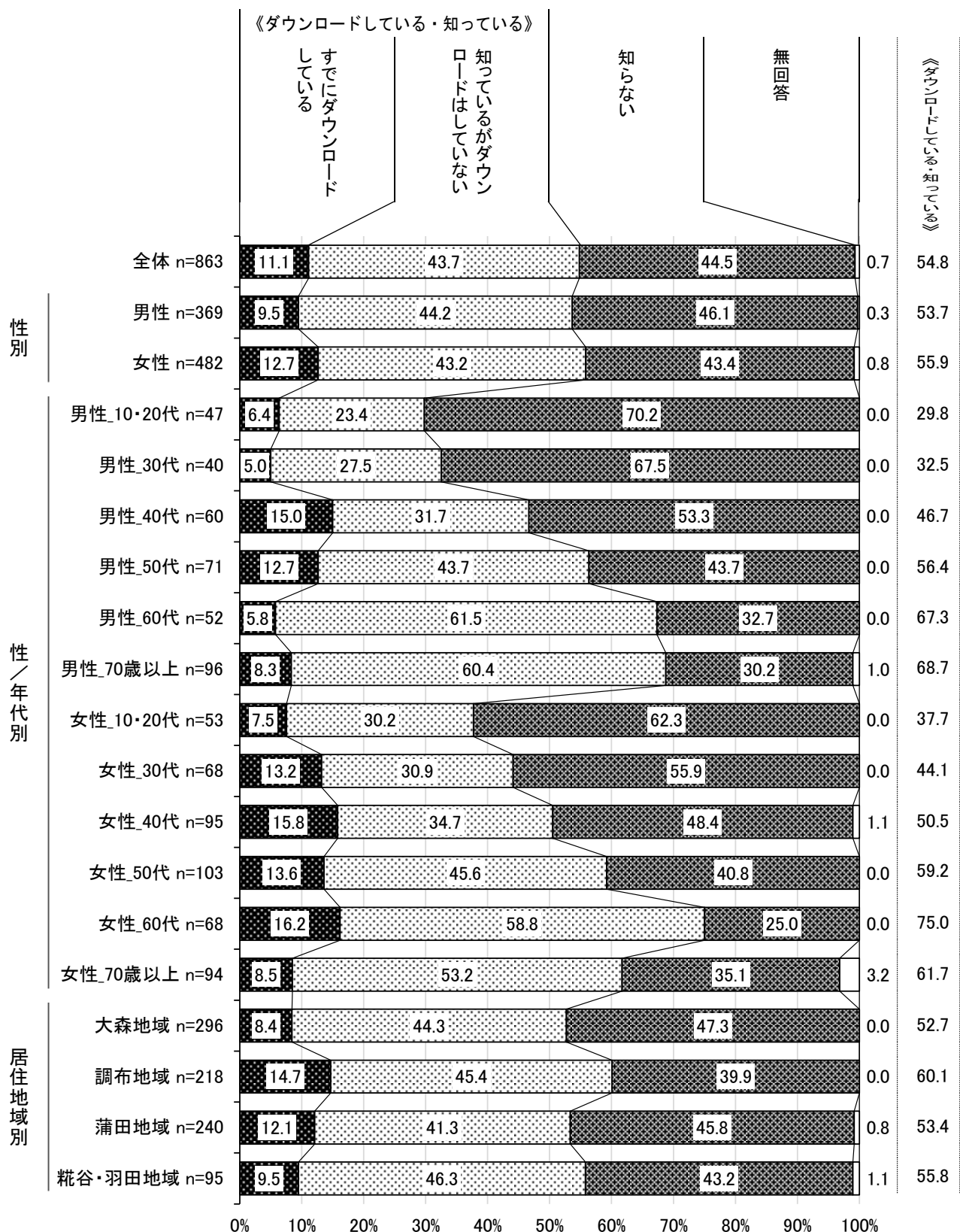


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《ダウンロードしている・知っている》は男性では年代が上がるにつれて増加傾向であり、60代、70歳以上で7割弱、女性では60代で7割半ばと高くなっている。その内、「すでにダウンロードしている」は男性では40代、50代、女性では30代から60代で1割台となっている。

居住地域別で見ると、《ダウンロードしている・知っている》は調布地域で約6割と高く、「すでにダウンロードしている」でも調布地域が1割半ばと高くなっている。



(2) 「大田区防災ポータルサイト」の認知度

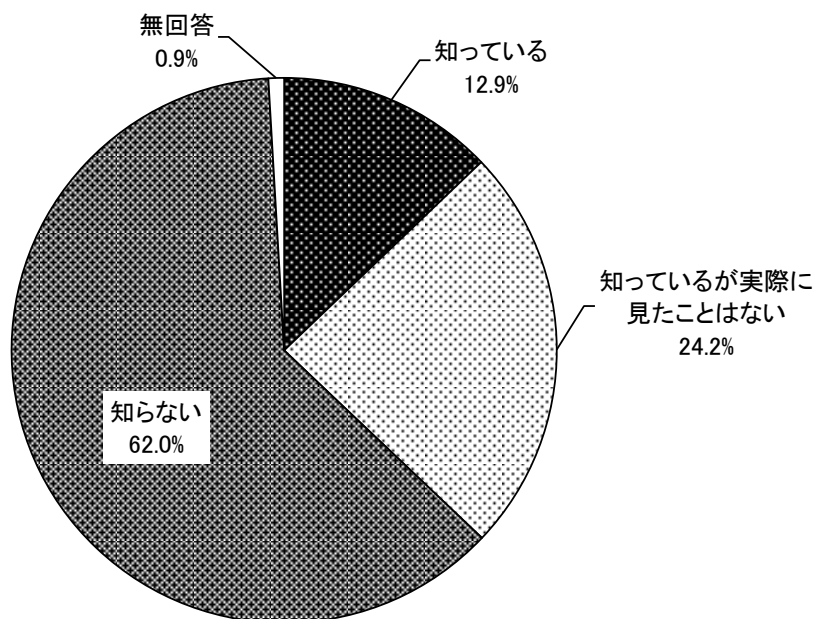
◇ 《知っている》（「知っている」、「知っているが実際に見たことはない」の合計値）は4割弱となっている

問6 「大田区防災ポータルサイト」を知っていますか。（1つのみ）

“大田区防災ポータルサイト”の認知度については、「知っている」、「知っているが実際に見たことはない」の合計値《知っている》は37.1%となっている。その内、「知っているが実際に見たことはない」は24.2%となっている。

なお、「知らない」は62.0%となっている。

全体 n=863

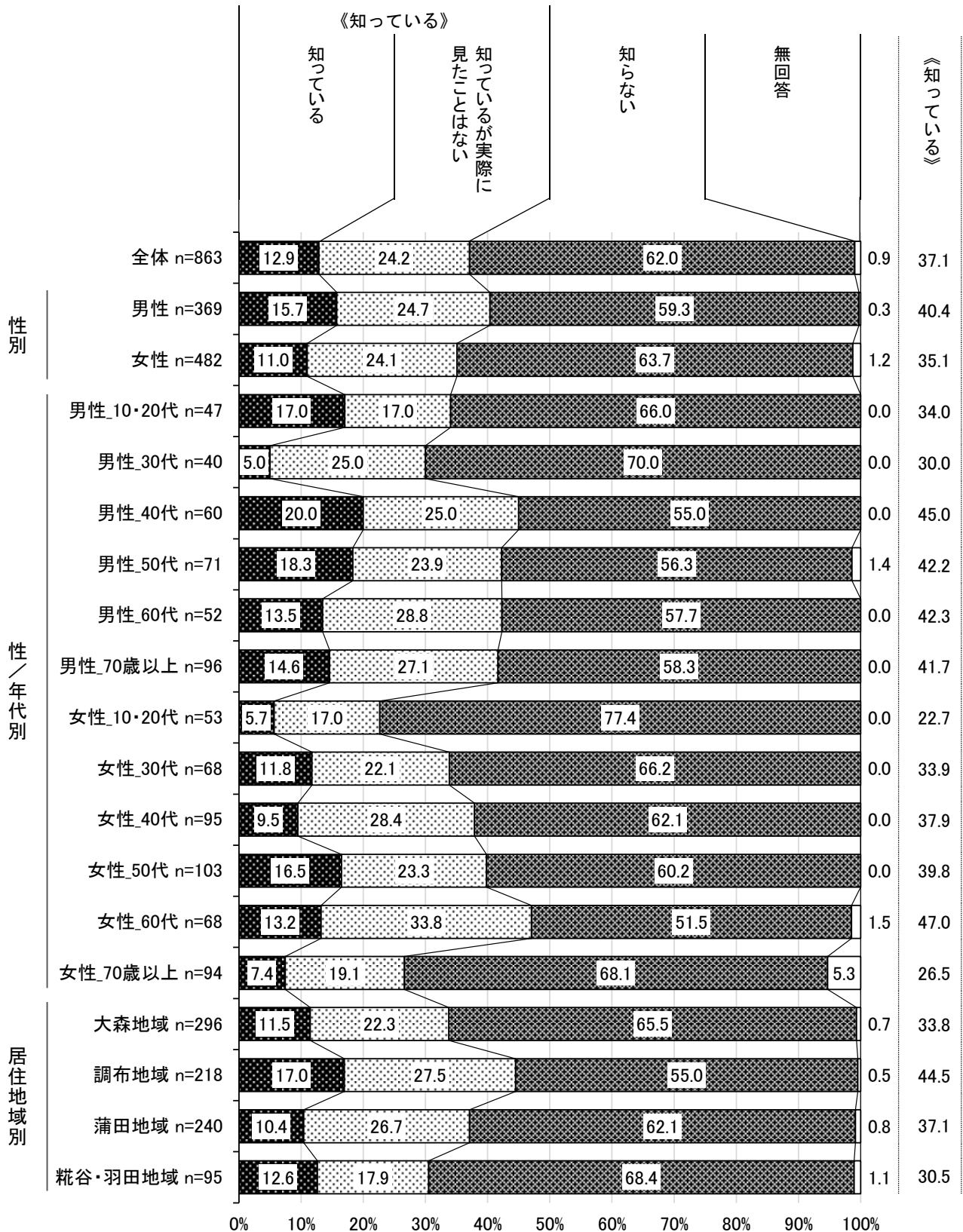


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が40.4%、女性が35.1%と、男性が5.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では40代で4割半ば、女性では60代で5割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は調布地域で4割半ばと高くなっている。



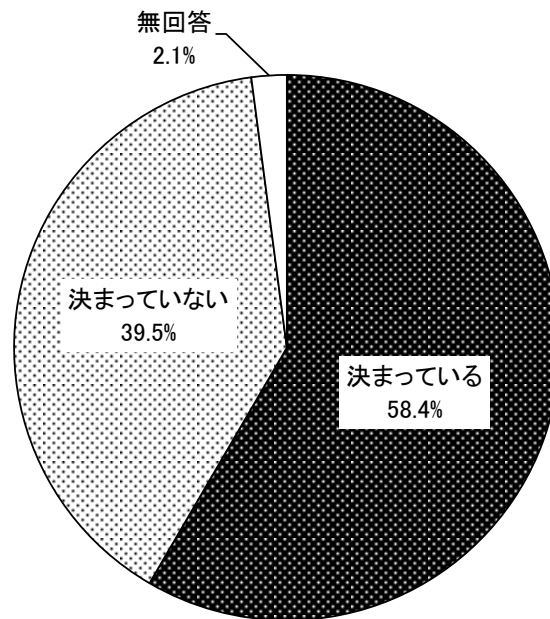
(3) 災害時の避難先の決定状況

◇「決まっている」は6割弱となっている

問7 災害時の避難先は決まっていますか。(1つのみ)

災害時の避難先の決定状況については、「決まっている」が58.4%、「決まっていない」が39.5%と、「決まっている」が18.9ポイント上回っている。

全体 n=863

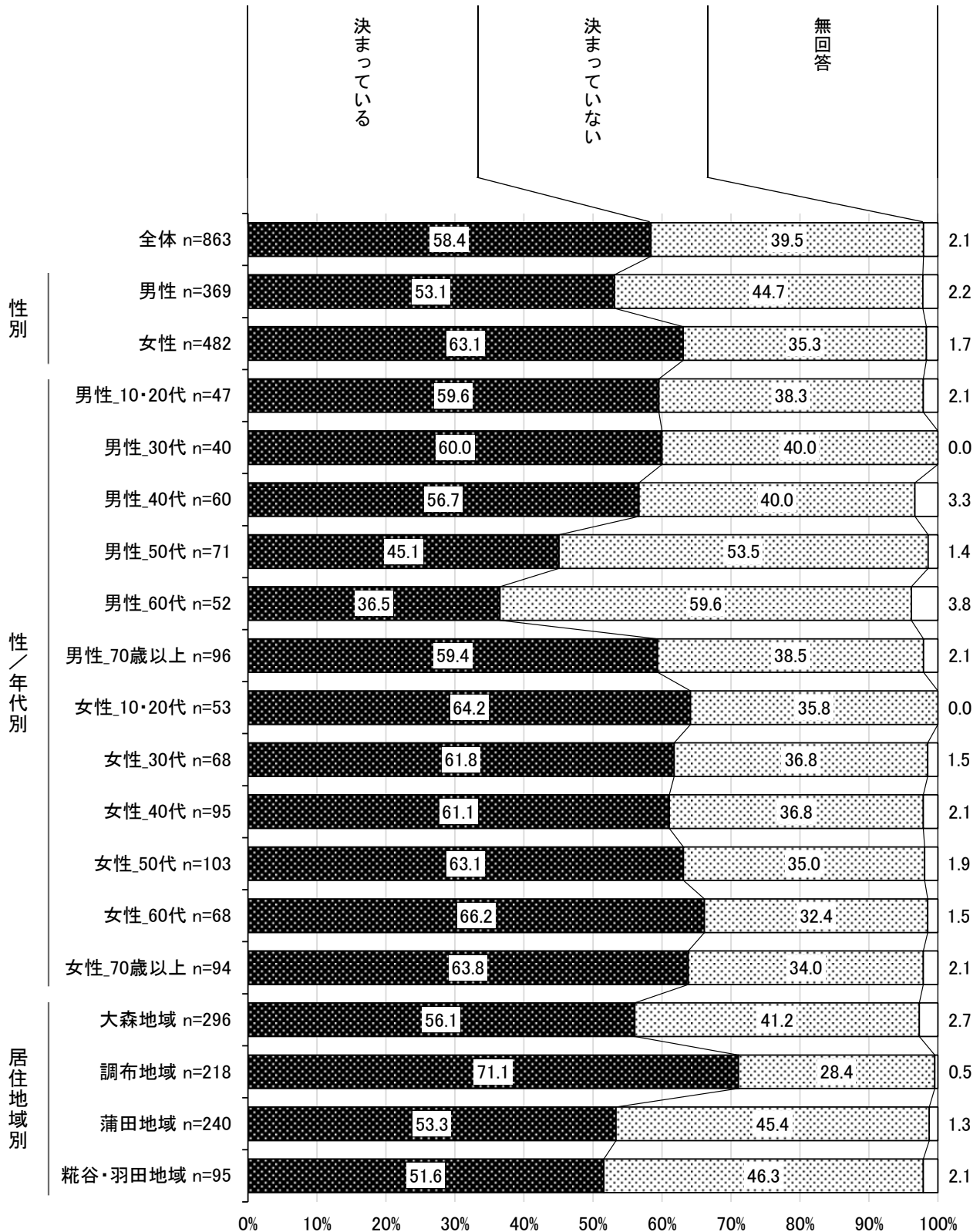


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「決まっている」は男性が53.1%、女性が63.1%と、女性が10.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「決まっている」は男性30代、女性ではすべての年代で6割台となっている。

居住地域別でみると、「決まっている」は調布地域で7割前半と高くなっている。



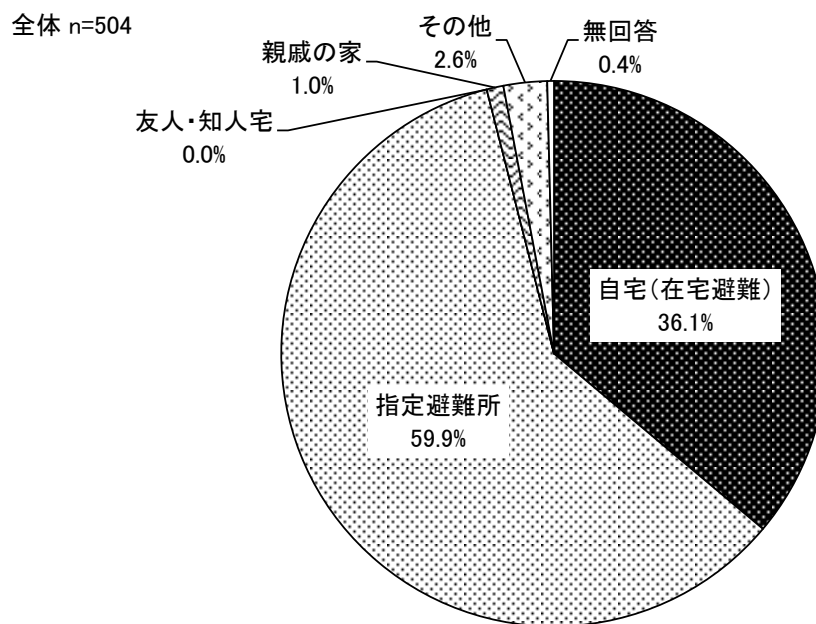
(4) 災害時の避難先

◇「指定避難所」が約6割となっている

【問7で「決まっている」と回答した方に伺います。】

問7-1 避難先はどこですか。(1つのみ)

災害時の避難先については、「指定避難所」が59.9%で最も高く、次いで「自宅(在宅避難)」が36.1%、「親戚の家」が1.0%となっている。

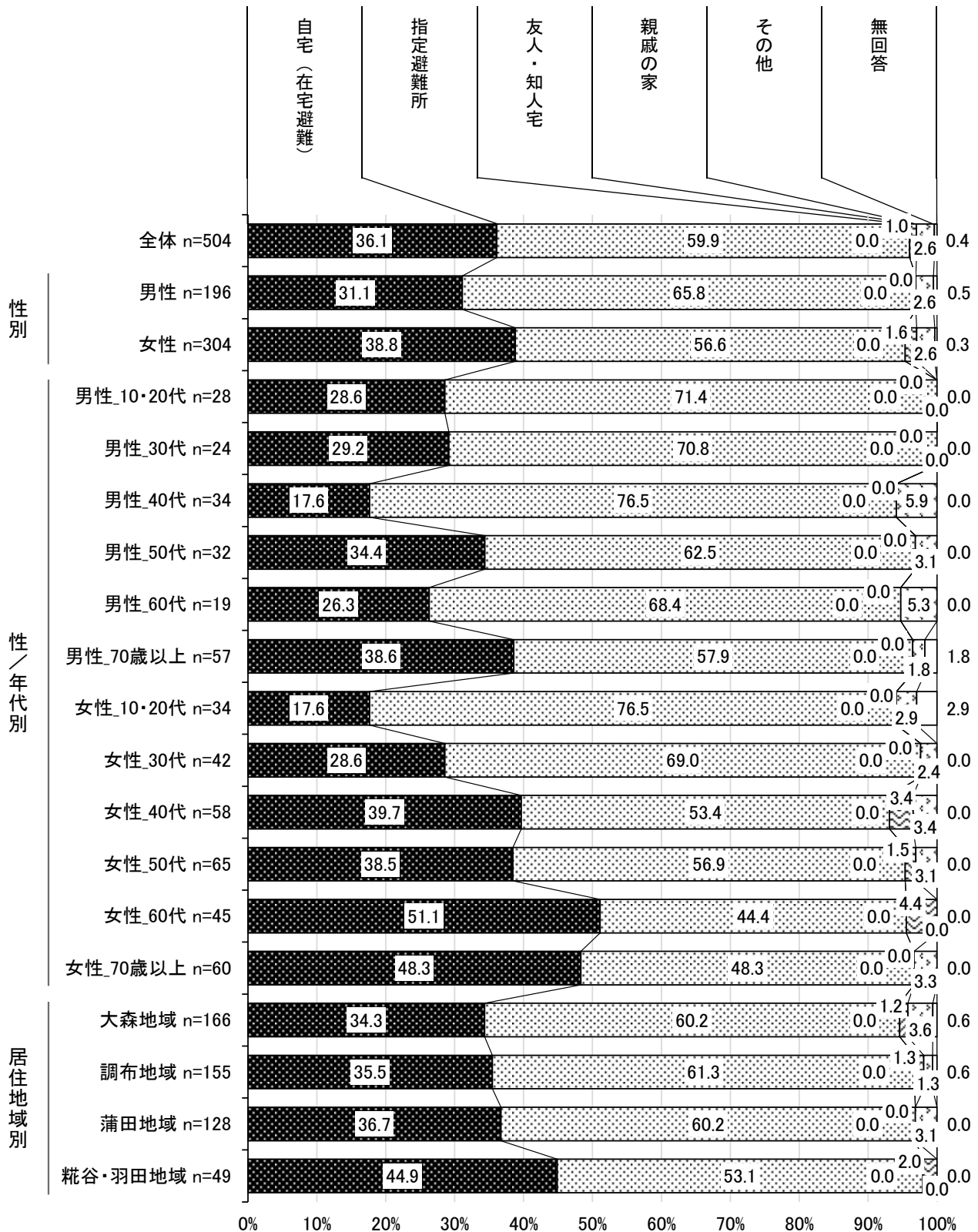


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「自宅（在宅避難）」は男性が31.1%、女性が38.8%と、女性が7.7ポイント上回っている。「指定避難所」は男性が65.8%、女性が56.6%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「自宅（在宅避難）」は女性では年代が上がるにつれて増加傾向であり、女性60代で5割前半、女性70歳以上で5割弱となっている。

居住地域別でみると、「自宅（在宅避難）」は糞谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



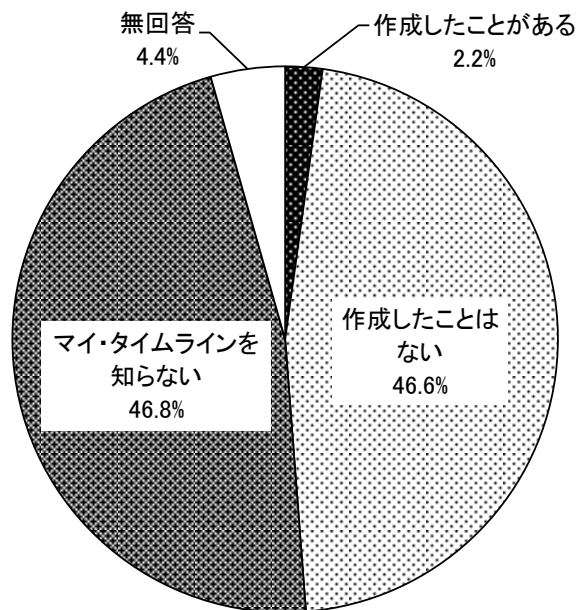
(5) 「マイ・タイムライン」の作成状況

◇「作成したことがある」は3%未満となっている

問8 区は大規模災害に備え、家族構成や生活環境に合わせた防災行動をあらかじめ時系列にまとめておく「マイ・タイムライン（個人の避難計画）」の普及に努めていますが、あなたは「マイ・タイムライン」を作成したことがありますか。（1つのみ）

“マイ・タイムライン”の作成状況については、「マイ・タイムラインを知らない」が46.8%で最も高く、次いで「作成したことはない」が46.6%、「作成したことがある」が2.2%となっている。

全体 n=863

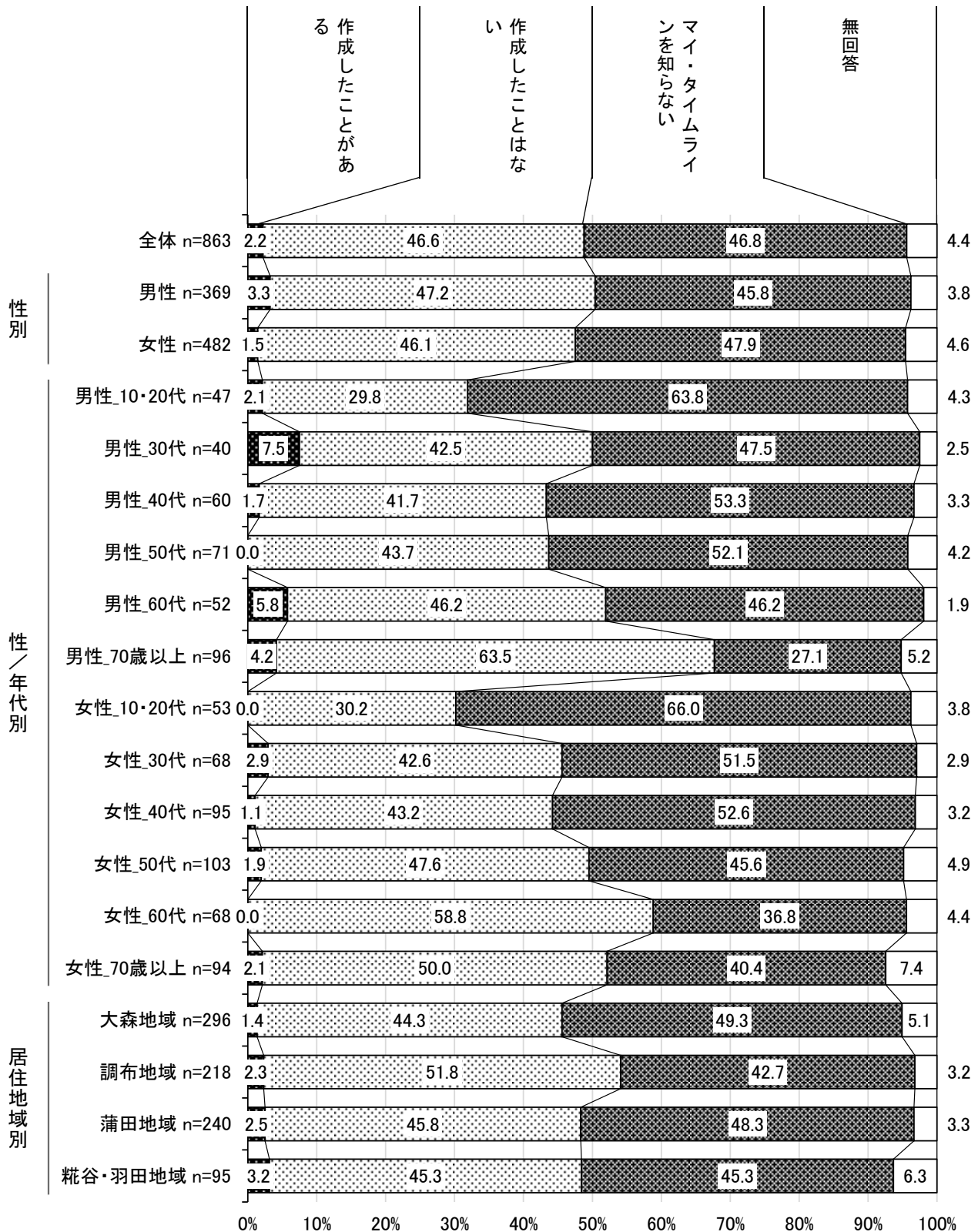


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「作成したことがある」は男性30代で1割弱と高くなっている。一方で、「マイ・タイムラインを知らない」は男性10・20代、女性10・20代で6割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「作成したことがある」は4%未満となっている。一方で、「マイ・タイムラインを知らない」はすべての地域で4割台となっている。



(6) 「マイ・タイムライン」の作成方法

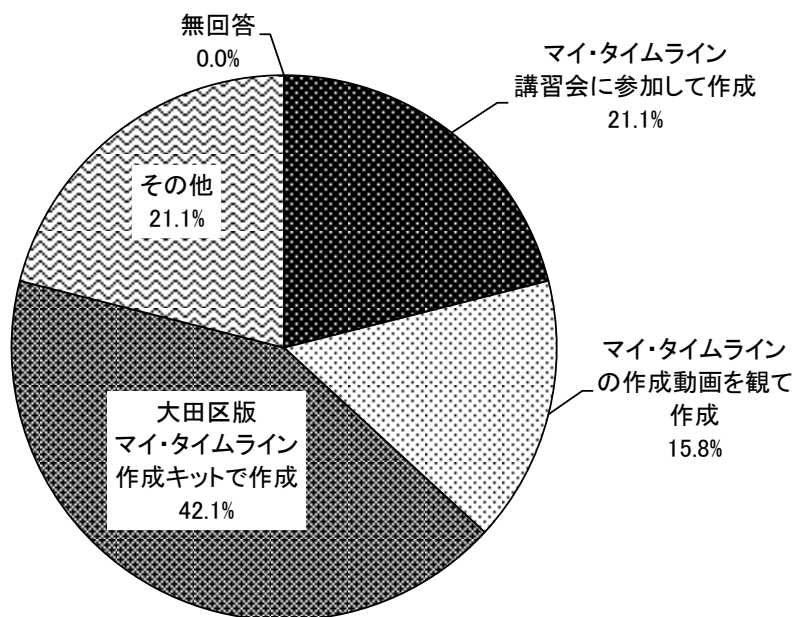
◇「大田区版マイ・タイムライン作成キットで作成」が4割前半となっている

【問8で「作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問8-1 どのように作成しましたか。(1つのみ)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「大田区版マイ・タイムライン作成キットで作成」が42.1%で最も高く、次いで「マイ・タイムライン講習会に参加して作成」が21.1%、「マイ・タイムラインの作成動画を観て作成」が15.8%となっている。

全体 n=19



(7) 令和3年9月12日、情報伝達訓練として区から避難情報を発信したことの認知度

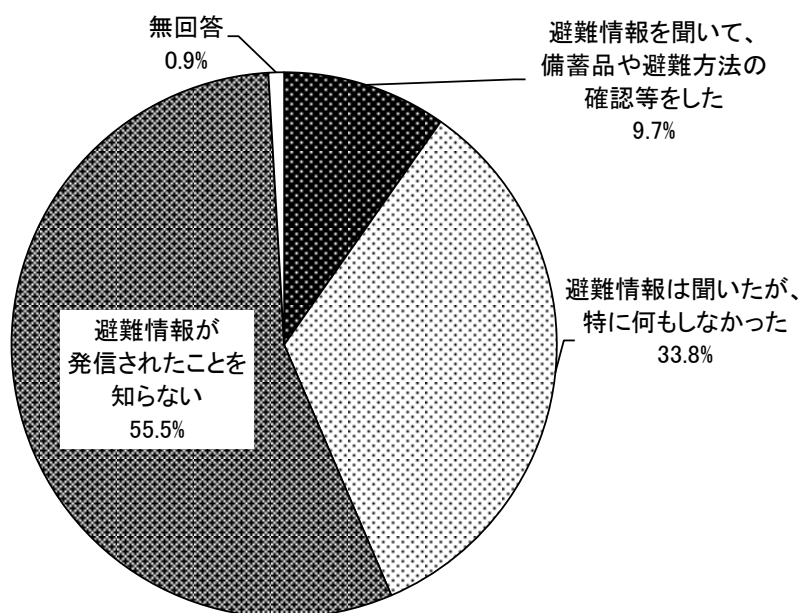
◇《避難情報を聞いた》(「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」、「避難情報は聞いたが、特に何もしなかった」の合計値)は4割前半となっている

問9 令和3年9月12日に行った大田区総合防災訓練(風水害編)で、情報伝達訓練として様々な媒体で区から避難情報を発信したことを知っていますか。(1つのみ)

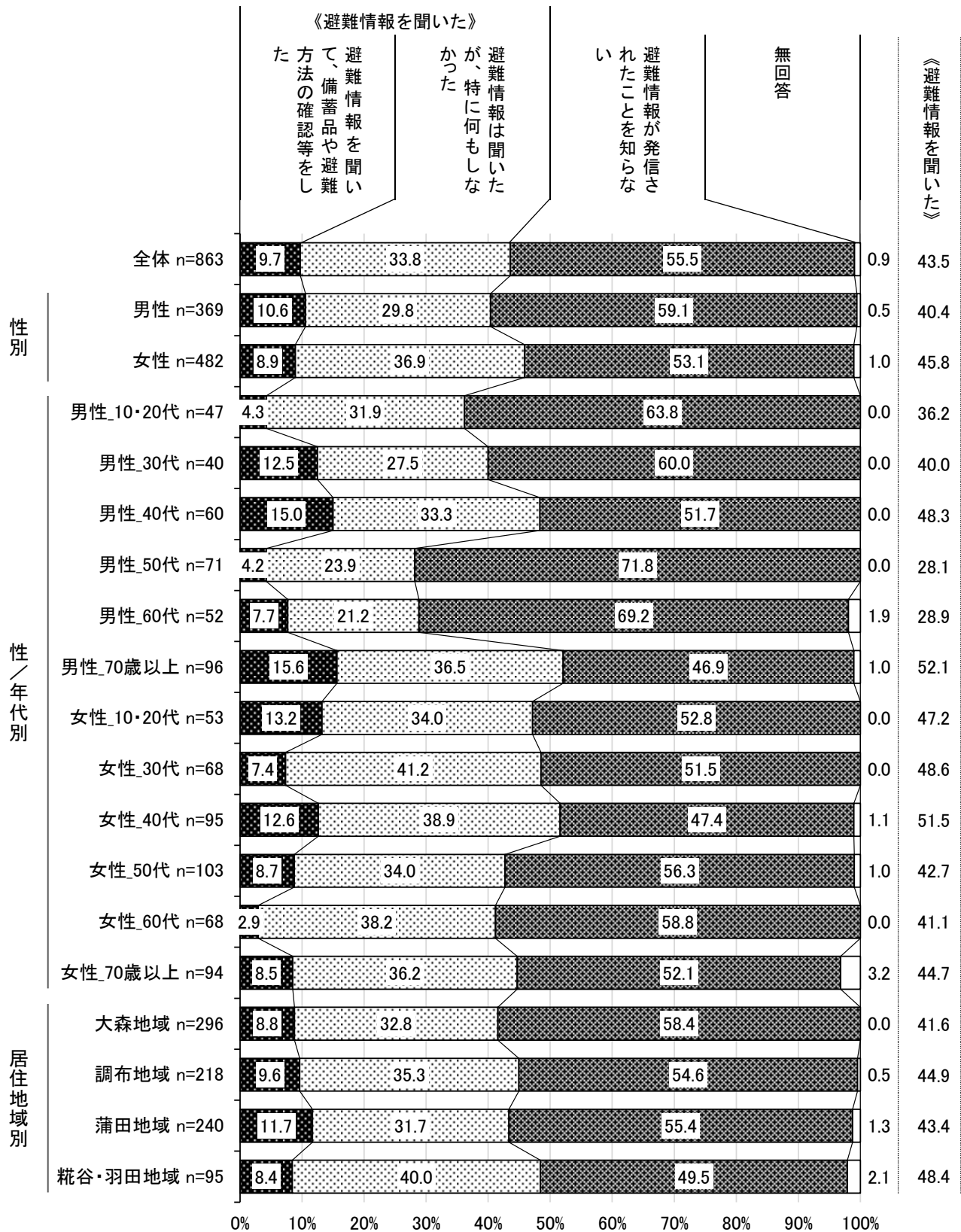
令和3年9月12日、情報伝達訓練として区から避難情報を発信したことの認知度については、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」、「避難情報は聞いたが、特に何もしなかった」の合計値《避難情報を聞いた》は43.5%となっている。その内、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」は9.7%となっている。

なお、「避難情報が発信されたことを知らない」は55.5%となっている。

全体 n=863



■ 性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、《避難情報を聞いた》は男性が 40.4%、女性が 45.8%と、女性が 5.4 ポイント上回っている。一方で、「避難情報が発信されたことを知らない」では男性が 59.1%、女性が 53.1%と、男性が 6.0 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《避難情報を聞いた》は男性 70 歳以上、女性 40 代で 5 割台となっている。また、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」は男性 30 代、男性 40 代、男性 70 歳以上、女性 10・20 代、女性 40 代で 1 割台となっている。

居住地域別でみると、《避難情報を聞いた》は糀谷・羽田地域で 5 割弱と高くなっている。また、「避難情報を聞いて、備蓄品や避難方法の確認等をした」は蒲田地域で 1 割前半と高くなっている。

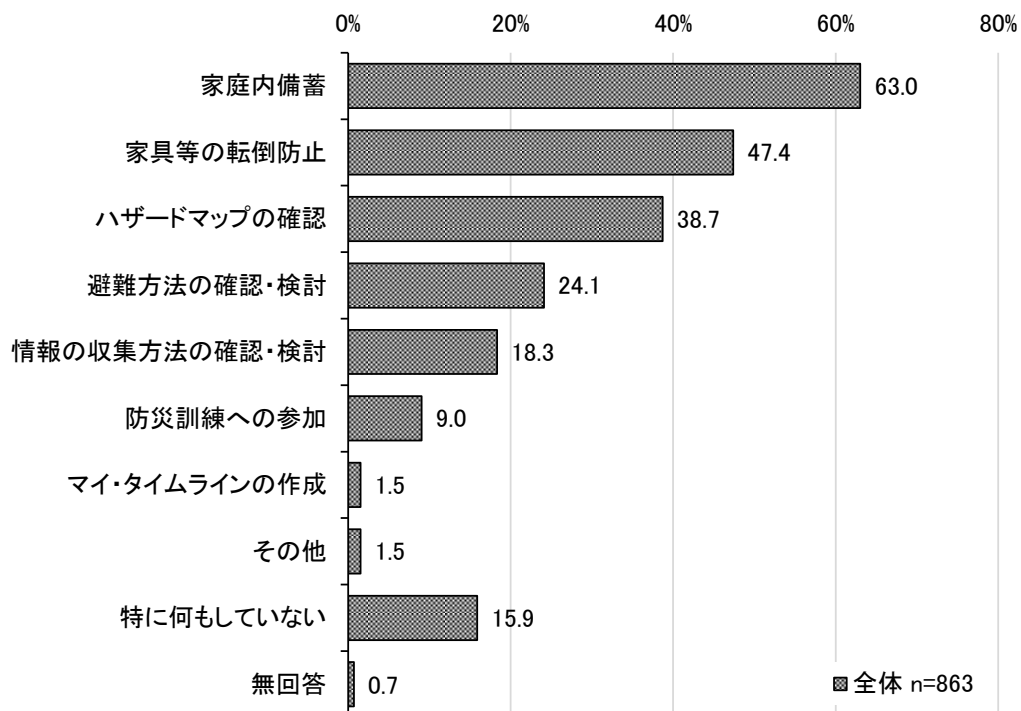
(8) 災害から自身を守るための取組

◇「家庭内備蓄」が6割前半で最も高くなっている

問 10 災害から自身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(いくつでも)

災害から自身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が63.0%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が47.4%、「ハザードマップの確認」が38.7%となっている。

なお、「特に何もしていない」は15.9%となっている。

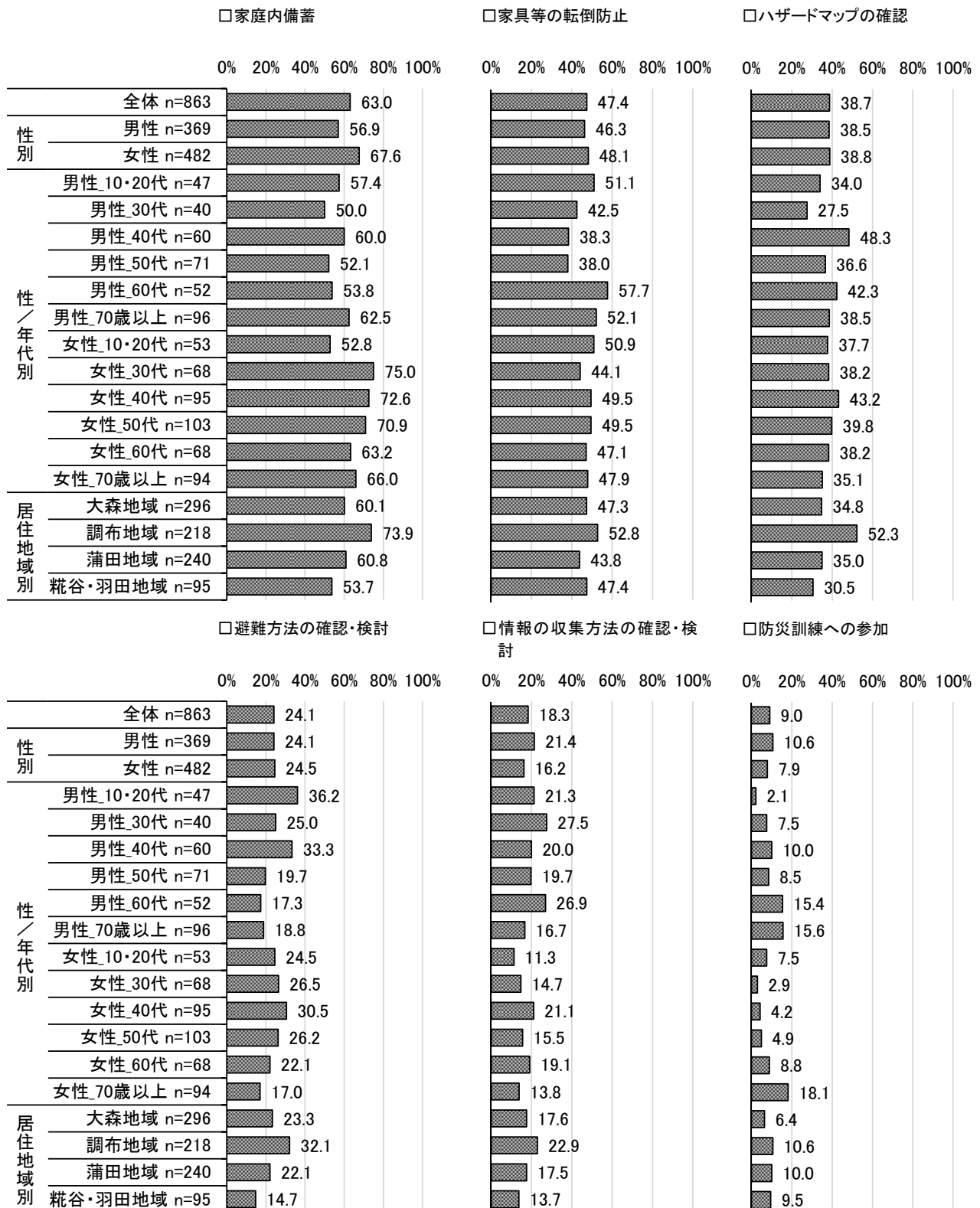


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「家庭内備蓄」が最も高く、男性が56.9%、女性が67.6%と、女性が10.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、男性60代を除き「家庭内備蓄」が最も高く、女性30代から50代で7割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「家庭内備蓄」が最も高く、調布地域で7割前半となっている。

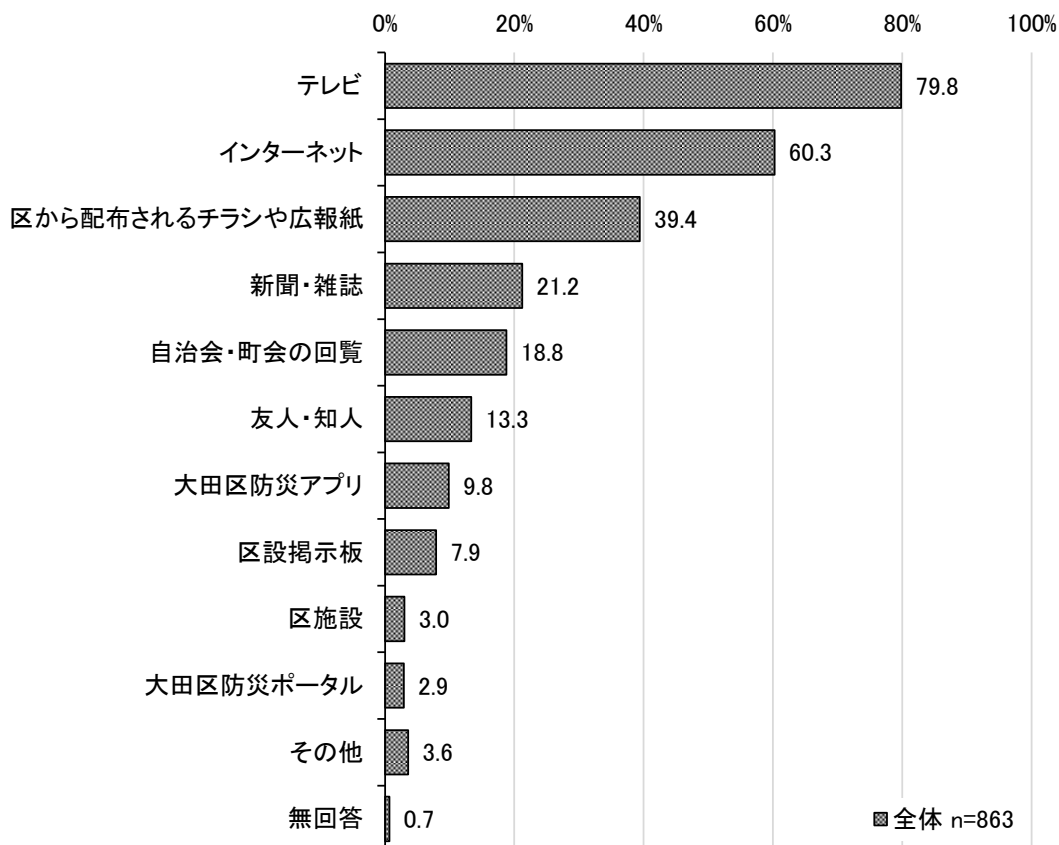


(9) 防災に関する情報の収集方法

◇「テレビ」が約8割で最も高くなっている

問 11 防災に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)

防災に関する情報の収集方法については、「テレビ」が79.8%で最も高く、次いで「インターネット」が60.3%、「区から配布されるチラシや広報紙」が39.4%となっている。

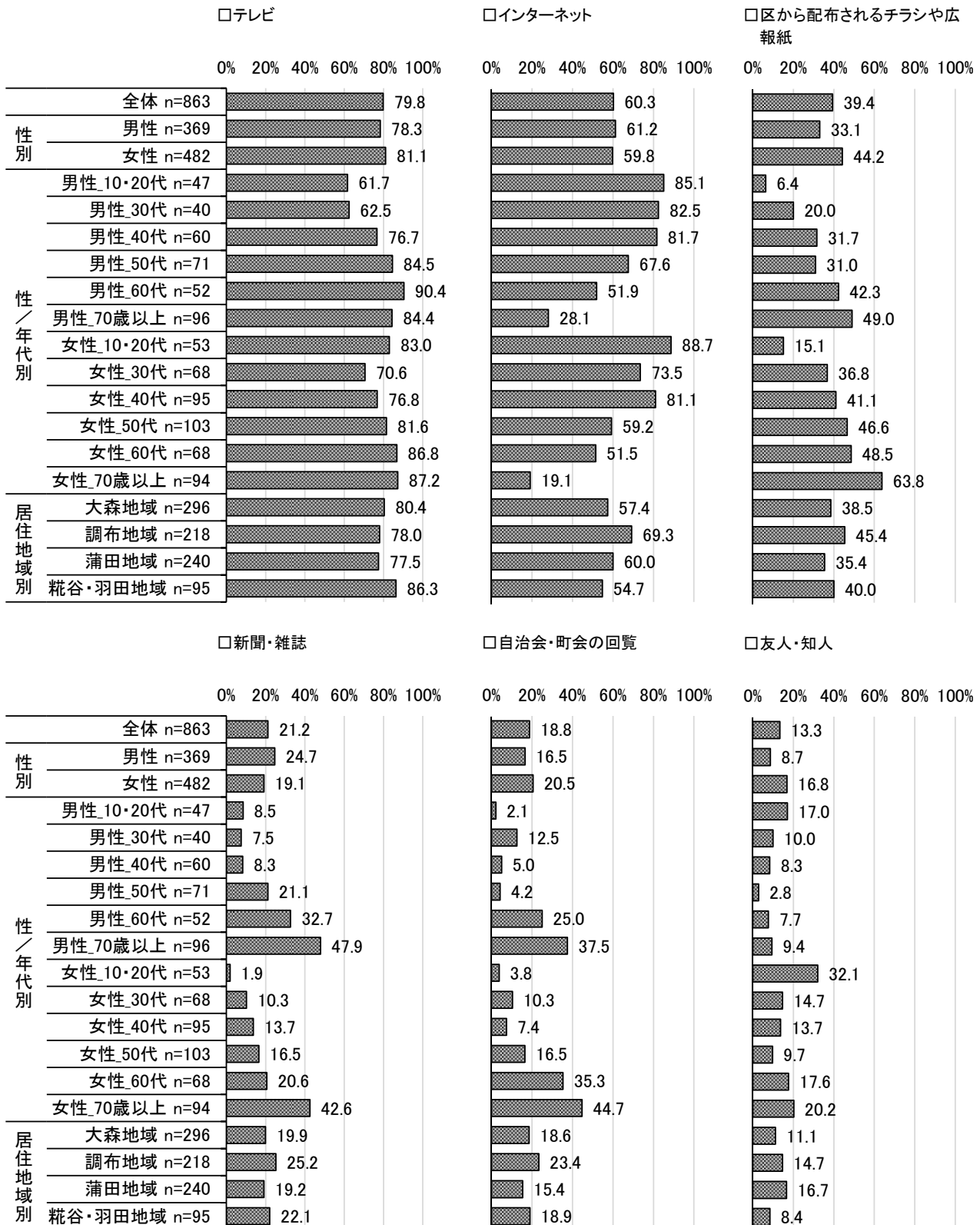


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「テレビ」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、男性、女性ともに10・20代から40代は「インターネット」が最も高くなっている。男性、女性ともに50代から70歳以上は「テレビ」が最も高くなっている。「区から配布されるチラシや広報紙」は男性、女性ともに年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で5割弱、女性70歳以上で6割前半となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「テレビ」が最も高く、糞谷・羽田地域で9割弱となっている。



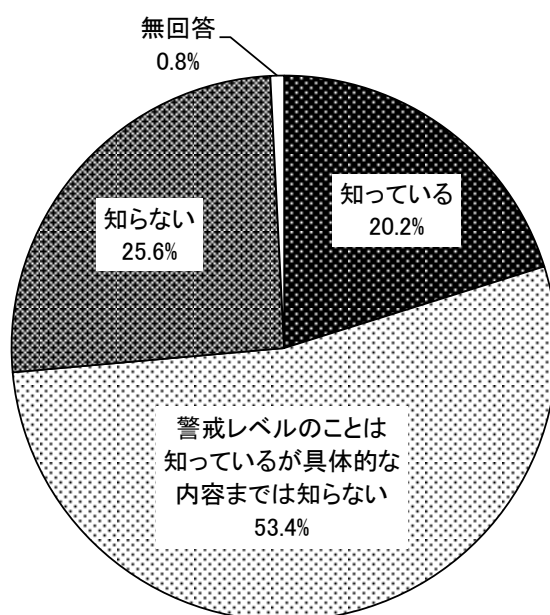
(10) 警戒レベルに応じた避難行動の認知度

◇「知っている」は約2割となっている

問 12 令和3年5月に、避難の判断をするための避難情報が見直され、警戒レベル3で高齢者・障がい者、乳幼児等は避難を開始し、警戒レベル4までに全ての人が避難することとなりました。各警戒レベルに応じてとるべき避難行動を知っていますか。(1つのみ)

警戒レベルに応じた避難行動の認知度については、「警戒レベルのことは知っているが具体的な内容までは知らない」が53.4%で最も高く、次いで「知らない」が25.6%、「知っている」が20.2%となっている。

全体 n=863

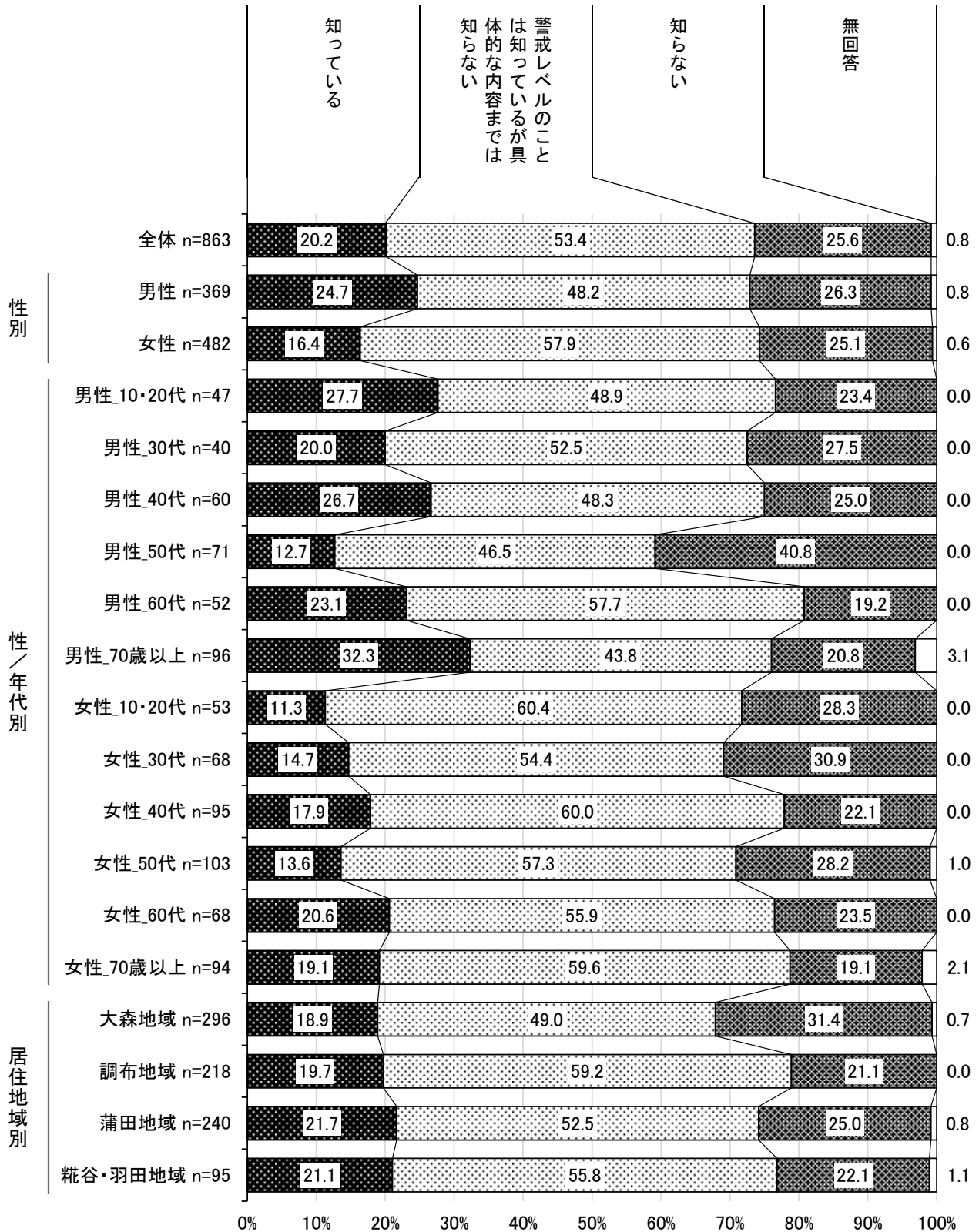


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が24.7%、女性が16.4%と、男性が8.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では70歳以上で3割前半、女性では60代、70歳以上で約2割と高くなっている。

居住地域別でみると、「知らない」は大森地域で3割前半と高くなっている。



6 図書館について

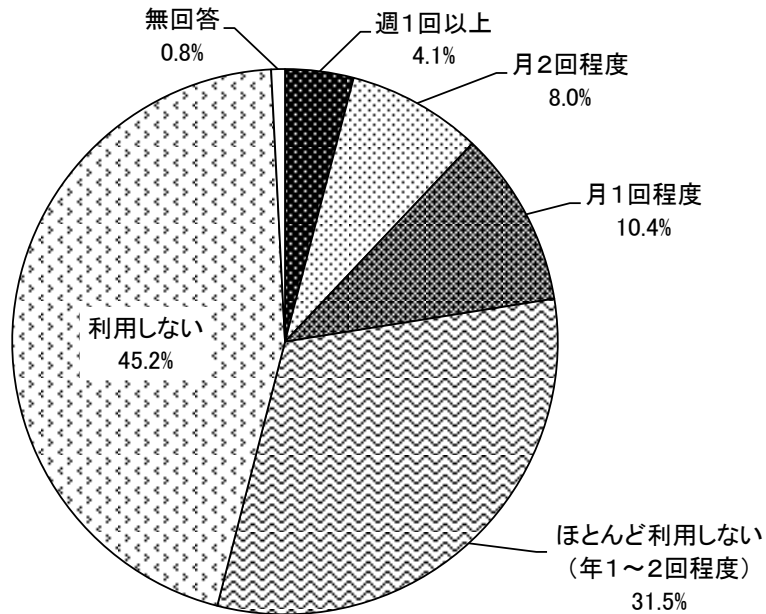
(1) 図書館等の利用頻度

◇ 《利用している》（「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値）は2割前半となっている

**問 13 あなたは、大田区立図書館又は大田文化の森情報館をどのくらい利用していますか。
（1つのみ）**

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》は22.5%である一方で、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」、「利用しない」の合計値《利用しない》は76.7%と、《利用しない》が54.2ポイント上回っている。

全体 n=863

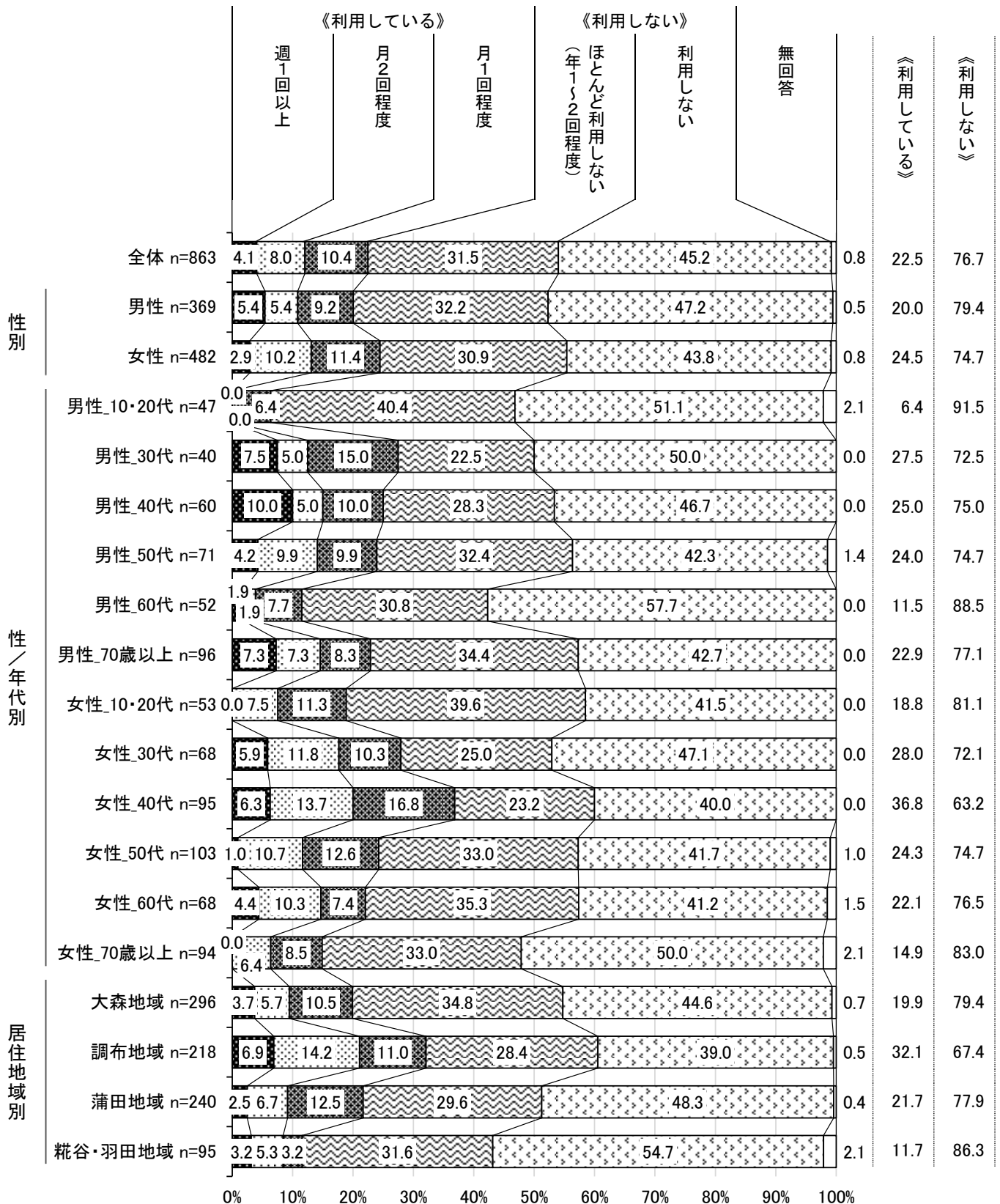


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《利用している》は男性が20.0%、女性が24.5%と、女性が4.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《利用している》は男性では30代で3割弱、女性では40代で4割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、《利用している》は調布地域で3割前半となっている。



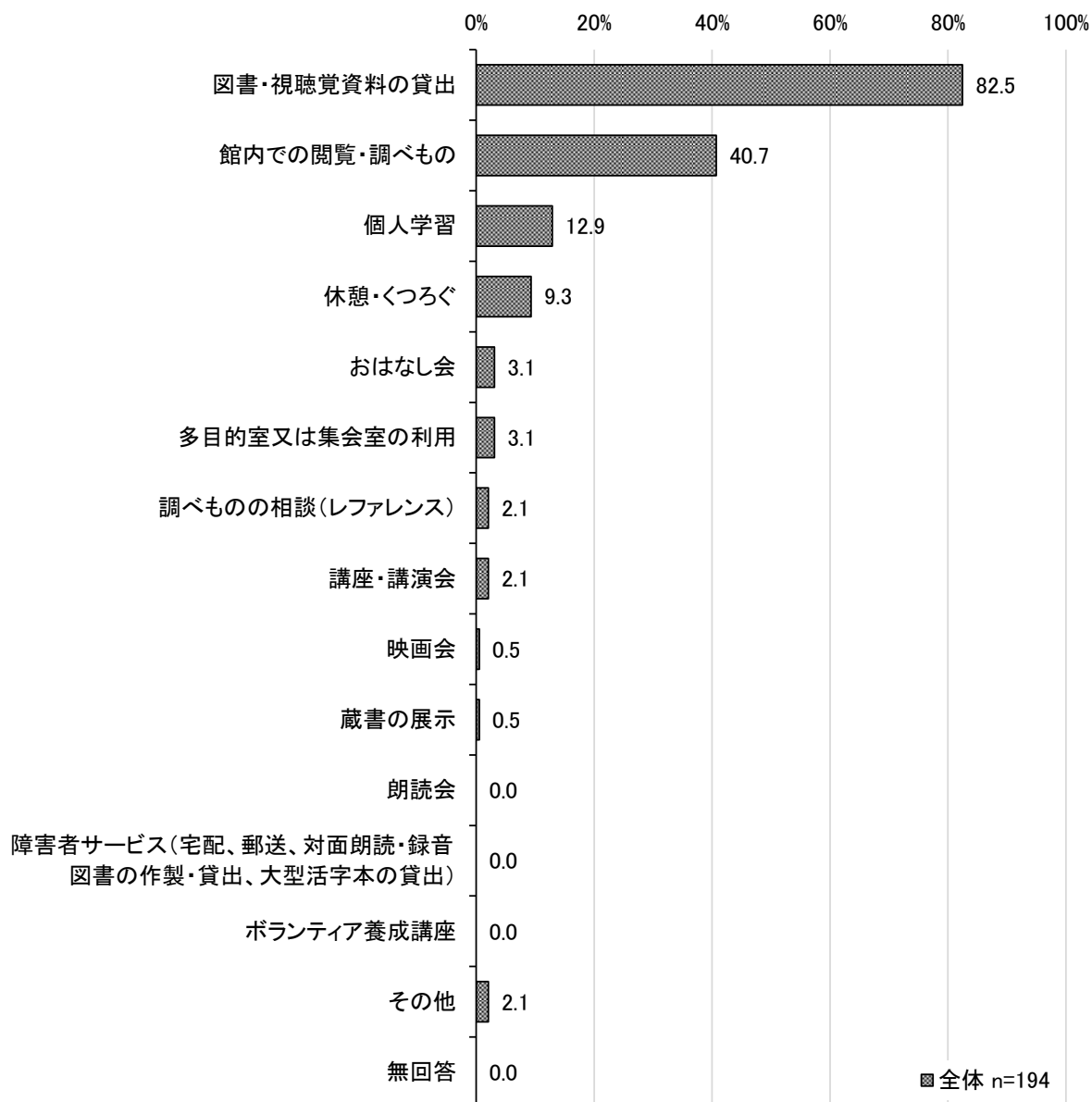
(2) 図書館で主に利用する機能・サービス

◇「図書・視聴覚資料の貸出」が8割前半で最も高くなっている

【問 13 で「週 1 回以上」「月 2 回程度」「月 1 回程度」と回答した方に伺います。】

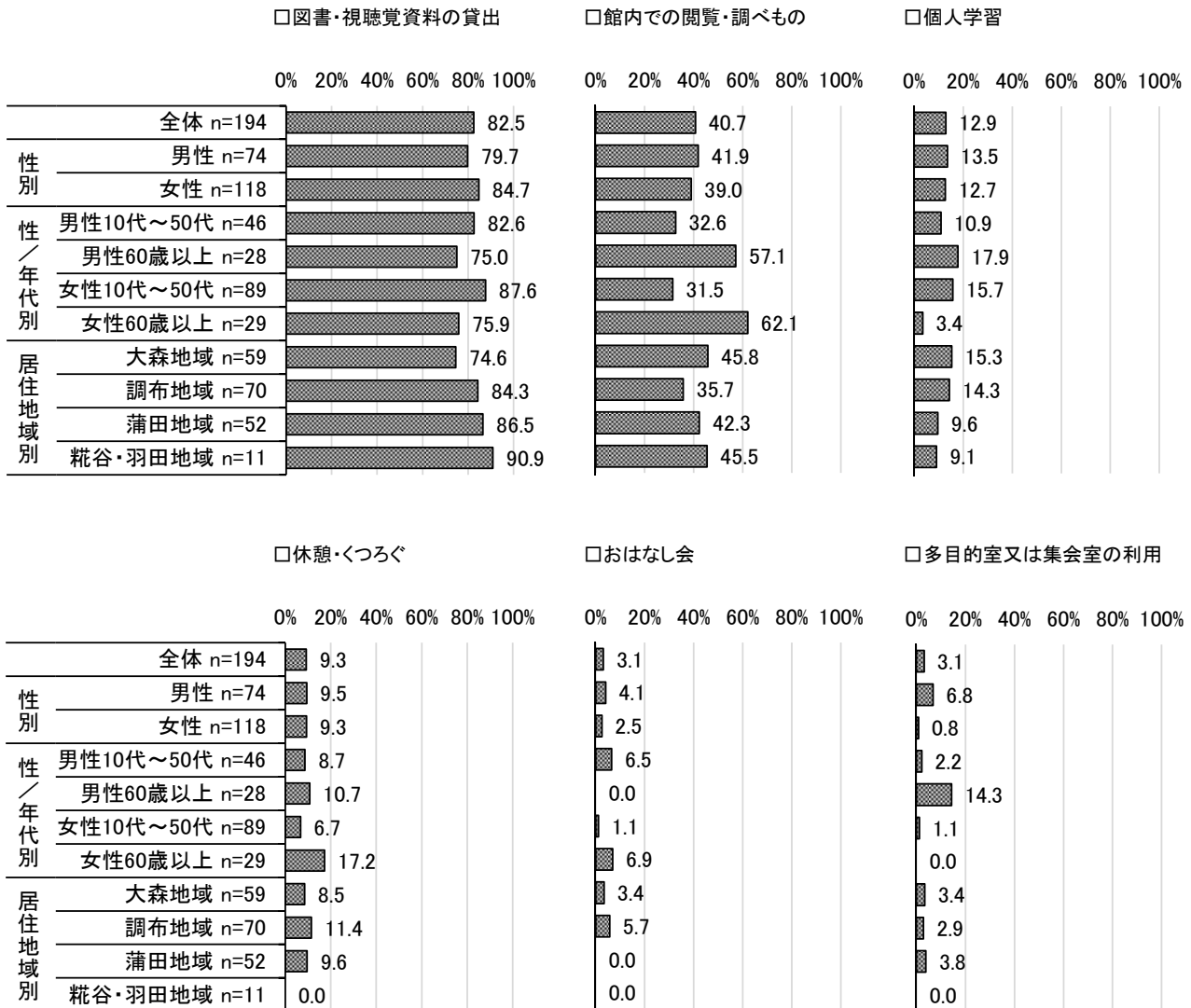
問 13-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(いくつでも)

図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が 82.5% で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が 40.7%、「個人学習」が 12.9% となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高く、男性が79.7%、女性が84.7%と、女性が5.0ポイント上回っている。



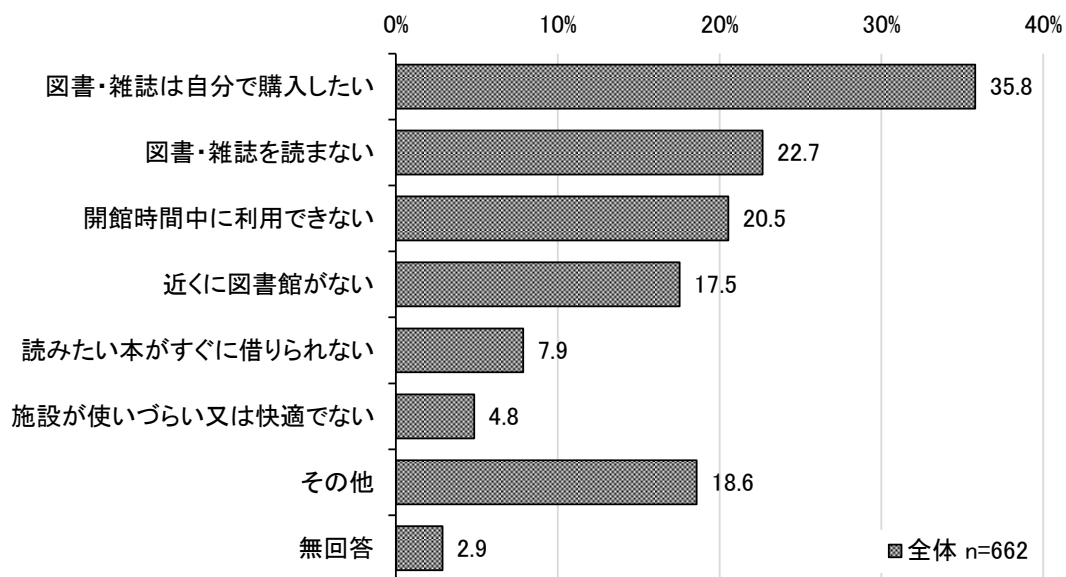
(3) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が3割半ばで最も高くなっている

【問 13 で「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」「利用しない」と回答した方に伺います。】

問 13-2 図書館を利用しない理由は何ですか。（いくつでも）

図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が35.8%で最も高く、次いで「図書・雑誌を読まない」が22.7%、「開館時間中に利用できない」が20.5%となっている。

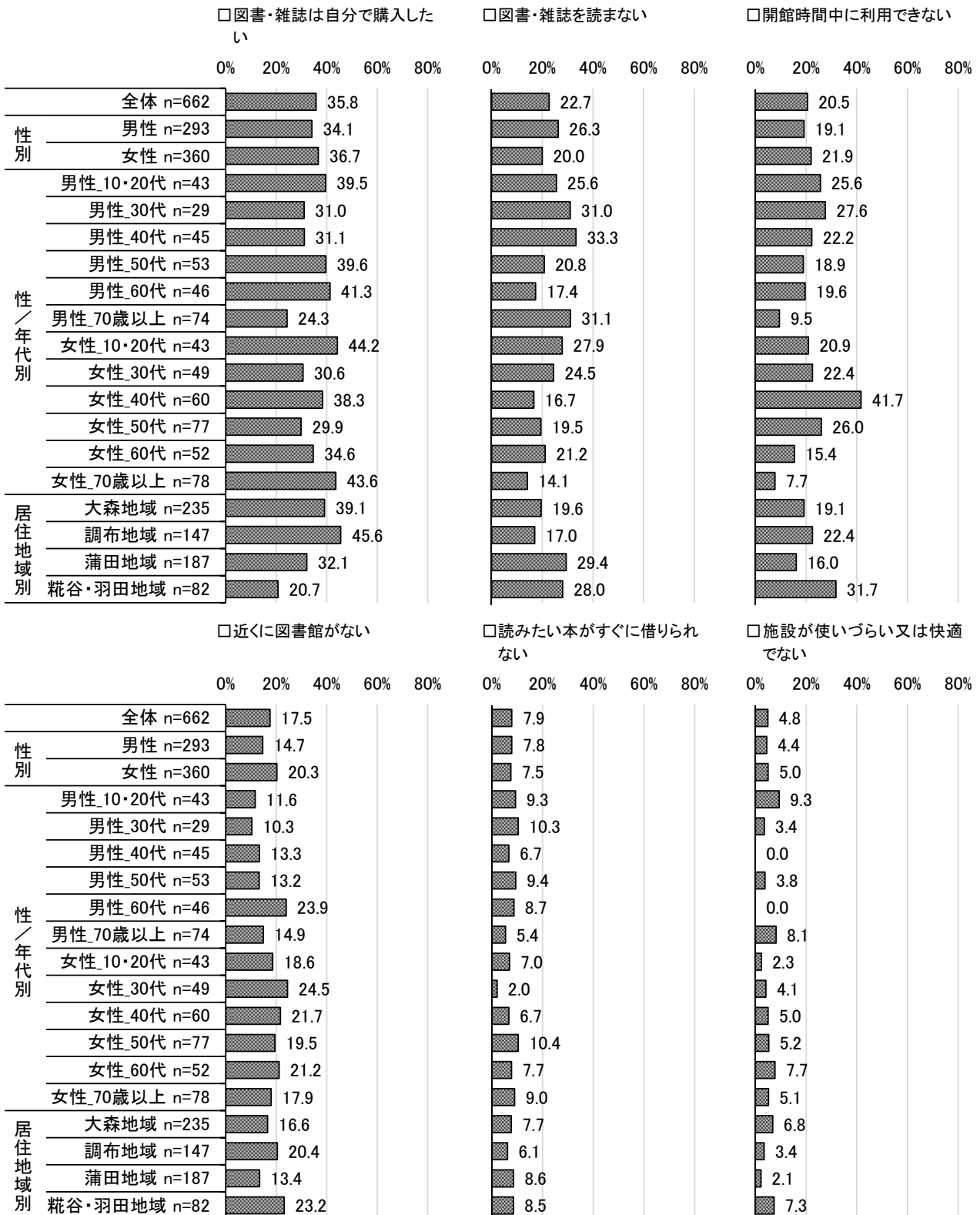


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「図書・雑誌は自分で購入したい」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は男性では60代で4割前半、女性では10・20代で4割半ばと高くなっている。「開館時間中に利用できない」は女性40代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「図書・雑誌は自分で購入したい」が、糎谷・羽田地域では「開館時間中に利用できない」が最も高くなっている。

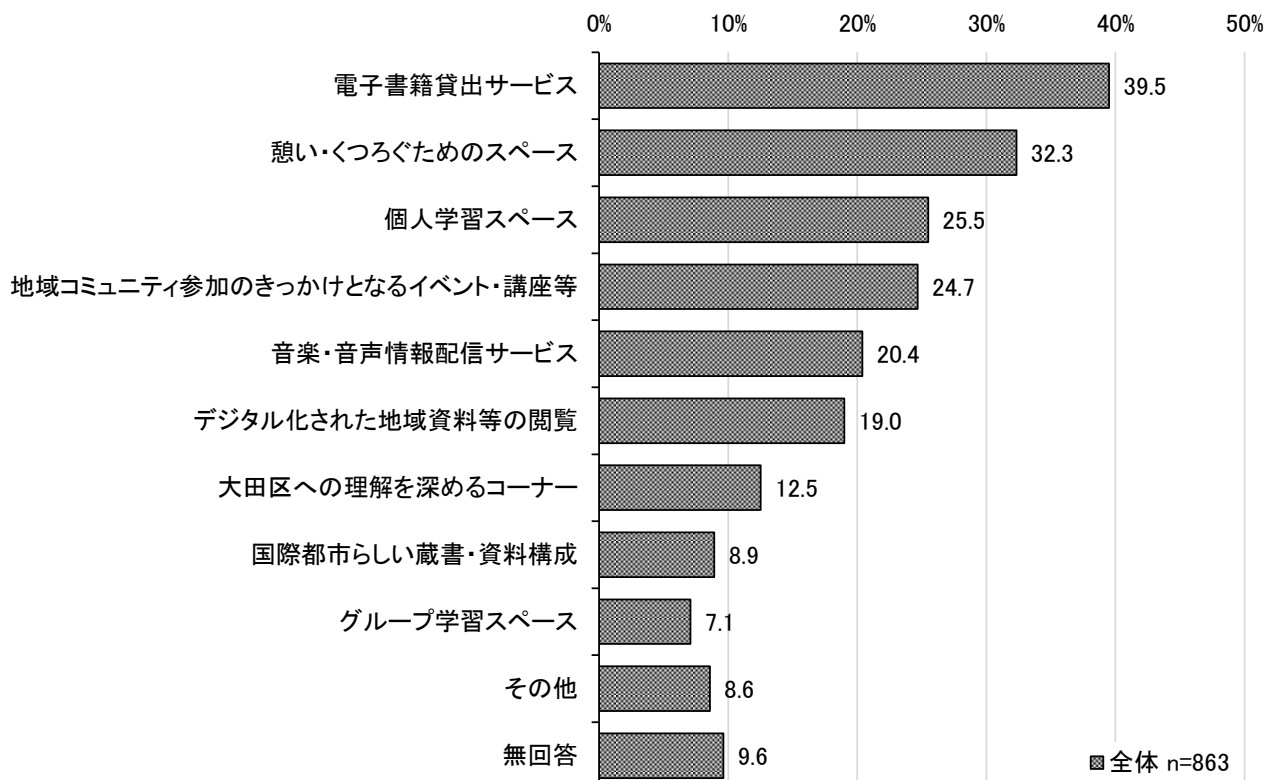


(4) 図書館に期待する機能・サービス

◇「電子書籍貸出サービス」が約4割で最も高くなっている

**問 14 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。
(いくつでも)**

図書館に期待する機能・サービスについては、「電子書籍貸出サービス」が39.5%で最も高く、次いで「憩い・くつろぐためのスペース」が32.3%、「個人学習スペース」が25.5%となっている。

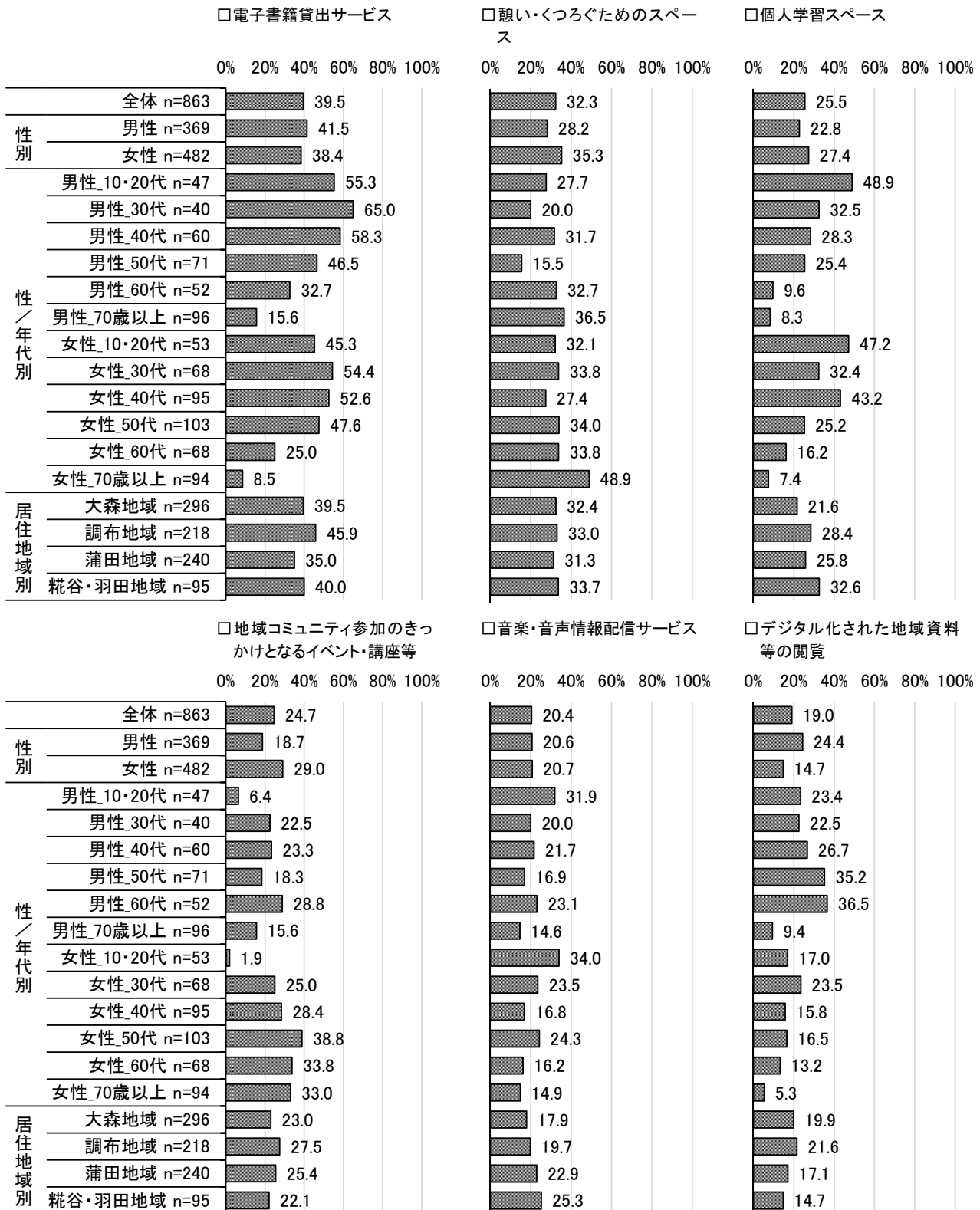


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「電子書籍貸出サービス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「電子書籍貸出サービス」は男性では30代で6割半ば、女性では30代で5割半ばと高くなっている。「個人学習スペース」は男性10・20代、女性10・20代、女性40代で4割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「電子書籍貸出サービス」が最も高く、調布地域で4割半ばとなっている。



7 自然環境について

(1) 「コアジサシ」の認知度

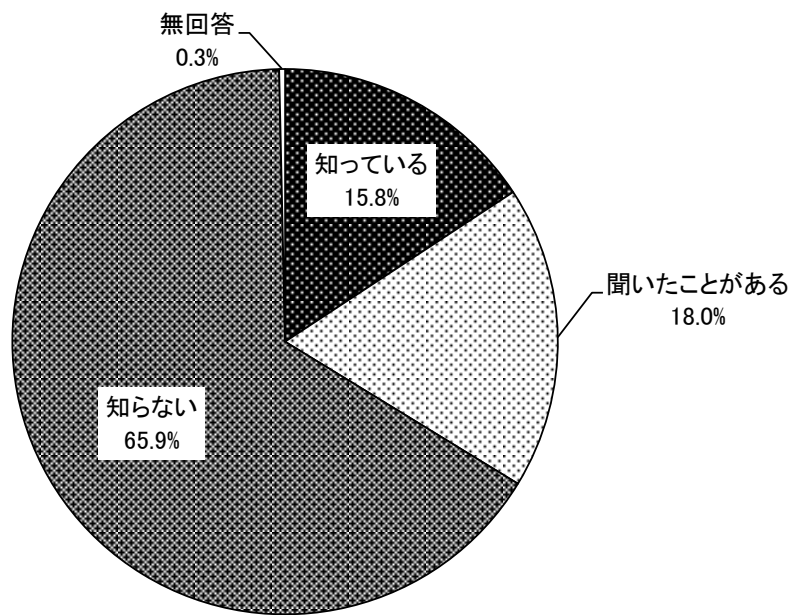
◇ 《知っている》（「知っている」、「聞いたことがある」の合計値）は3割前半となっている

問 15 絶滅の恐れのある渡り鳥「コアジサシ」を知っていますか。（1つのみ）

“コアジサシ”の認知度については、「知っている」、「聞いたことがある」の合計値《知っている》は33.8%となっている。

なお、「知らない」は65.9%となっている。

全体 n=863

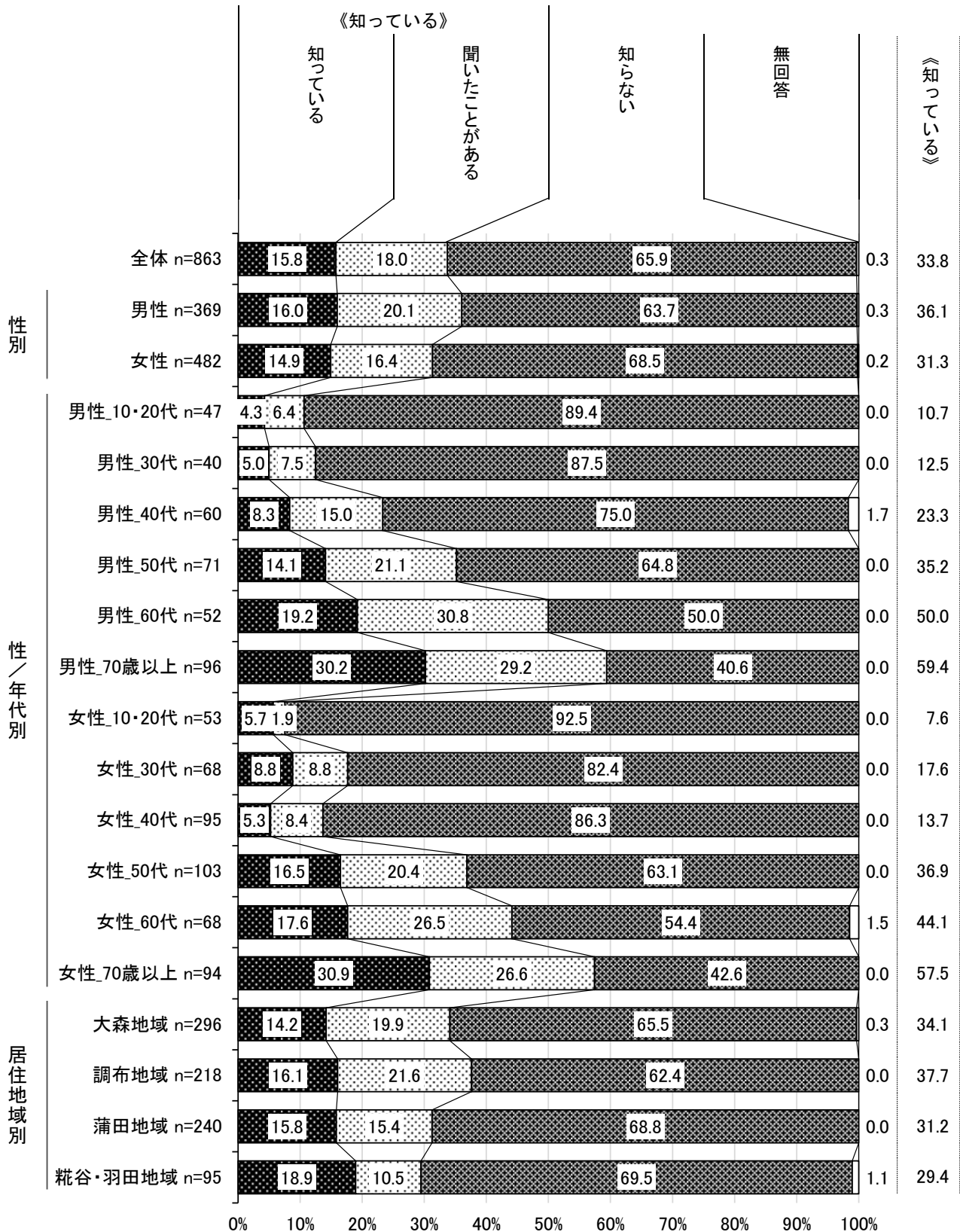


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が36.1%、女性が31.3%と、男性が4.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性、女性ともに年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上で約6割、女性70歳以上で6割弱となっている。

居住地域別でみると、《知っている》は調布地域で4割弱と高くなっている。

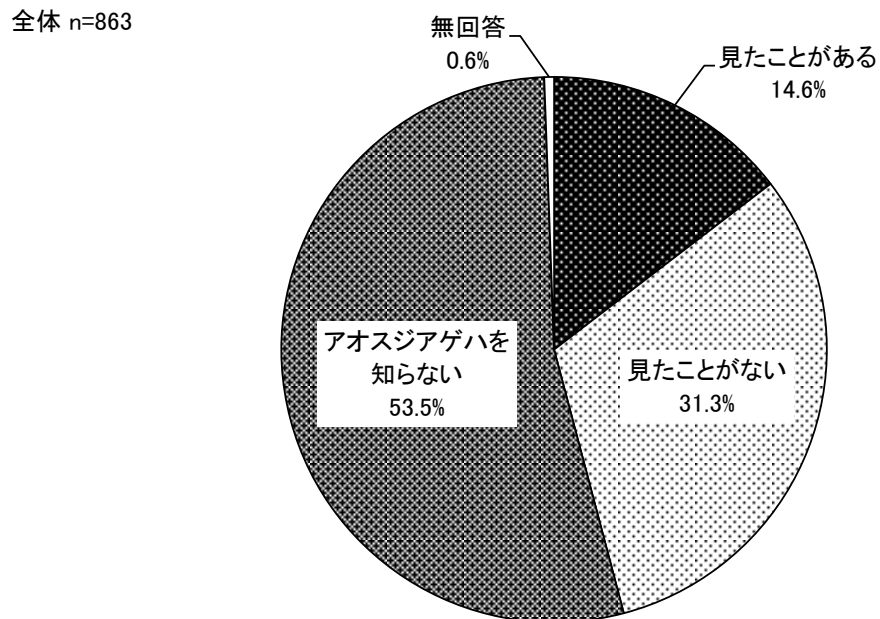


(2) 「アオスジアゲハ」を見たこと

◇「見たことがある」は1割半ばとなっている

問 16 あなたは、大田区内で「アオスジアゲハ」という蝶を見たことがありますか。(1つのみ)

“アオスジアゲハ”を見たことについては、「アオスジアゲハを知らない」が53.5%で最も高く、次いで「見たことがない」が31.3%、「見たことがある」が14.6%となっている。

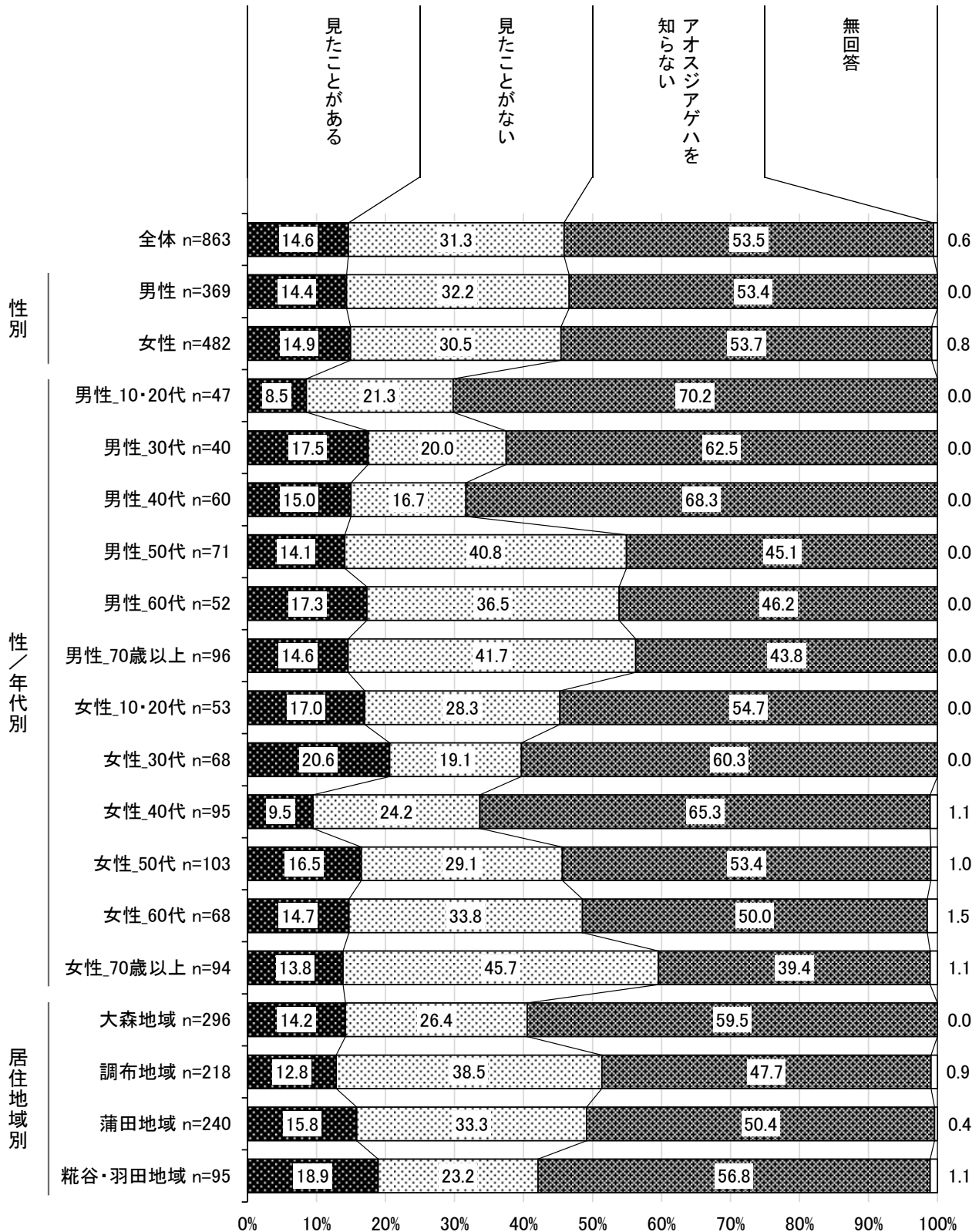


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「見たことがある」は男性では10・20代を除き1割台、女性では30代で約2割と高くなっている。

居住地域別でみると、「見たことがある」は糀谷・羽田地域で2割弱と高くなっている。



8 自転車の利用について

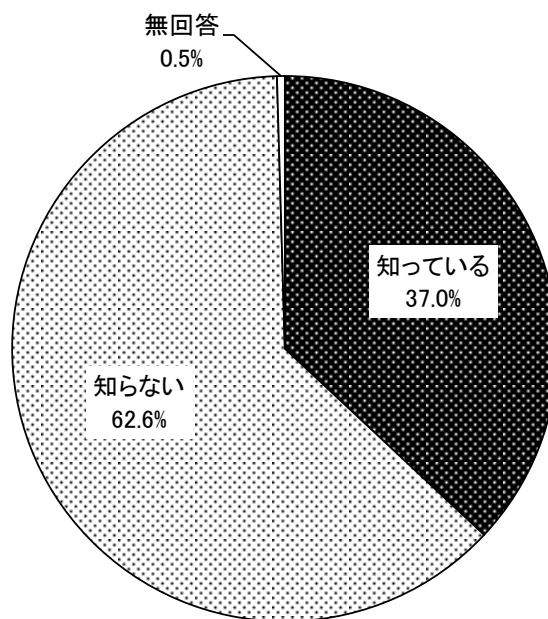
(1) 「コミュニティサイクル」の認知度

◇「知っている」は4割弱となっている

**問 17 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。
(1つのみ)**

“コミュニティサイクル”の認知度については、「知っている」が37.0%、「知らない」が62.6%と、「知らない」が25.6ポイント上回っている。

全体 n=863

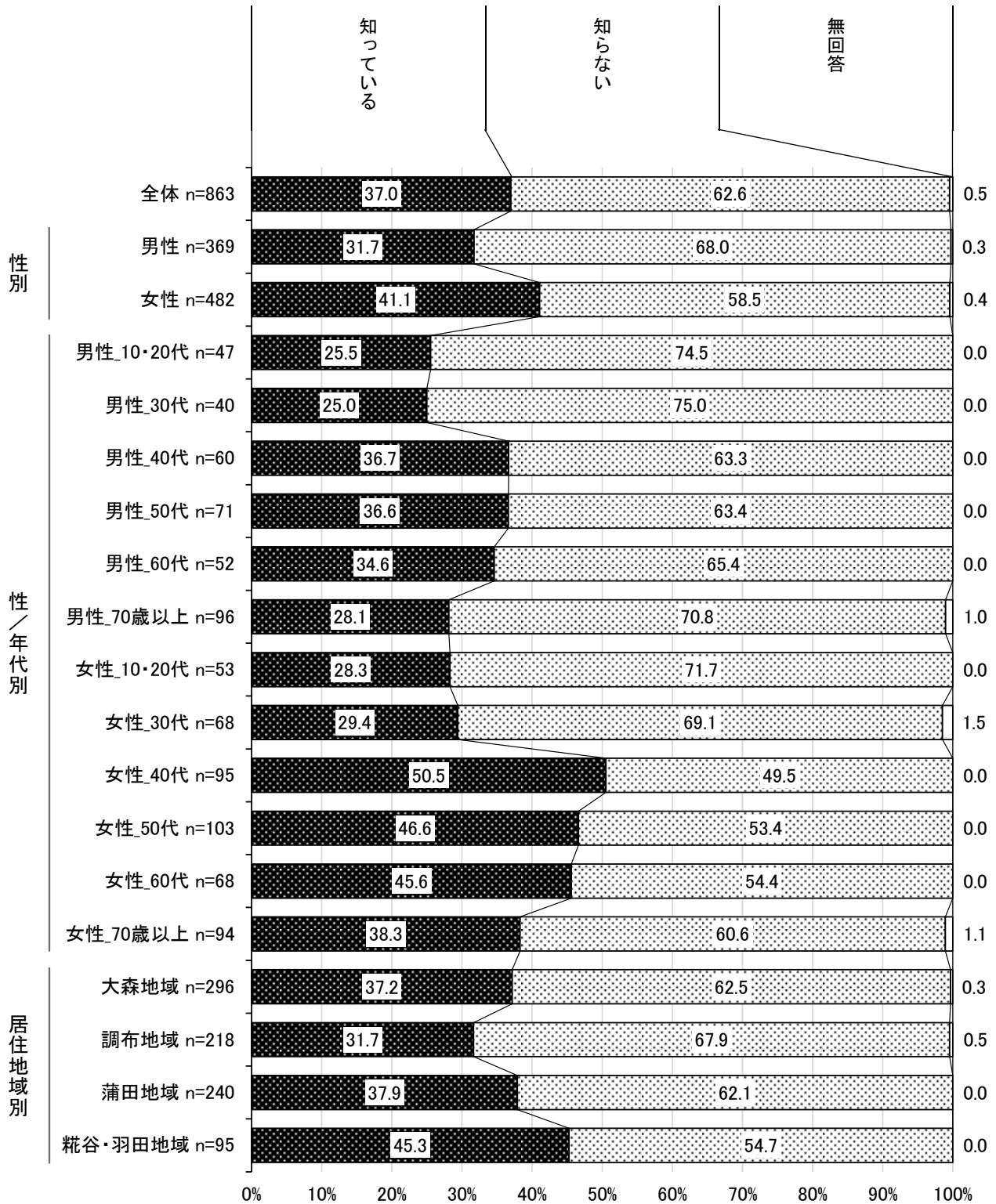


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が31.7%、女性が41.1%と、女性が9.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では40代から60代で3割台、女性では40代で約5割、50代、60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



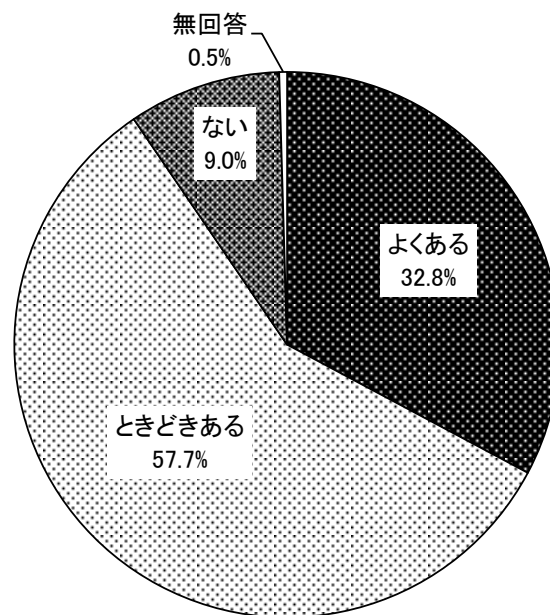
(2) 歩行時等における自転車に対する危機感

◇「よくある」は3割前半となっている

問 18 歩いているときなどに、他の人が乗る自転車に対して、怖いと思ったことや、ヒヤリとした経験はありますか。(1つのみ)

歩行時等における自転車に対する危機感については、「ときどきある」が57.7%で最も高く、次いで「よくある」が32.8%、「ない」が9.0%となっている。

全体 n=863

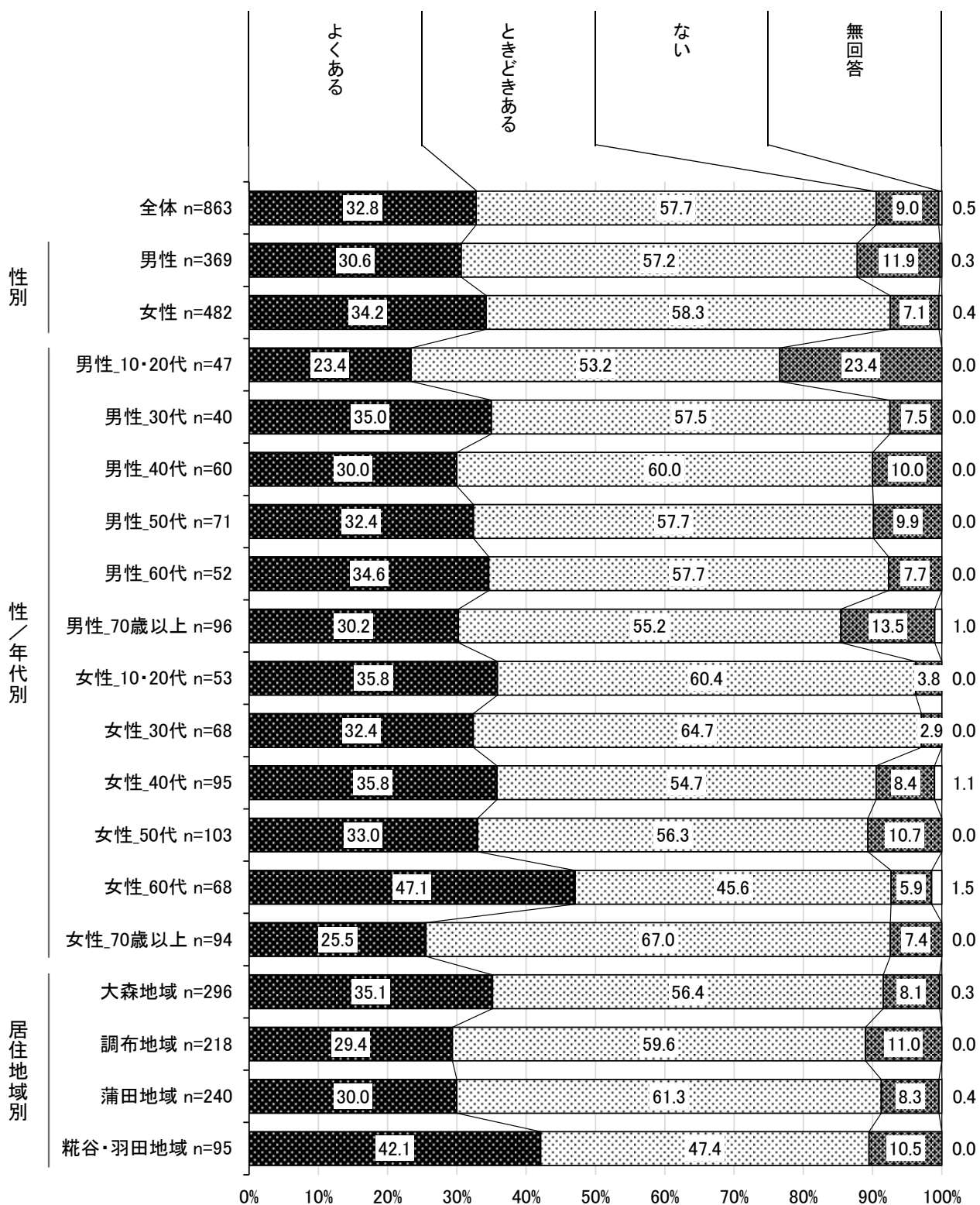


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「よくある」は女性60代で5割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「よくある」は糀谷・羽田地域で4割前半と高くなっている。



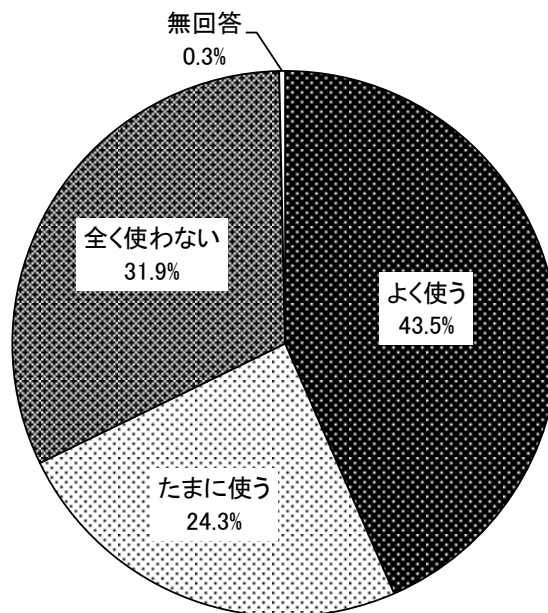
(3) 自転車の利用状況

◇「よく使う」は4割前半となっている

問 19 あなたは、普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況については、「よく使う」が43.5%で最も高く、次いで「全く使わない」が31.9%、「たまに使う」が24.3%となっている。

全体 n=863

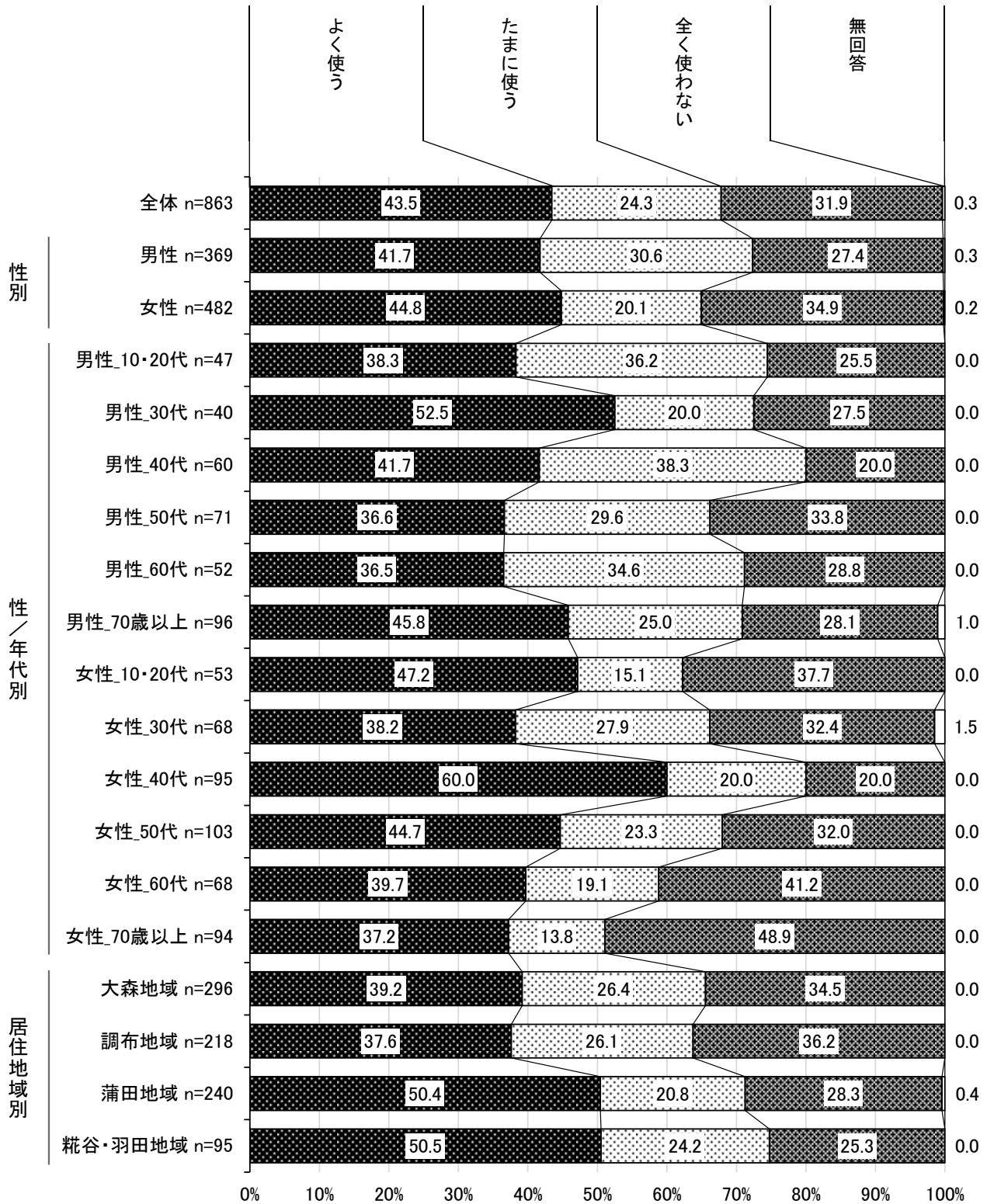


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よく使う」は男性が41.7%、女性が44.8%と、女性が3.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よく使う」は男性では30代で5割前半、女性では40代で6割と高くなっている。

居住地域別でみると、「よく使う」は蒲田地域、糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。



(4) 自転車の盗難被害の有無

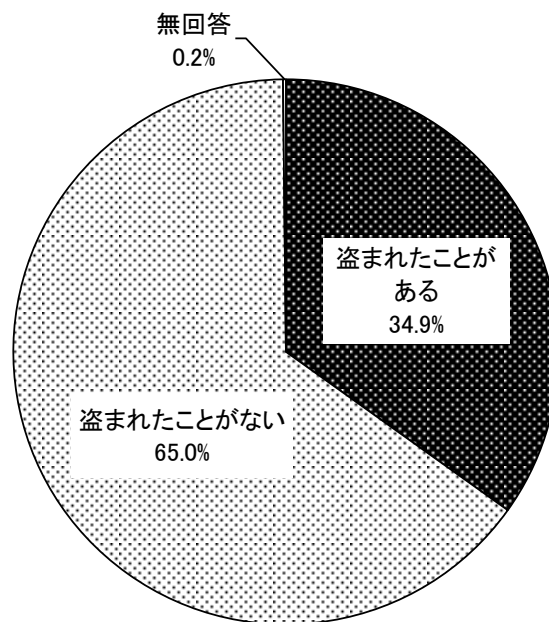
◇「盗まれたことがある」は3割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-1 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(1つのみ)

自転車の盗難被害の有無については、「盗まれたことがある」が 34.9%、「盗まれたことがない」が 65.0%と、「盗まれたことがない」が 30.1 ポイント上回っている。

全体 n=585

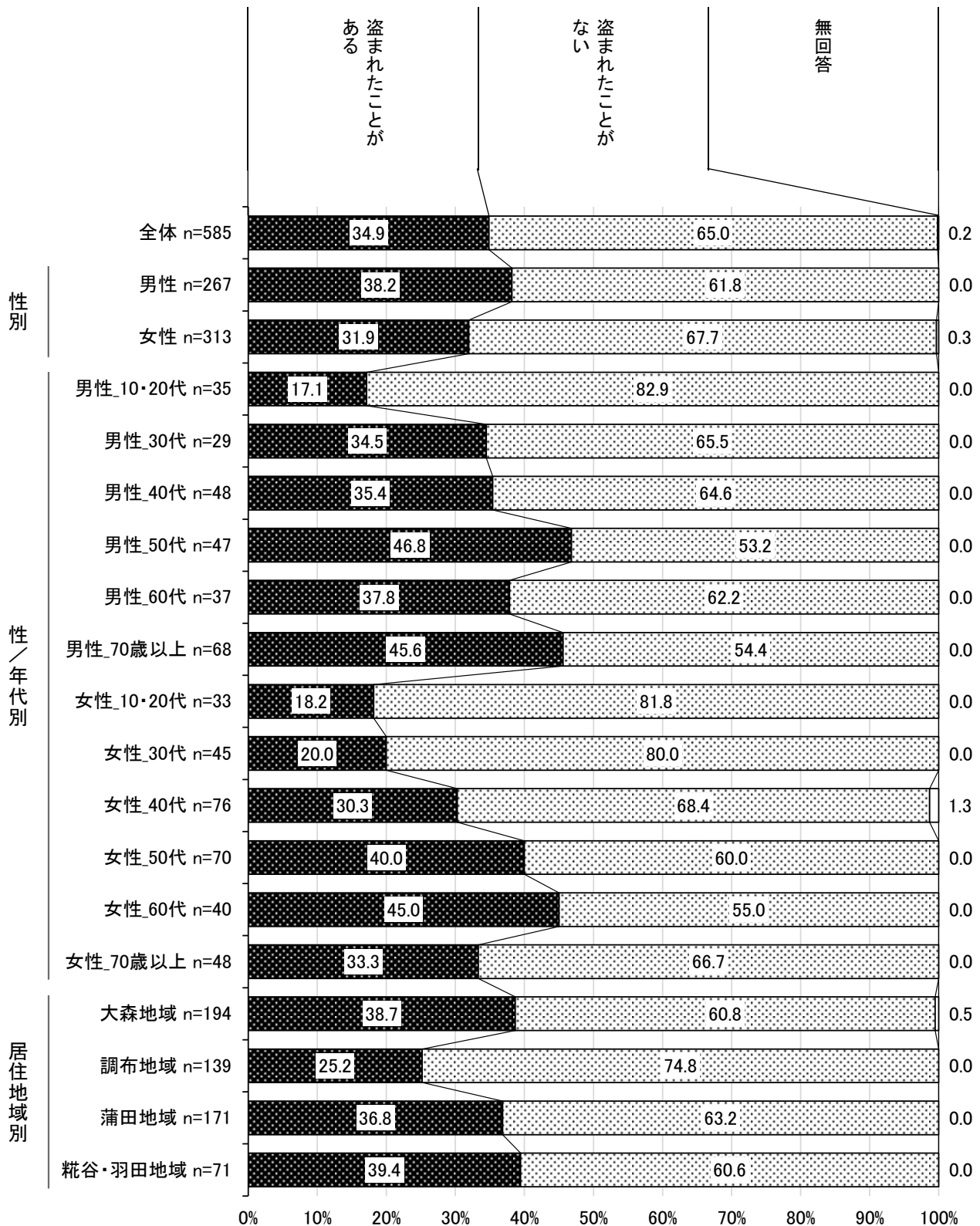


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「盗まれたことがある」は男性が38.2%、女性が31.9%と、男性が6.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「盗まれたことがある」は男性50代、男性70歳以上、女性50代、女性60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、「盗まれたことがある」は大森地域、蒲田地域、糎谷・羽田地域で3割台となっている。



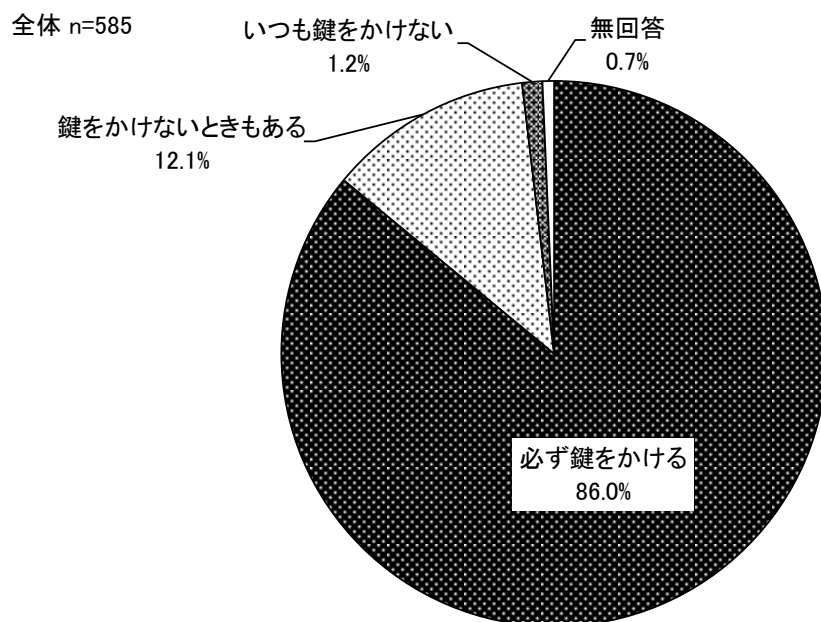
(5) 自転車の施錠状況

◇「必ず鍵をかける」は8割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-2 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(1つのみ)

自転車の施錠状況については、「必ず鍵をかける」が86.0%で最も高く、次いで「鍵をかけないときもある」が12.1%、「いつも鍵をかけない」が1.2%となっている。

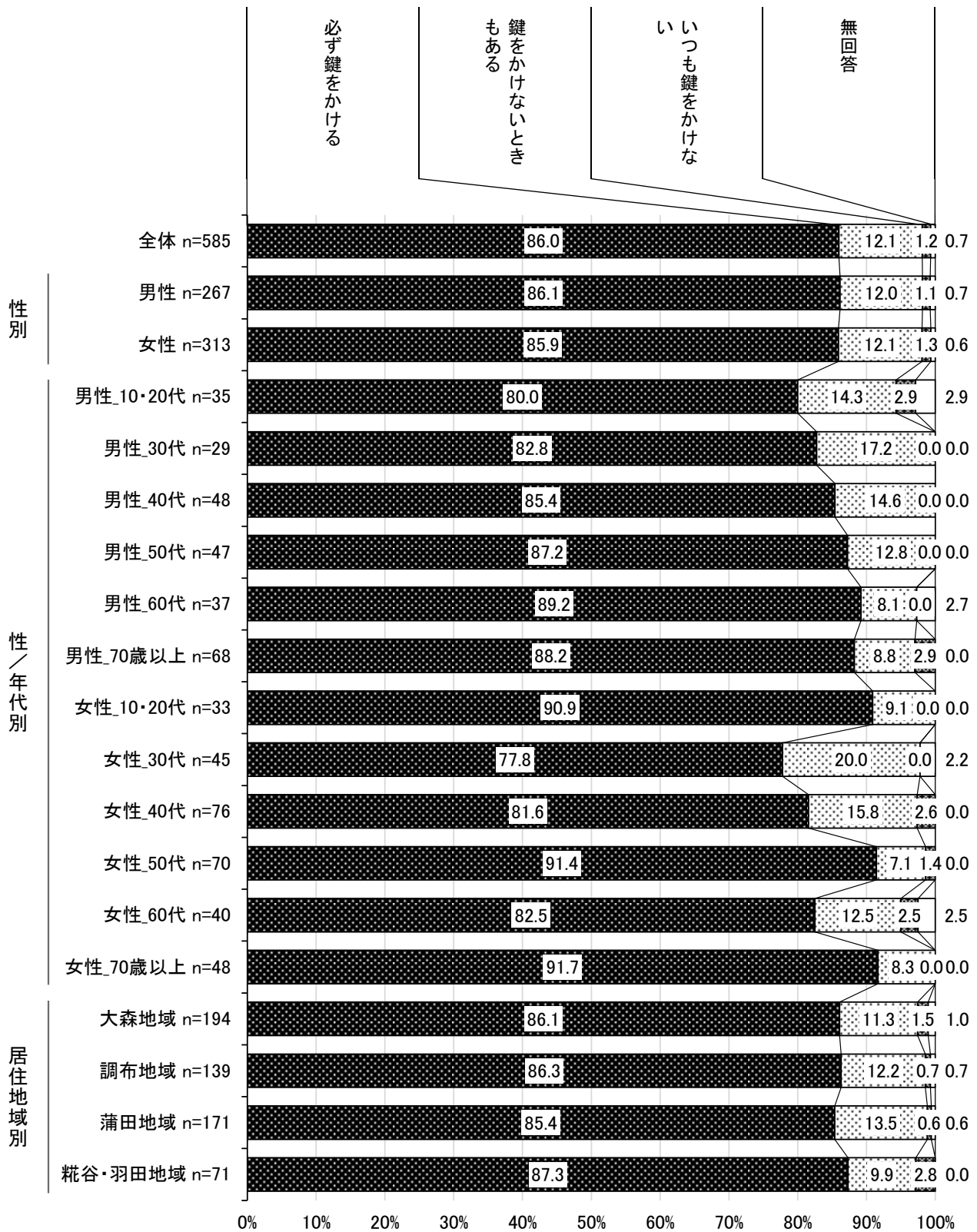


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「必ず鍵をかける」は女性 30 代を除き 8 割以上となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「必ず鍵をかける」が 8 割台となっている。



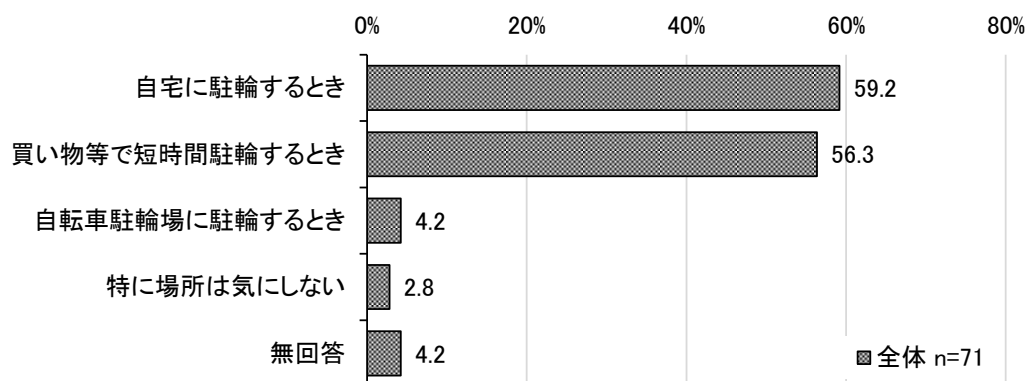
(6) 自転車を施錠しないときの状況

◇「自宅に駐輪するとき」が約6割で最も高くなっている

【問 19-2で「鍵をかけないときもある」と回答した方に伺います。】

問 19-3 あなたが自転りに鍵をかけないのはどのようなときですか。(いくつでも)

自転車を施錠しないときの状況については、「自宅に駐輪するとき」が59.2%で最も高く、次いで「買い物等で短時間駐輪するとき」が56.3%、「自転車駐輪場に駐輪するとき」が4.2%となっている。



(7) 区営駐輪場で不便に感じていること

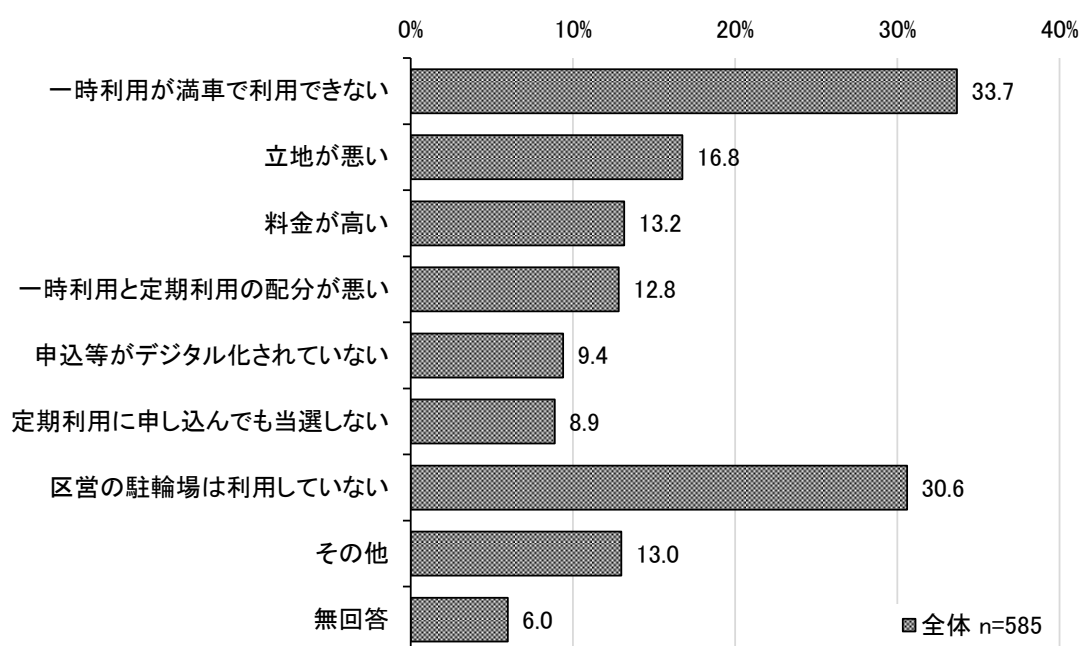
◇「一時利用が満車で利用できない」が3割前半で最も高くなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-4 あなたが区営の駐輪場を利用する際に不便に感じていることは何ですか。
(いくつでも)

区営駐輪場で不便に感じていることについては、「一時利用が満車で利用できない」が33.7%で最も高く、次いで「立地が悪い」が16.8%、「料金が低い」が13.2%となっている。

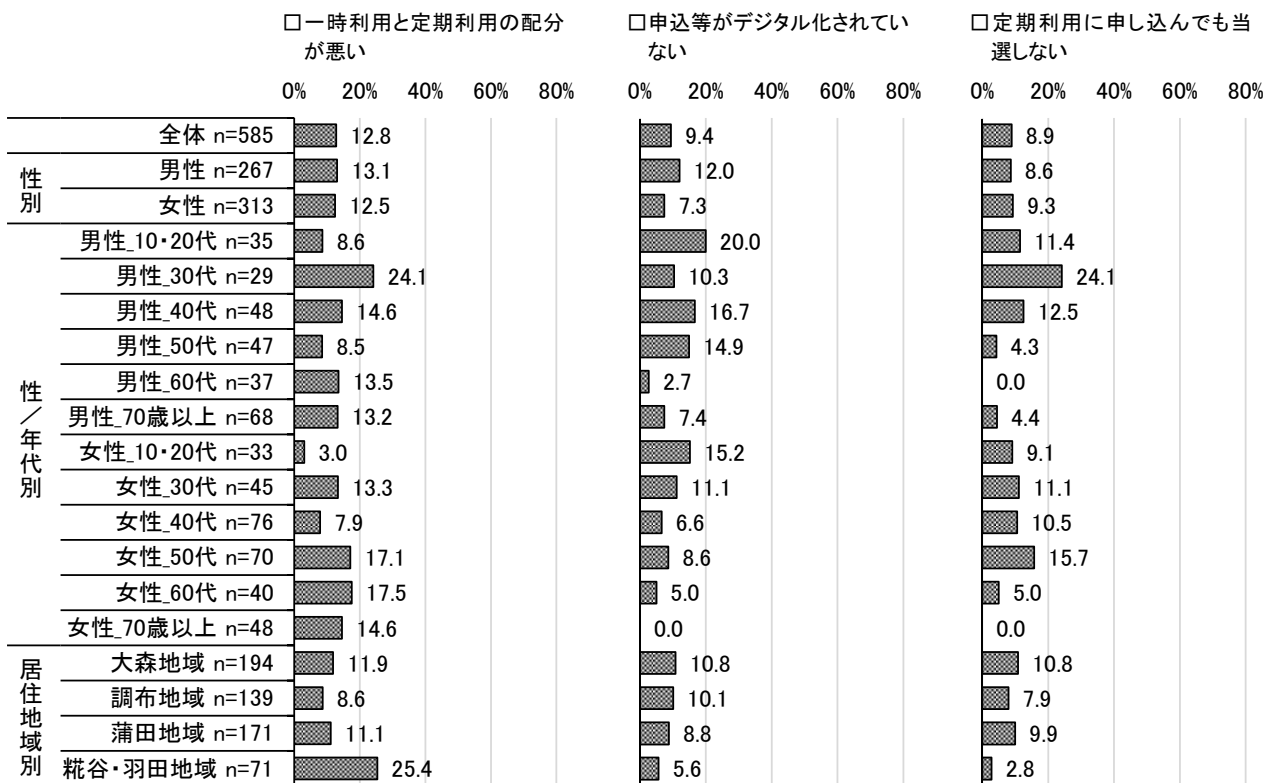
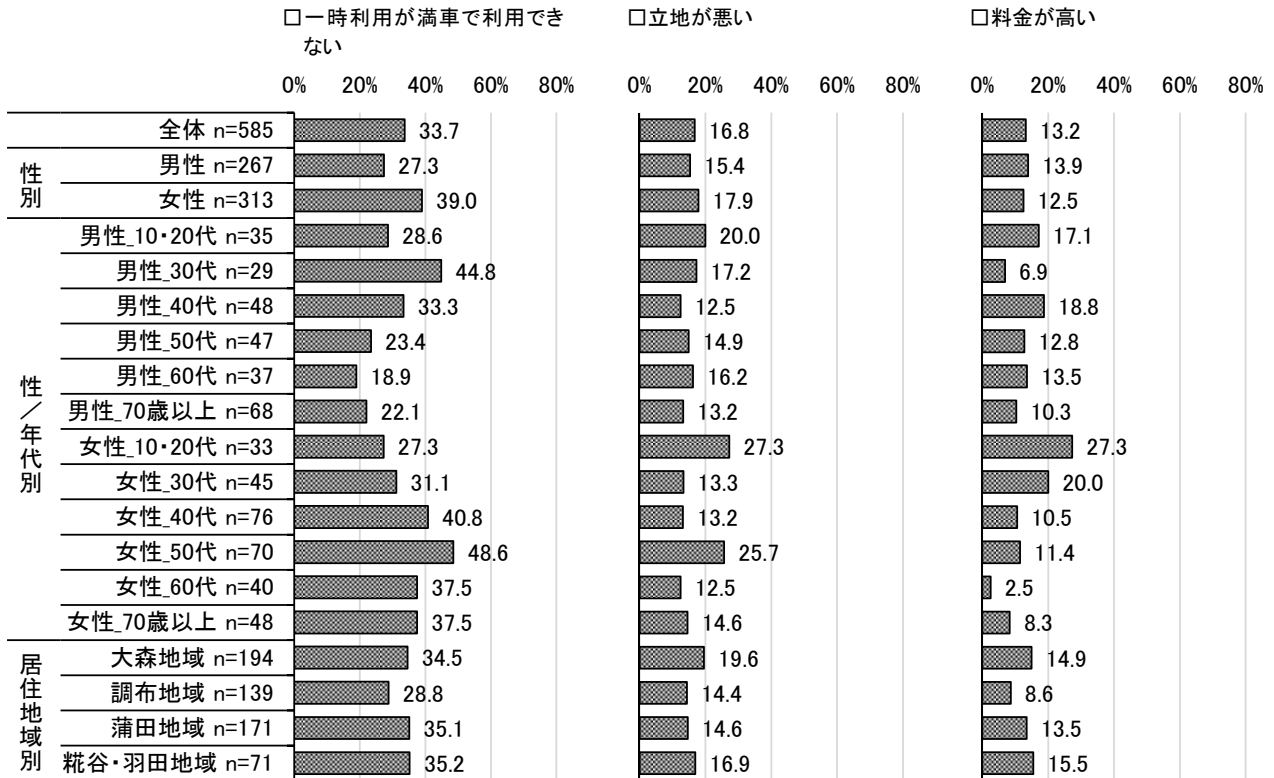
なお、「区営の駐輪場は利用していない」は30.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、男性が27.3%、女性が39.0%と、女性が11.7ポイント上回っている。

居住地域別でみると、すべての地域で「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、大森地域、蒲田地域、糞谷・羽田地域で3割半ばとなっている。



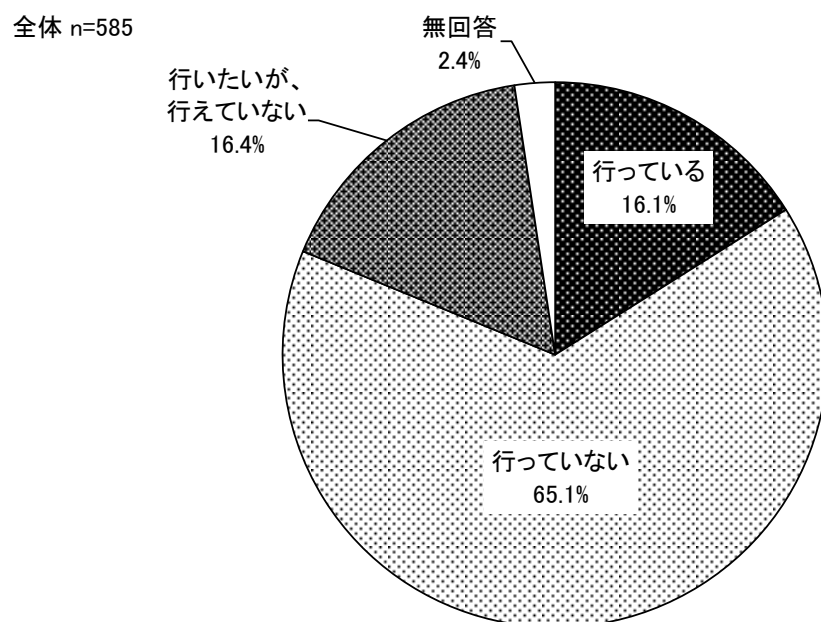
(8) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

◇「行っている」は1割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-5 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。
(1つのみ)

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が65.1%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が16.4%、「行っている」が16.1%となっている。

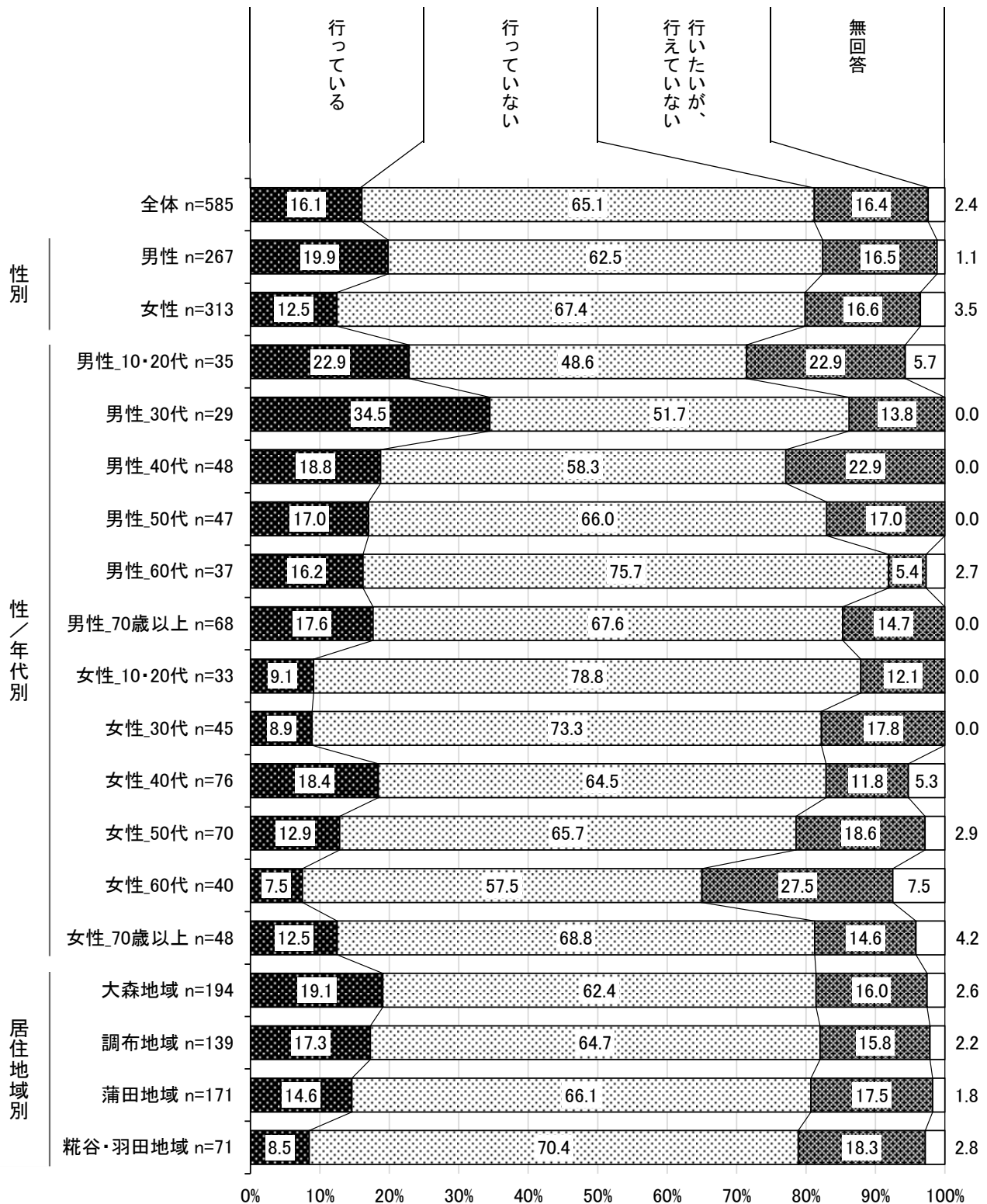


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行っている」は男性が19.9%、女性が12.5%と、男性が7.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行っている」は男性では30代で3割半ば、女性では40代で2割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「行っている」は大森地域で約2割と高くなっている。



(9) 守れていないと思う交通ルール

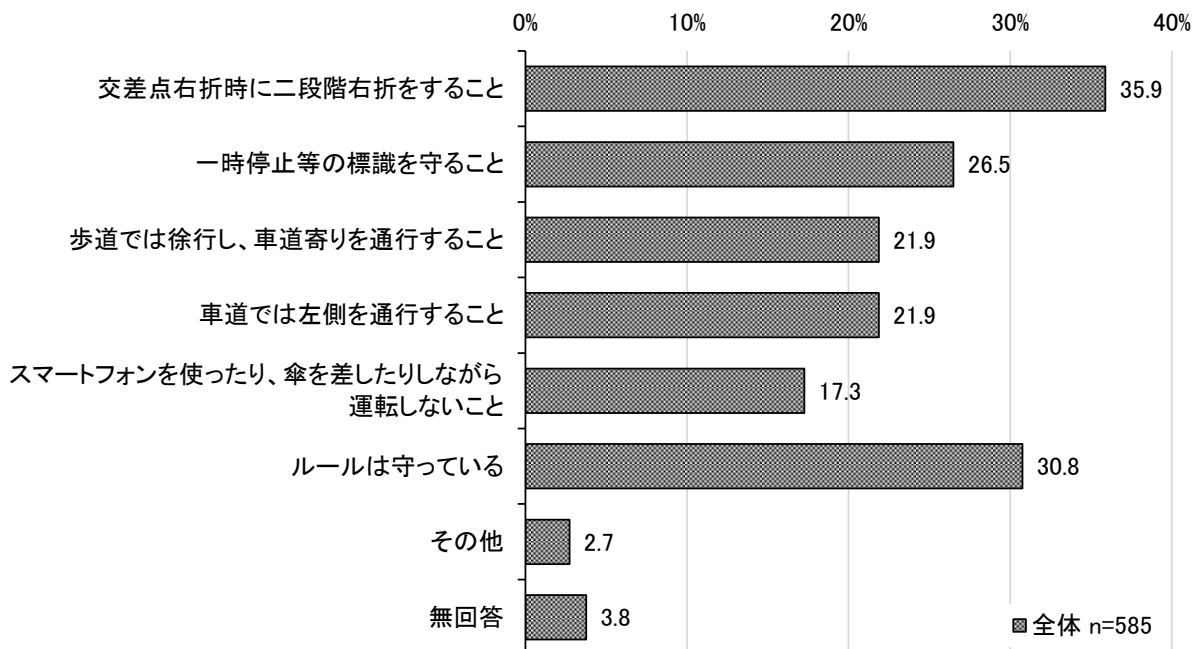
- ◇「交差点右折時に二段階右折をすること」が3割半ばで最も高くなっている
- ◇「ルールは守っている」は約3割となっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

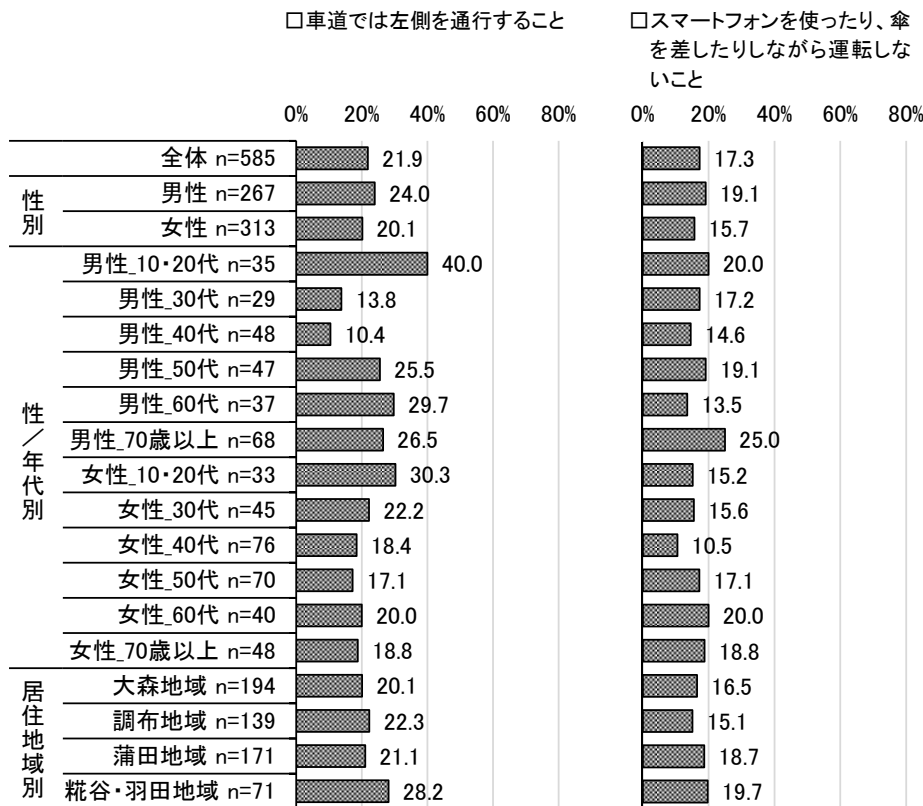
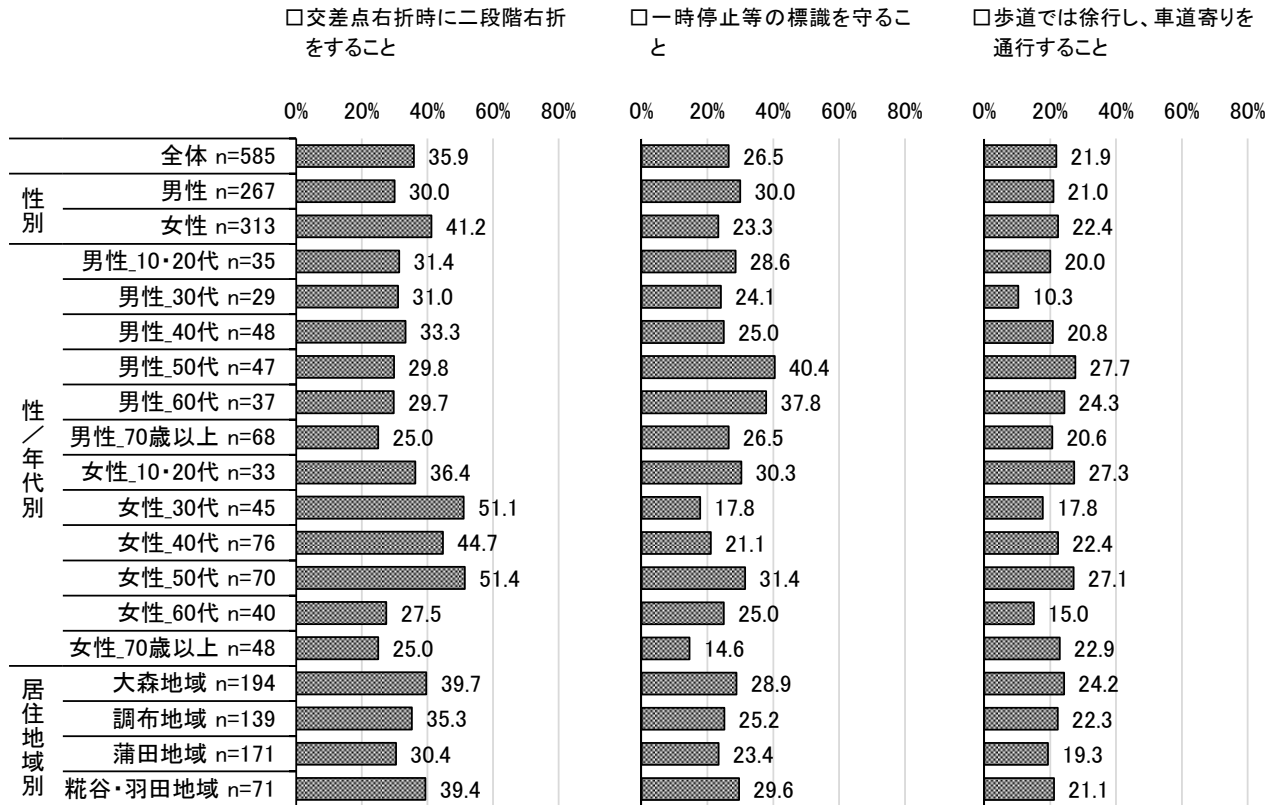
問 19-6 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(いくつでも)

守れていないと思う交通ルールについては、「交差点右折時に二段階右折をすること」が35.9%で最も高く、次いで「一時停止等の標識を守ること」が26.5%、「歩道では徐行し、車道寄りを通行すること」、「車道では左側を通行すること」がともに21.9%となっている。

なお、「ルールは守っている」は30.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、男性では「交差点右折時に二段階右折をすること」、「一時停止等の標識を守ること」が、女性では「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高くなっている。「交差点右折時に二段階右折をすること」は男性が30.0%、女性が41.2%と、女性が11.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「交差点右折時に二段階右折をすること」は女性30代、女性50代で5割前半と高くなっている。「車道では左側を通行すること」は男性10・20代で4割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高く、大森地域、糶谷・羽田地域で約4割となっている。「車道では左側を通行すること」は糶谷・羽田地域で3割弱と高くなっている。

(10) 「自転車等放置禁止区域」の認知度

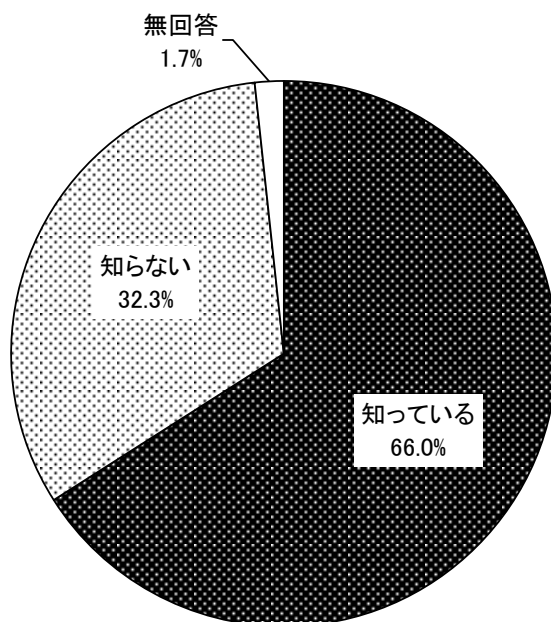
◇「知っている」は6割半ばとなっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-7 あなたは、自転車等放置禁止区域を知っていますか。(1つのみ)

“自転車等放置禁止区域”の認知度については、「知っている」が66.0%、「知らない」が32.3%と、「知っている」が33.7ポイント上回っている。

全体 n=585

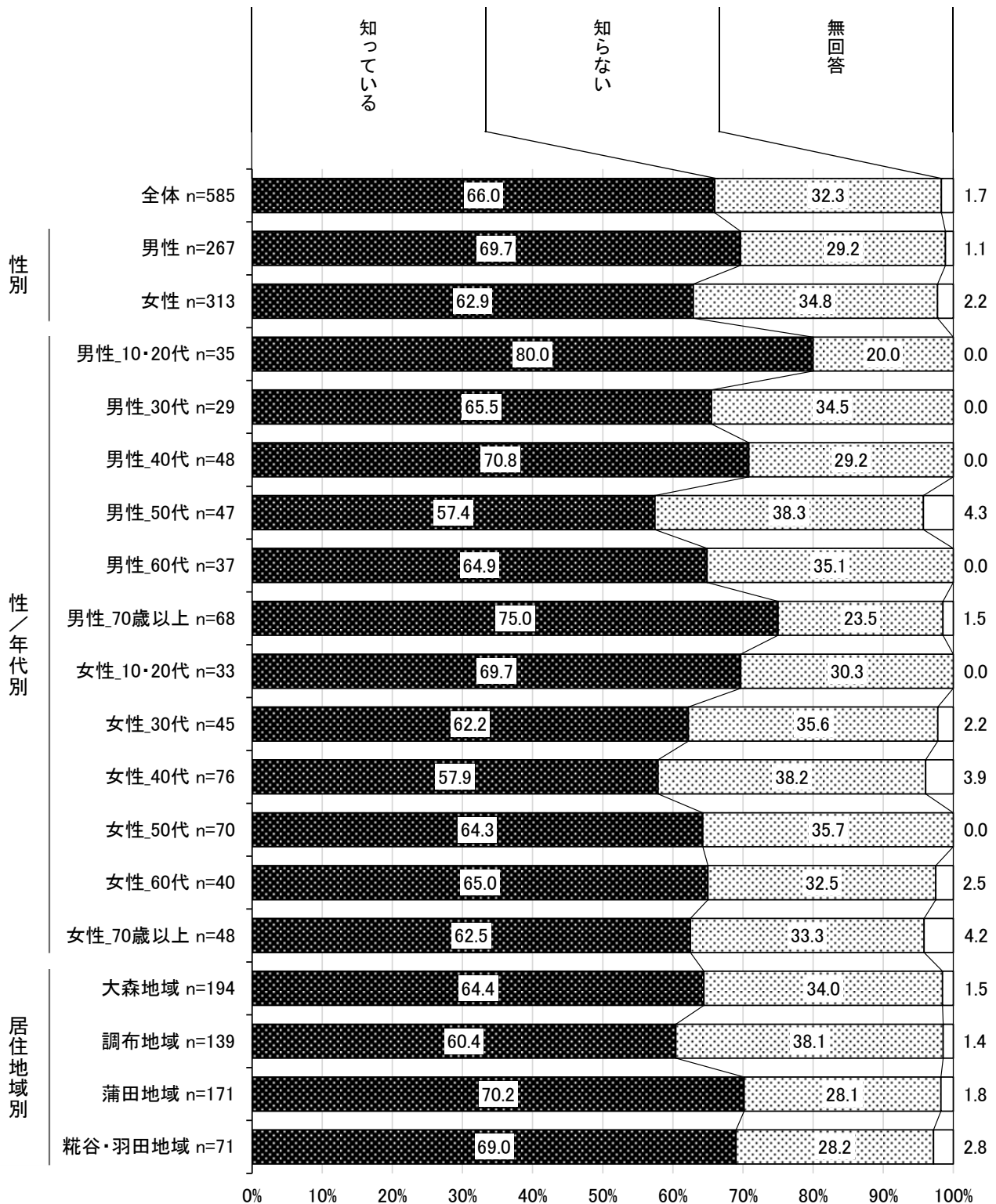


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が69.7%、女性が62.9%と、男性が6.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では10・20代で8割、女性では10・20代で約7割と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は蒲田地域、糎谷・羽田地域で約7割と高くなっている。



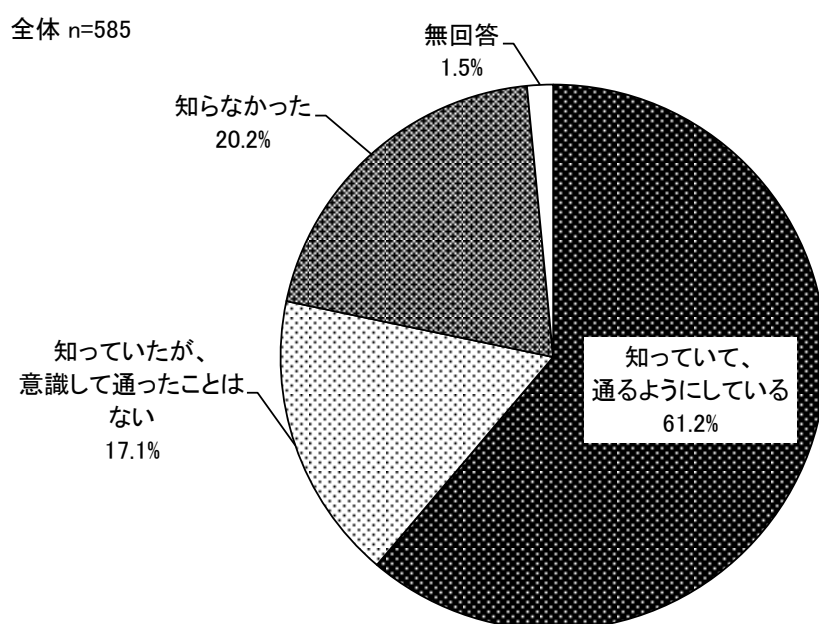
(11) 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度

◇「知っていて、通るようにしている」は6割前半となっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 19-8 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン（矢羽根型路面表示）」を知っていますか。（1つのみ）

“自転車ナビマーク・ナビライン”の認知度については、「知っていて、通るようにしている」が 61.2% で最も高く、次いで「知らなかった」が 20.2%、「知っていたが、意識して通ったことはない」が 17.1% となっている。

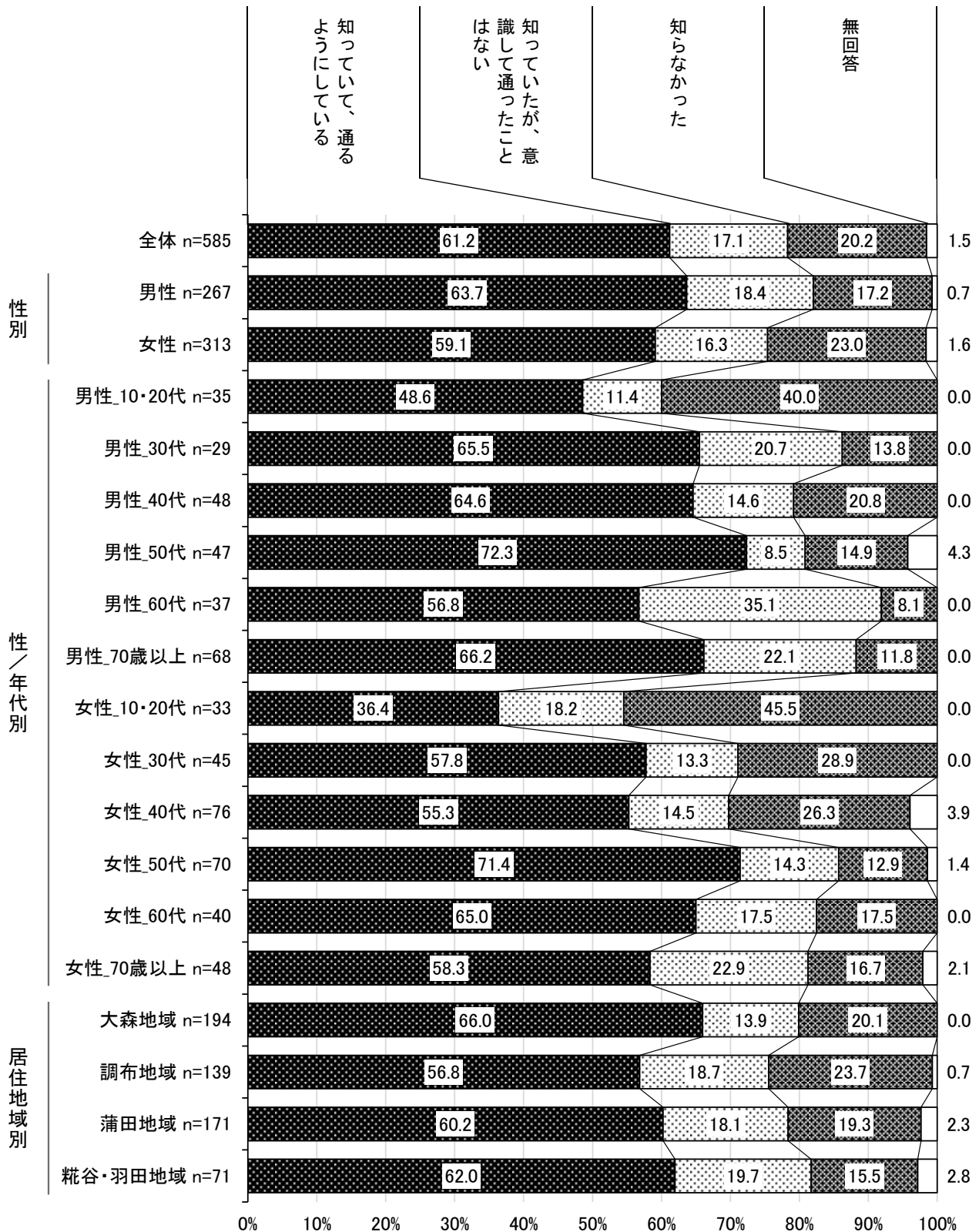


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っていて、通るようにしている」は男性が63.7%、女性が59.1%と、男性が4.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っていて、通るようにしている」は男性では50代で7割前半、女性では50代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っていて、通るようにしている」は大森地域で6割半ばと高くなっている。



(12) 損害賠償保険への加入状況

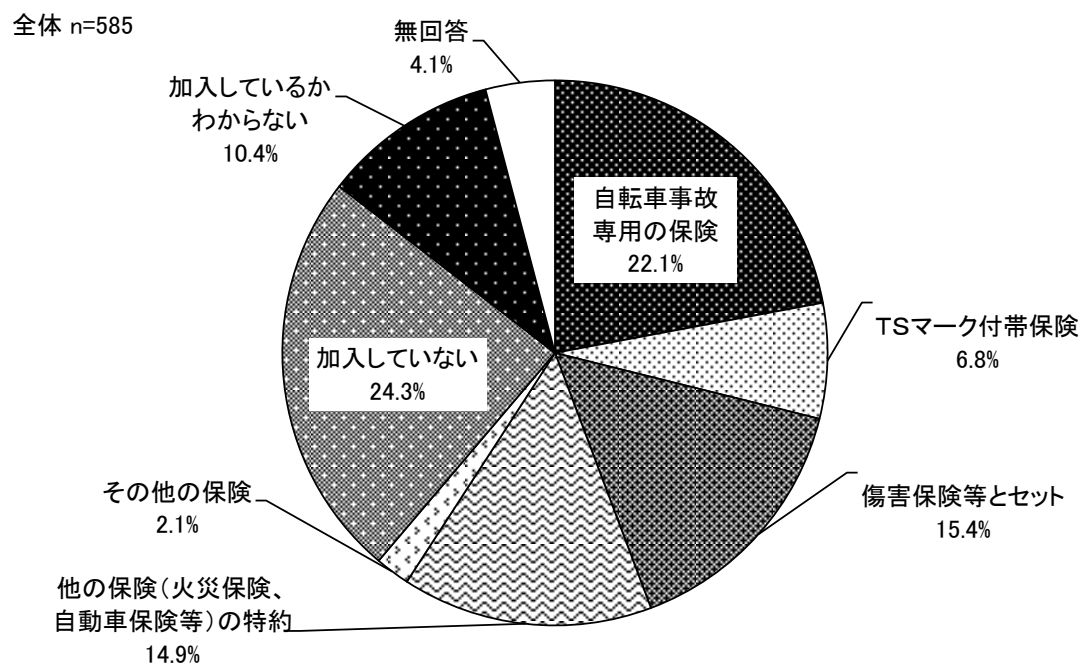
◇ 《加入している》（「自転車事故専用の保険」、「TSマーク付帯保険」、「傷害保険等とセット」、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」、「その他の保険」の合計値）は約6割となっている

【問 19 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

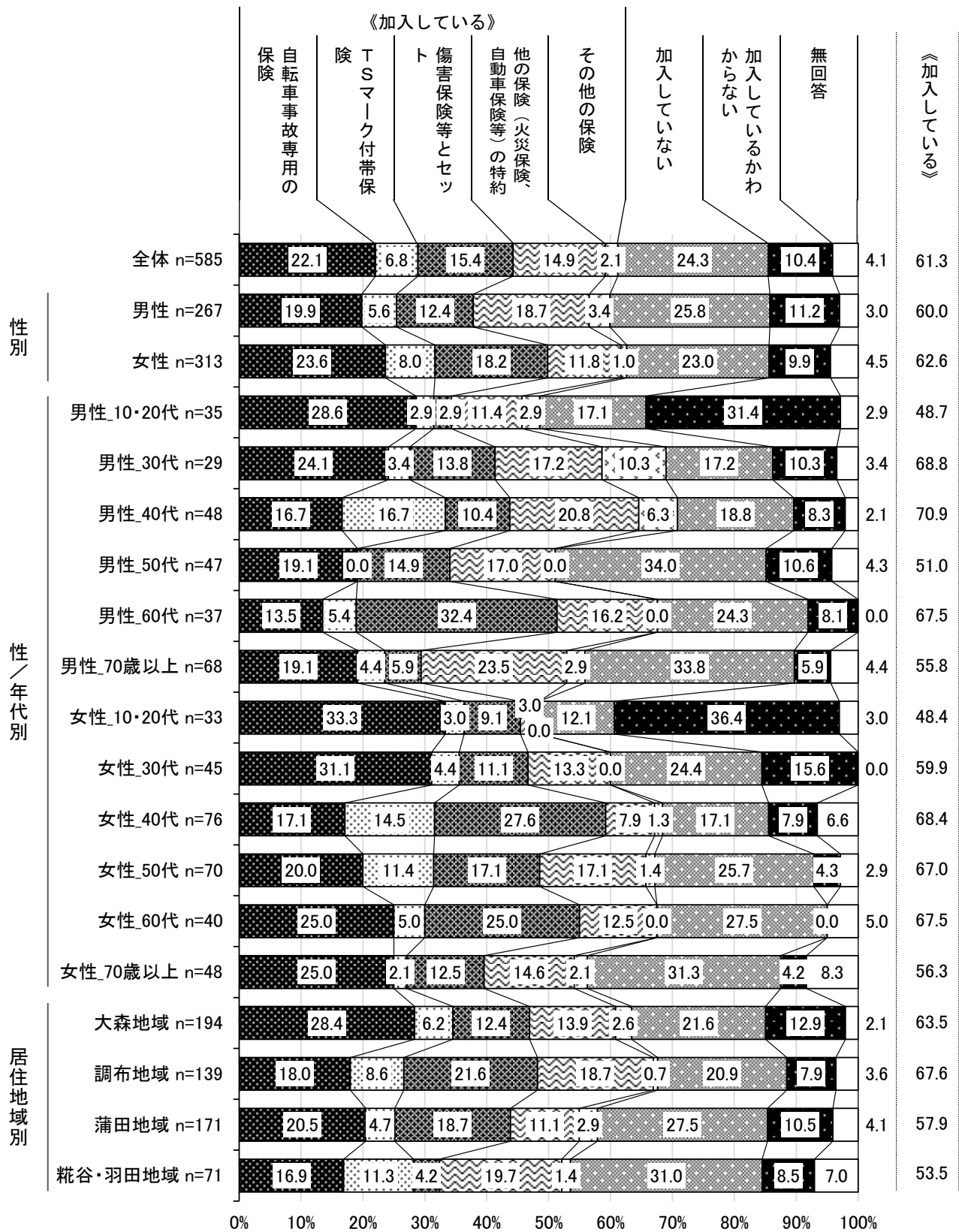
問 19-9 あなたは、自転車事故に係る損害賠償保険に加入していますか。（1つのみ）

損害賠償保険への加入状況については、「自転車事故専用の保険」、「TSマーク付帯保険」、「傷害保険等とセット」、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」、「その他の保険」の合計値《加入している》は61.3%である一方で、「加入していない」は24.3%と、《加入している》が37.0ポイント上回っている。

なお、《加入している》の内、「自転車事故専用の保険」が22.1%で最も高く、次いで「傷害保険等とセット」が15.4%、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」が14.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別でみると、《加入している》は男性が 60.0%、女性が 62.6%と、女性が 2.6 ポイント上回っている。その内、「自転車事故専用の保険」は男性が 19.9%、女性が 23.6%と、女性が 3.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《加入している》は男性では 30 代、40 代で約 7 割、女性では 40 代から 60 代で 7 割弱となっている。その内、「自転車事故専用の保険」は女性 10・20 代、女性 30 代で 3 割前半と高くなっている。一方で、「加入していない」は男性 50 代、男性 70 歳以上、女性 70 歳以上で 3 割台となっている。また、「加入しているかわからない」は男性、女性ともに 10・20 代が 3 割台となっている。

居住地域別でみると、《加入している》は調布地域で 7 割弱と高くなっている。その内、「自転車事故専用の保険」は大森地域で 3 割弱と高くなっている。一方で、「加入していない」は糀谷・羽田地域で約 3 割と高くなっている。

(13) 損害賠償保険に加入していない理由

◇「加入が義務化されたことを知らない」が3割弱となっている

【問 19-9で「加入していない」と回答した方に伺います。】

問 19-10 あなたが保険に加入していない理由は何ですか。(1つのみ)

損害賠償保険に加入していない理由については、「加入が義務化されたことを知らない」が28.2%で最も高く、次いで「必要性を感じない」が25.4%、「加入手続きの方法などがわからない」が16.9%となっている。

